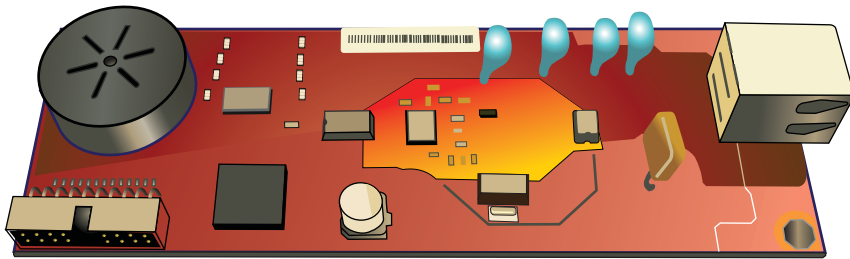




ANALOG FAX ACCESSORY 500

ファックス ガイド





HP LaserJet アナログ ファックス アクセ サリ 500

ファックス ガイド

著作権およびライセンス

© 2013 Copyright Hewlett-Packard Development Company, L.P.

事前の書面による許可なく複製、改変、変換することは、著作権法で許可されていない限り禁じられています。

本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。

HP の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品またはサービスに付属の明示的な保証条項で規定されます。本文書のいかなる部分も、追加の保証を構成するとは見なされません。HP は、本文書に含まれる技術的または表記上の誤記や欠落について、一切の責任を負わないものとします。

Edition 1, 5/2013

パーツ番号: CC487-91210

商標について

Microsoft®、Windows®、Windows® XP および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

本書に記載の製品名はすべて、各社の商標である可能性があります。

国/地域の現地法によって、指定の国/地域以外での本製品の使用が禁止されている場合があります。未承認の通信機器 (ファックス装置) を公衆電話回線網に接続することは、ほとんどの国/地域の法律で固く禁止されています。

ENERGY STAR® および ENERGY STAR® は米国登録商標です。

目次

1 概要	1
はじめに	2
HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 500 機能	3
ファックス アクセサリの付属部品	4
2 HP Color LaserJet CM3530 MFP シリーズ	5
HP Color LaserJet CM3530 MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け	6
ファックス アクセサリを電話回線に接続する	11
ファックスの動作確認	11
ファックスの必須設定	11
ファックス設定ウィザード	12
ファックス設定メニュー	12
日付と時刻の設定または確認	12
国/地域の設定、確認、または変更	13
ファックス ヘッダーの設定	13
リモートでのファックス設定	14
Web ブラウザ	14
HP Web Jetadmin	14
HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティ	15
ファックス設定	16
ファックス送信設定	16
ファックス ダイアル設定	16
モデムの音量の設定	16
ダイアル モードの設定	16
リダイアル間隔の設定	17
通話中の場合のリダイアル設定	17
応答がない場合のリダイアルの設定	18
ダイアル トーン検出の設定	18
オーバーレイ ヘッダーの設定 (送信ファックス)	18
ダイアル局番の設定	19

全般的なファックス設定	19
ファックス番号の確認の有効化	20
JBIG 圧縮モードの設定	20
鮮明度設定の変更	20
背景設定の変更	21
濃淡設定の変更	21
ファックス番号短縮ダイヤル検索の有効化	21
エラー訂正モードの設定	22
請求書コードの設定	22
デフォルト ジョブ オプション	22
ファックス送信側の解像度の設定	23
元の文書の面	24
通知	24
内容の向き	25
原稿のサイズ	25
イメージ調整	26
テキスト/画像の最適化	26
ジョブ作成	27
空白のページの削除	27
ファックス受信設定	28
ファックス受信セットアップ	28
呼び出し音の音量の設定	28
ファックス印刷スケジュールの有効化または無効化	28
着信ファックスのブロック	29
ブロック対象ファックス リストの作成	29
ブロック対象ファックス リストから電話番号の削除	30
ブロック対象ファックス リストのすべての電話番号の削除	30
ポーリング受信の開始	30
デフォルト ジョブ オプション	31
通知設定の変更	31
受信ファックス (着信ファックス) のスタンプ	32
ページに収める設定	32
用紙トレイの設定	33
ファックスのアーカイブと転送	33
ファックスのアーカイブ	33
ファックス転送の設定	34
ファックスを使用する	36
ファックス機能画面	36

ファックスの送信	37
番号の手動入力によるファックスの送信	38
短縮ダイヤルを使用してファックスを送信するには	39
名前による短縮ダイヤルリストの検索	40
電話帳の番号を使用したファックスの送信	40
DSS ファックス電話帳の検索	41
ファックスのキャンセル	42
短縮ダイヤルリストの作成と削除	42
短縮ダイヤルリストの作成	42
短縮ダイヤルリストの削除	42
短縮ダイヤルリストからの1つの番号の削除	43
既存の短縮ダイヤルリストへの番号の追加	43
音声電話と再試行	43
ファックス コール レポート	43
ファックス使用状況ログ	44
T.30 レポート	44
セキュリティで保護されている設定	44
PIN の変更	44
VoIP ネットワーク経由でのファックスの使用	45
ファックスに関する問題を解決する	46
ファックス アクセサリのステータスの確認	46
ファックス機能が動作していない	46
全般的なファックスの問題	47
ファックス送信に関する問題	48
ファックス受信に関する問題	49
エラー コード	51
ファックス エラー メッセージ	51
送信ファックス メッセージ	53
受信ファックス メッセージ	55
ファックスのログおよびレポート	56
ファックス コール レポートの印刷	56
ファックス コール レポートの印刷のスケジュール設定	56
ファックス使用状況ログの印刷	57
請求書コード レポートの印刷	58
ファックス使用状況ログと請求書コード レポートの削除	58
ブロック対象ファックス リスト レポートの印刷	59
短縮ダイヤル リスト レポートの印刷	59
サービス設定	59

初期セットアップメニューの設定	59
トラブルシューティングメニューの設定	60
リセットメニューの設定	61
ファームウェアのアップグレード	61

3 HP Color LaserJet CM 4540 MFP シリーズ、HP Color LaserJet Enterprise M4555 MFP シリーズ、HP LaserJet Enterprise 500 MFP シリーズ、HP LaserJet Enterprise 500 Color MFP シリーズ、および HP LaserJet Enterprise M725 MFP シリーズ 63

ファックス アクセサリの取り付け	64
HP Color LaserJet CM4540 へのファックス アクセサリの取り付け	64
HP Color LaserJet M4555 MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け	67
HP LaserJet Enterprise 500 MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け	71
HP LaserJet Enterprise 500 Color MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け	74
HP LaserJet Enterprise M725 MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け	77
ファックス アクセサリの電話回線への接続	81
ファックスの動作確認	81
ファックスの必須設定	81
ファックス設定ウィザード	82
日付と時刻の設定または確認	83
日付と時刻の形式の設定または確認	83
リモートでのファックス設定	85
Web ブラウザ	85
HP Web Jetadmin	85
HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティ	86
ファックス設定	87
ファックス送信設定	87
ファックス ダイアル設定	87
ファックス ダイアル音量の設定	87
ダイアルモードの設定	88
ファックス送信速度の設定	88
リダイヤル間隔の設定	88
エラー時のリダイヤルの設定	89
通話中の場合のリダイヤル設定	89
応答がない場合のリダイヤルの設定	90
ダイアル トーン検出の設定	90
ダイアル局番の設定 (必要な場合)	91
一般的なファックス送信設定	91
ファックス番号の確認の有効化	91
PC ファックス送信の有効化	92

ファックスヘッダー	92
エラー訂正モードの設定	93
デフォルトジョブオプション	93
画像プレビュー	94
ファックス送信側の解像度の設定	94
原稿の面数	95
通知	95
内容の向き	96
原稿のサイズ	97
イメージ調整	97
テキスト/画像の最適化	98
ジョブ作成	98
空白のページの削除	99
請求書コード	99
請求書コードの設定	99
ファックス受信設定	100
ファックス受信セットアップ	100
呼び出し音の音量の設定	100
応答するまでの呼び出し回数の設定	101
ファックス受信速度の設定	101
呼び出し間隔の設定	102
呼出し音の周波数の設定	102
詳細なイメージ処理設定	103
鮮明度の調整	103
エッジの消去	103
自動カラー検出	104
自動ページトリミング	105
イメージの向きの自動調整	105
自動トーン調整	106
ファックス印刷スケジュールの有効化または無効化	106
着信ファックスのブロック	107
ブロック対象ファックスリストの作成	107
ブロック対象ファックスリストから電話番号の削除	107
デフォルトジョブオプション	108
通知	108
受信ファックス(着信ファックス)のスタンプ	109
ページに収める設定	109
用紙の選択の設定	110

排紙ビンの設定	110
印刷面の設定	111
用紙トレイの設定	111
ファックスのアーカイブと転送	111
ファックス アーカイブの有効化	112
ファックス転送の有効化	112
ポーリング	112
EWS を通じてポーリングの有効化	113
ポーリング受信の開始	113
ファックスを使用する	114
ファックス機能画面	114
ステータス メッセージ バー	115
ファックスの送信	115
手動番号入力によるファックス送信	116
短縮ダイヤルを使用してファックスを送信するには	117
名前による短縮ダイヤル リストの検索	117
ファックス アドレス帳の番号を使用したファックスの送信	118
ファックスのキャンセル	119
現在のファックス送信のキャンセル	119
保留中のファックス送信のキャンセル	119
ファックスの受信	119
短縮ダイヤル リストの作成と削除	120
短縮ダイヤル リストの作成	120
短縮ダイヤル リストの削除	121
短縮ダイヤル リストからの 1 つの番号の削除	122
既存の短縮ダイヤル リストへの番号の追加	123
音声電話と再試行	125
ファックス コール レポート	125
ファックス使用状況ログ	125
T.30 レポート	125
ファックス印刷のスケジュール設定 (メモリ ロック)	126
VoIP ネットワーク経由でのファックスの使用	126
ファックスに関する問題を解決する	128
ファックスは正しく設定されていますか?	128
どのような種類の電話回線を使用していますか?	128
サージ保護装置を使用していますか?	129
電話会社が提供する音声メッセージ サービスまたは留守番電話を使用していますか?	129
電話回線に割り込み通話機能はありますか?	129

ファックス アクセサリのステータスの確認	129
ファックス機能が動作していない	130
全般的なファックスの問題	131
ファックス受信に関する問題	132
ファックス送信に関する問題	134
エラー コード	135
ファックス エラー メッセージ	135
送信ファックス メッセージ	137
受信ファックス メッセージ	139
ファックス レポート	140
ファックス使用状況ログ	140
請求書コード レポート	141
ブロック対象ファックス リスト レポート	141
短縮ダイヤル リスト レポート	142
ファックス コール レポート	142
ファックス使用状況ログの削除	142
サービス設定	142
[トラブルシューティング] メニューの設定	142
リセット メニューの設定	143
ファームウェアのアップグレード	143

付録 A サービスとサポート 145

Hewlett-Packard 社製品限定保証	146
カスタマ サポート	147

付録 B 仕様 149

ファックス アクセサリの製品の仕様	150
交換部品とアクセサリ	151

付録 C 規制に関する情報 153

環境製品管理プログラム	154
環境の保護	154
プラスチック	154
材料の制限	154
ユーザーによる使用済み機器の廃棄	154
詳細について	154
適合宣言	155
FCC 規格	157

Additional FCC statement for telecom products (US)	158
日本の電気通信機器の認定マーク	158
Telephone Consumer Protection Act (US)	159
Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格)	160
Industry Canada CS-03 requirements	160
通信運用に関する EU ステートメント	161
New Zealand Telecom Statements	162
EMI 規格 (台湾)	163
VCCI 規格 (日本)	163
EMC ステートメント (中国)	163
EMC ステートメント (韓国)	164
成分表 (中国)	165

索引	167
----------	------------

1 概要

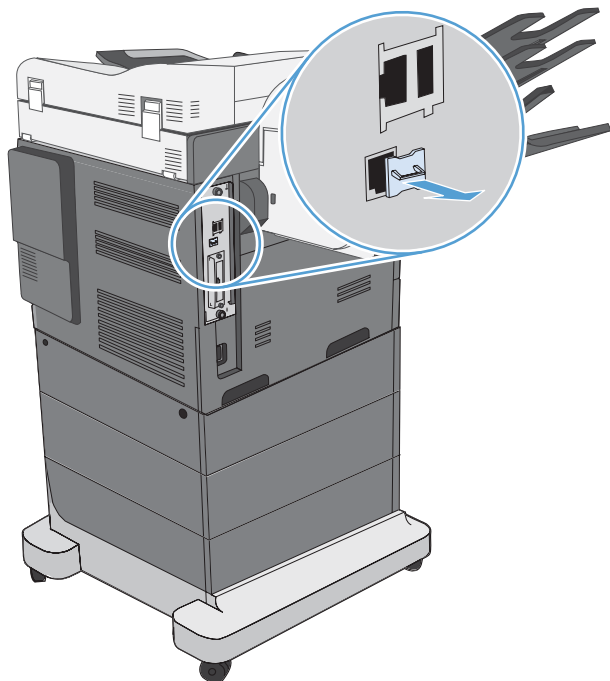
- [はじめに](#)
- [HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 500 機能](#)
- [ファックス アクセサリの付属部品](#)

はじめに

HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 500 を使用すると、HP の多機能製品 (MFP) をスタンドアロンのアナログ ファックス機として使用できます。詳細は、www.hp.com/go/ljanalogfaxaccessory500_manuals を参照してください。

このマニュアルには、製品のファックス機能についての説明、および製品仕様と規制に関する情報が記載されています。特定のファックス機能に関する説明を参照できるように、このマニュアルを保管しておいてください。

注記： ファックス アクセサリが取り付けられている場合は、ファックス接続カバーを取り外し、電話線を接続してから、ファックスの初期設定を行います。ファックス接続カバーは、フォーマッタの背面パネルの電話コネクタ上にあります。



このガイドで使用されているマーク

💡 ヒント： ヒントは、役に立つヒントやショートカットを示します。

📖 注記： 注記は、概念の説明やタスクの完了に必要な、重要な情報を示します。

⚠️ 注意： 注意は、データの損失やプリンタの損傷を避けるために従う必要がある手順を示しています。

⚠️ 警告！ 警告は、負傷、壊滅的なデータ損失、またはプリンタへの甚大な損害を回避するために従う必要がある特定の手順に注意を喚起します。


HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 500 機能

ファックス送信機能	<ul style="list-style-type: none">● 短縮ダイヤル● ファックス アドレス帳● 解像度およびイメージ調整オプション● 請求書コード● プレビュー● ジョブ
ファックス受信機能	<ul style="list-style-type: none">● 受信ファックスのスタンプ● 着信ファックスのブロック● ファックス ポーリング● 応答するまでの呼び出し回数の調整
拡張ファックス機能	<ul style="list-style-type: none">● ファックスのステータスの通知● JBIG 圧縮● エラー修正● ファックスのアーカイブ● 保存ファックス● ファックス印刷スケジュール
リモートでのファックス設定	<ul style="list-style-type: none">● 埋め込み型 Web サーバ● HP Web Jetadmin● HP MFP Digital Sending ソフトウェア
セキュリティ機能	<ul style="list-style-type: none">● ファックス印刷のスケジュール● ファックス印刷とファックス転送の PIN (HP Color LaserJet CM 4540 MFP シリーズ、HP Color LaserJet Enterprise M4555 MFP シリーズ、HP LaserJet Enterprise 500 MFP シリーズ、HP LaserJet Enterprise 500 Color MFP シリーズ、および HP LaserJet Enterprise M725 MFP シリーズ)

ファックス アクセサリの付属部品

ファックス アクセサリには次の部品が付属しています。

- ファックス アクセサリ カード
- 『ファックス ガイド』(本書) (CD に収録)
- Send Fax ドライバおよび Send Fax ドライバ ガイド (CD に収録)
- 電話線 (国/地域によって異なります)

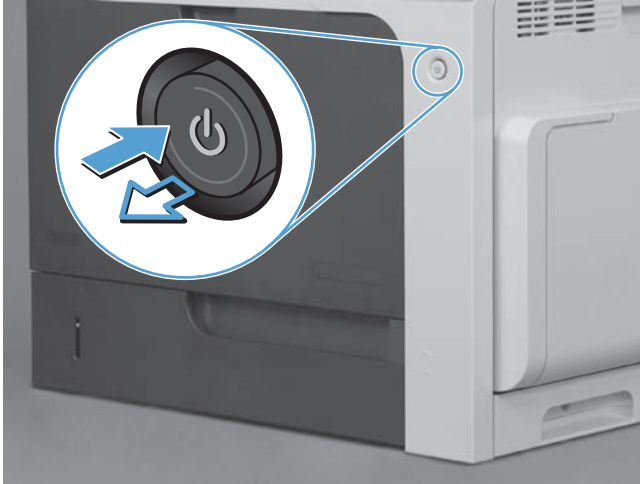
 **注記：** Send Fax ドライバを使用すると、ネットワーク接続された製品に PC から直接ファックスを送信できます。このドライバのインストールはオプションです。詳細な手順については、CD に収録されている『Send Fax ドライバガイド』を参照してください。

2 HP Color LaserJet CM3530 MFP シリーズ


- [HP Color LaserJet CM3530 MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け](#)
- [ファックス アクセサリを電話回線に接続する](#)
- [ファックスの動作確認](#)
- [ファックスの必須設定](#)
- [リモートでのファックス設定](#)
- [ファックス設定](#)
- [ファックスを使用する](#)
- [ファックスに関する問題を解決する](#)

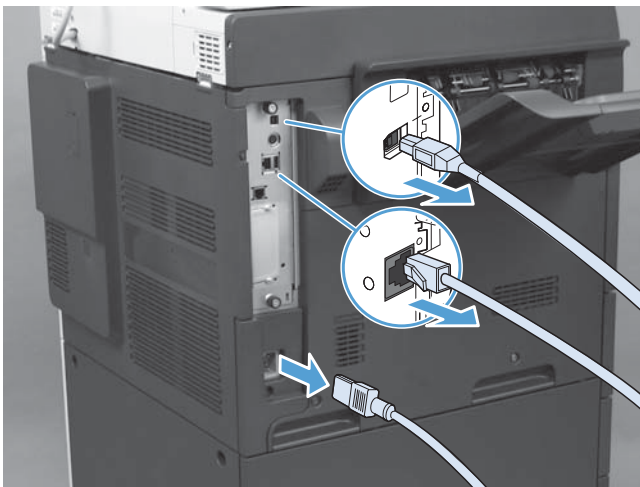
HP Color LaserJet CM3530 MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け

1. プリンターの電源を切ります。



2. 電源ケーブルとインタフェースケーブルを取り外します。

 **注記：** この図では、すべてのケーブルを表示しているわけではありません。



3. プリンタの背面にあるフォーマッタ ボードのつまみネジを確認します。



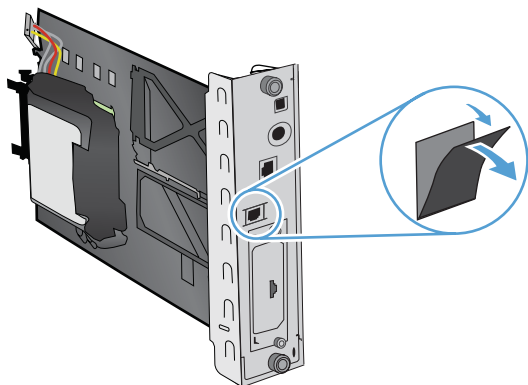
4. つまみネジをゆるめ、フォーマッタを引き出します。

△注意： フォーマッタ ボードとファックス アクセサリ カードには、静電気放電 (ESD) による損傷を受けやすい部品が含まれています。フォーマッタ ボードまたはファックス アクセサリ カードを扱うときは、1) 製品の金属フレームに接続した静電気防止用リストストラップなどの静電気防止器具を使用するか、2) フォーマッタの金属フレームを手で触れてください。

フォーマッタ ボードまたはファックス アクセサリ カードのコンポーネントには触れないようにしてください。



5. 必要に応じて、フォーマッタのファックスポートのラベルをはがします。

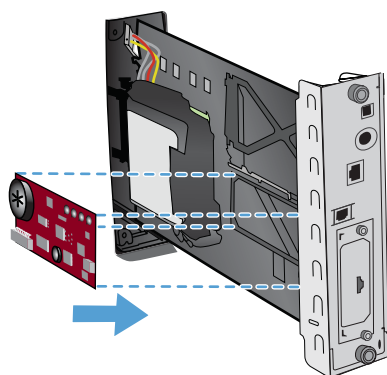


6. ファックスアクセサリをパッケージから取り出します。

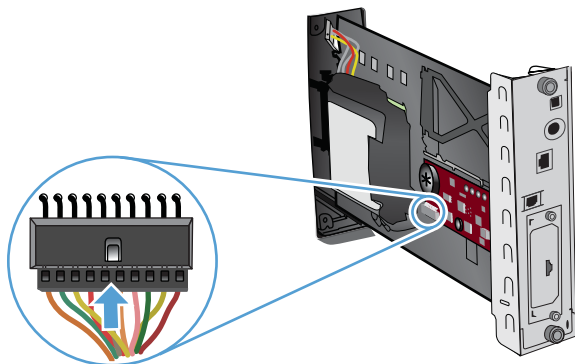
⚠ 注意： フォーマッタ ボードとファックス アクセサリ カードには、静電気放電 (ESD) による損傷を受けやすい部品が含まれています。フォーマッタ ボードまたはファックス アクセサリ カードを扱うときは、1) 製品の金属フレームに接続した静電気防止用リストストラップなどの静電気防止器具を使用するか、2) フォーマッタの金属フレームを手で触れてください。

フォーマッタ ボードまたはファックス アクセサリ カードのコンポーネントには触れないようにしてください。


7. フォーマッタのファックスアクセサリ サポートを見つけ、サポートからファックス配線用ハーネスを外します。ファックス配線用ハーネスをフォーマッタからは取り外さないでください。ファックスアクセサリをサポートにセットします。ファックスアクセサリがサポートにしっかり固定されるように押し込みます。ファックスアクセサリの電話線コネクタをフォーマッタの金属フレームの開口部に合わせます。

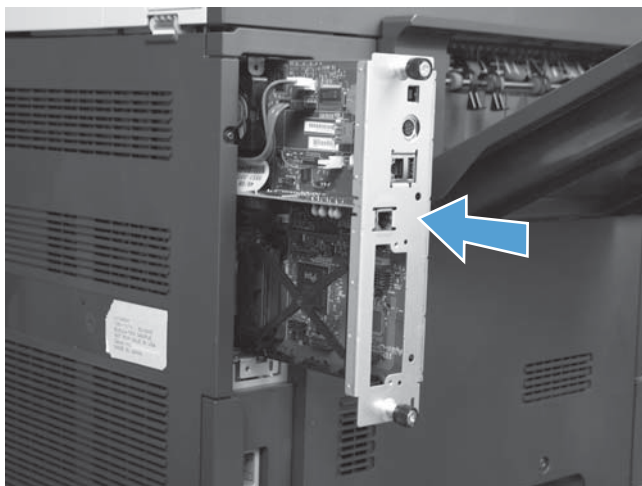


8. ファックス配線用ハーネスをファックス アクセサリに接続します。ケーブル コネクタの小さい突起をファックス ボードのコネクタのロットに合わせます。完全に固定されるようにコネクタを押し込みます。

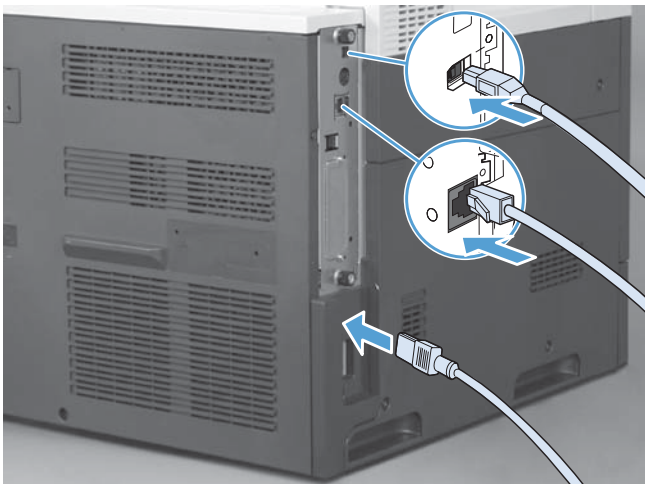


9. スロットの下部の溝にフォーマッタ ボードを合わせ、ボードを製品側へスライドします。蝶ねじを締めます。

 **注記：** フォーマッタ ボードの損傷を防ぐためフォーマッタ ボードを確実に開口部の上下のトラックに合わせてください。




10. 電源ケーブルとインタフェースケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。




ファックス アクセサリを電話回線に接続する

ファックス アクセサリを電話回線に接続するときはファックス アクセサリ専用の回線に接続し、他の機器とは併用しないでください。また、この電話回線はアナログ ラインを使用してください。デジタル PBX システムに接続されると、正しく機能しません。アナログ電話回線またはデジタル電話回線のいずれを使用しているかわからない場合は、通信プロバイダにお問い合わせください。

 **注記：** アクセサリが正しく機能するように、HP では、ファックス アクセサリに付属の電話コードを使用することをお勧めします。

次の手順に従って、ファックス アクセサリを電話ジャックに接続します。

1. ファックス アクセサリ キットに付属している電話コードを探します。電話コードの一方の端をファックス カード上にあるファックス アクセサリの電話ジャックに接続します。カチッと音がするまで押し込みます。

 **注意：** ファックス カードの中央にあるファックス アクセサリ ポートに電話回線が接続されていることを確認します。フォーマッタの下部にある HP Jetdirect ポートには、電話回線を接続しないでください。

2. 電話コードのもう一方の端を壁の電話ジャックに接続します。カチッと音がするか、適切に設置されるまで、コネクタを差し込みます。国/地域によってコネクタのタイプは異なるため、コネクタを差し込んでもカチッと音がしないことがあります。

ファックスの動作確認


ファックス アクセサリが取り付けられ、正常に動作しているときは、プリンタのコントロールパネルに [ファックス] アイコンが表示されます。ファックス アクセサリを取り付けただけで設定していない場合は、[ファックス] アイコンが薄く表示されます。この場合は、以下の手順に従ってファックス アクセサリを設定してください。


ファックスの必須設定

ファックス アクセサリを取り付けた後、アクセサリを使用するには、所定の設定を行う必要があります。これらの設定を指定していない場合、ファックス アイコンはグレーアウトされます。この設定には次のものがあります。

- 日付と時刻
- 国/地域
- ファックス ヘッダー (電話番号と会社名)

この情報はファックス ヘッダーに使用され、すべての送信ファックスに印刷されます。

 **注記：** 初めてファックス アクセサリを取り付けたときに製品からこうした設定の一部が読み取られて、値が既に設定されている場合があります。値が正しく設定されていることを確認してください。

 **注記：** 米国とその他多くの国/地域では、日付、時刻、国/地域、電話番号、および会社名を設定することがファックスの法的な要件になっています。

ファックス設定ウィザード


ファックス設定ウィザードの順を追った手順に従って、ファックス機能を使用するために必要なファックス設定を行うことができます。設定を行っていない場合、ファックス機能は使用できません。ウィザードを使用して設定するファックス設定は次のとおりです。

- 国/地域
- ファックス番号
- 会社名

この情報はファックス ヘッダーに使用され、すべての送信ファックスに印刷されます。


製品に初めて電源を入れると、ウィザードが起動します。ウィザードを使用するか、ウィザードを終了して後で設定を行うかを選択できます。

コントロールパネルの **[管理]** メニューからもウィザードにアクセスできます。 **[初期セットアップ]** メニュー、 **[ファックス設定]** メニューの順にタッチします。

 **注記：** コントロールパネルでウィザードを使用して行った設定は、内蔵 Web サーバで行った設定よりも優先します。

ファックス設定メニュー

コントロールパネルの **[管理]** メニューにアクセスして、必要なファックス設定を行います。 **[初期セットアップ]** メニュー、 **[ファックス設定]** メニューの順にタッチします。

 **注記：** **[ファックス設定]** メニュー設定がメニュー リストに表示されない場合は、LAN ファックスが有効になっている可能性があります。LAN ファックスを有効にすると、アナログファックス アクセサリが無効になり、ファックス メニューは表示されません。LAN ファックスとアナログファックスのどちらかのファックス機能のみを有効にすることができます。ファックス アイコンは、どちらかのファックス機能に対して表示されます。LAN ファックスが有効なときにアナログファックスを使用する場合は、HP MFP Digital Sending ソフトウェア設定ユーティリティを使用してLAN ファックスを無効にします。

日付と時刻の設定または確認

ファックス アクセサリの日付と時刻の設定は、プリンタの日付と時刻の設定と同じ値です。製品に初めて電源を入れると、この情報の入力が必要とされます。

日付と時刻の設定を確認または変更するには、次の手順を実行します。

1. コントロールパネルでスクロールして **[管理]** アイコンをタッチし、**[管理]** メニューを開きます。
2. スクロールして **[初期セットアップ]** をタッチし、セットアップ設定メニューを表示します。続いて、 **[ファックス設定]** をタッチします。
3. **[必要な設定]** をタッチします。

4. 日付の形式を選択して日付を入力します。
5. 時刻の形式を選択して時刻を入力します。
6. [保存] を押して、設定内容を確定します。


国/地域の設定、確認、または変更

国/地域の設定では、製品またはファックス アクセサリが設置されている国/地域を特定します。また、国/地域に応じた日付と時刻の形式、および呼び出し回数の最小値と最大値の範囲を設定します。この設定は一部の国/地域で法的な要件になっているため、ファックス アクセサリを使用するには設定が必要です。製品に初めて電源を入れると、この情報の入力が必要されます。

1. コントロールパネルでスクロールして[管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして[初期セットアップ] をタッチし、セットアップ設定メニューを表示します。
3. [ファックス設定] をタッチして[ファックス設定] メニューを表示し、[必要な設定] をタッチします。
4. [国/地域] をタッチして、国/地域のリストを表示します。
5. 自分の国/地域が表示されるまでリストをスクロールし、国/地域をタッチして選択します。
6. [保存] をタッチして設定を保存します。

ファックス ヘッダーの設定

ファックス ヘッダーの設定では、ファックス ヘッダーに印刷される電話番号および会社名を設定します。この情報は必須なので、設定が必要です。

 **注記：** コントロールパネル上のファックス アイコンが薄く表示される場合、必要な設定はすべて完了しています。

1. コントロールパネルでスクロールして[管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして、[初期セットアップ] をタッチし、[初期セットアップ] メニューを表示します。
3. [ファックス設定] をタッチして、[ファックス設定] メニューを表示します。
4. [必要な設定] をタッチして、[必要な設定] メニューを表示します。
5. [ファックス ヘッダ情報] をタッチして、ヘッダー情報を表示します。
6. [電話番号] をタッチして、[電話番号] 画面を表示します。
7. テキストボックスをタッチして、キーボードを表示します。
8. キーボードを使用して電話番号を入力して、[OK] をタッチします。
9. [保存] をタッチして、ヘッダー電話番号を保存します。
10. [会社名] をタッチして、同じ処理を繰り返します。

リモートでのファックス設定

プリンタのコントロールパネルだけでなく、さまざまなソフトウェア ツールを使用して、ファックス アクセサリをリモートで設定できます。プリンタには内蔵 Web サーバ (EWS) が組み込まれているため、Web ブラウザまたは HP Web Jetadmin (WJA) のいずれかを使用して Web 上でファックス アクセサリを設定できます。また、HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティ (DSS) を使用して、ネットワークに接続したコンピュータからネットワーク上でファックス アクセサリを設定することもできます。これらのツールを使用すると、プリンタのファックス メニューから利用可能なほとんどのファックス アクセサリ設定にアクセスできます。

Web ブラウザ

プリンタには、内蔵 Web サーバ (EWS) が組み込まれています。EWS を使用すると、Web ブラウザでアナログ ファックス設定にアクセスして設定できます。

1. ブラウザの URL アドレス バーにプリンタの IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押して EWS のプリンタの設定画面を開きます。プリンタの IP アドレスを取得するには、プリンタの設定ページを印刷します。

 **注記:** DSS を使用している場合は、DSS が制御下にあることを示すメッセージが EWS に表示されます。設定を変更するには、DSS を使用する必要があります。

2. **[ファックス]** タブをクリックします。**[ファックス送信設定]** 画面が表示されます。
3. **[ファックス送信設定]** 画面で、**[FAX 送信の有効化]** をクリックしてファックスを有効にします。共通のジョブ設定および使用するファックス タイプの特定の設定に変更を加えた後、**[適用]** ボタンをクリックして設定を適用します。

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin を使用してこのプリンタのアナログ ファックス設定にアクセスするには、次の手順を実行します。HP Web Jetadmin の詳細については、『**HP Web Jetadmin Reference Manual**』 (HP Web Jetadmin リファレンス マニュアル) を参照してください。

1. HP Web Jetadmin を起動します。
2. **[At a Glance]** (一覧表) テキスト ボックスで、**[Quick Device Find]** (クイック デバイス検索) テキスト ボックスにプリンタの IP アドレスを入力します。**[Go]** (Go) ボタンをクリックすると、右側のウィンドウにデバイスのステータスが表示されます。そのウィンドウのステータス ドロップダウン メニューから **[Digital Sending and Fax]** (デジタル送信とファックス) を選択します。
3. **[ファックス設定]** セクションまたは **[ファックスの詳細設定]** セクションのオプションを設定します。個々の設定については、設定の横のコンテキスト ヘルプを選択してください。
4. 設定を変更した後、**[適用]** ボタンを選択してその設定を適用します。

1 台のプリンタだけでなく、複数のデバイスを設定することもできます。複数デバイス モードでは、複数のプリンタを一度に設定します。この機能については、www.hp.com/go/webjetadmin の **[Self**


Help and Documentation (セルフヘルプとマニュアル) タブで『**Web Jetadmin User Guide**』 (Web Jetadmin ユーザーガイド) を参照してください。

HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティ

DSS 設定ユーティリティを使用して MFP のアナログファックス設定にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. コンピュータまたはサーバでユーティリティを起動し、メイン画面を開きます。
2. 製品を選択し、メイン画面の **[Configure MFP]** (MFP の設定) ボタンをクリックします。次に **[FAX に送信]** タブを選択して **[Fax Settings]** (ファックスの設定) 画面を開きます。
3. プリンタのファックス機能を有効にするには、**[Enable Fax Send]** (FAX 送信の有効化) オプションを選択します。アナログファックス設定にアクセスするには、**[Fax Send Method]** (ファックス送信方式) ドロップダウンリストで **[Internal Modem]** (内蔵モデム) を選択します。
[Common Job Settings] (共通のジョブ設定) タブで設定を変更し、**[適用]** ボタンをクリックしてその設定を適用します。**[Internal Modem]** (内蔵モデム) タブを選択し、その他のファックス設定を指定します。

1 台のプリンタだけでなく、複数のデバイスを設定することもできます。HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティの詳細については、『**HP MFP Digital Sending Software ユーザーガイド**』または『**HP MFP Digital Sending Software サポートガイド**』を参照してください。

 **注記：** ファックス方式の機能と設定によっては、これらのオプションの一部が表示されなかったり、設定できなかったりする場合があります。

ファックス設定

以下のセクションでは、ファックスの送受信に関するさまざまな設定について詳しく説明します。

- [ファックス送信設定](#)
- [ファックス受信設定](#)
- [ファックスのアーカイブと転送](#)

ファックス送信設定

[Fax Send Setup] (ファックス送信セットアップ) メニューを使用して、次の機能を設定します。

- [ファックスダイアル設定](#)
- [全般的なファックス設定](#)
- [デフォルトジョブオプション](#)

ファックスダイアル設定

モデムの音量の設定

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして、[初期セットアップ] をタッチし、[初期セットアップ] メニューを表示します。
3. [ファックス設定] をタッチして、[ファックス設定] メニューを表示します。
4. [ファックス送信設定] をタッチして、[ファックス送信設定] メニューを表示します。
5. [ファックスダイアル音量] をタッチして、[ファックスダイアル音量] メニューを表示します。
6. [オフ]、[低] (デフォルト)、または [高] をタッチして、音量を設定します。
7. [保存] をタッチして、音量設定を保存します。

ダイアルモードの設定

ダイアルモード設定では、使用するダイアルタイプをトーン (プッシュホン) またはパルス (ダイアル式電話) のいずれかに設定します。


ダイアルモードを設定するには、次の手順を実行します。

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして、[初期セットアップ] をタッチし、初期セットアップメニューを開きます。
3. [ファックス設定] をタッチして、ファックス設定メニューを開きます。
4. [ファックス送信設定] をタッチし、下矢印キーを使用して [ダイアルモード] までスクロールします。

5. [ダイアルモード] をタッチして、ダイアルモードの設定を表示します。
6. ファックスをトーンダイアルに設定するには[トーン] (デフォルト) をタッチします。パルスダイアルに設定するには[パルス] をタッチします。
7. [保存] をタッチします。

リダイアル間隔の設定

リダイアル間隔の設定では、ダイアルした番号が通話中または応答しない場合のリダイアル間隔を分単位で選択します。通話中とは、通信エラーが発生していることを示す場合もあります。

 **注記：** [通話中の場合のリダイアル]、[応答がない場合のリダイアル]、および [エラー時のリダイアル] をすべてオフに設定すると、コントロールパネルにリダイアルメッセージが表示されます。このエラーは、ファックスアクセサリが番号をダイアルし、接続を確立した後に、接続が切断されると発生します。このエラーの結果、リダイアルの設定に関係なく、ファックスアクセサリはリダイアルを 2 回試みます (最初は 26,400bps でリダイアルし、失敗すると 2 回目は 14,400bps でリダイアルします)。このリダイアル操作中に、リダイアル中であることを示すメッセージがコントロールパネルに表示されます。

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして、[初期セットアップ] をタッチし、初期セットアップメニューを開きます。
3. [ファックス設定] をタッチして、ファックス設定メニューを開きます。
4. [ファックス送信設定] をタッチし、下矢印キーを使用して [リダイアルの間隔] までスクロールします。
5. テキストボックスをタッチして、キーボードを表示します。
6. 値 (1 ~ 5) を入力し、[OK] ボタンをタッチします。
7. [保存] をタッチします。

通話中の場合のリダイアル設定

通話中の場合のリダイアル設定では、通話中の場合にファックスアクセサリがリダイアルを行う回数 (0 ~ 9) を選択します。リダイアルの間隔は [リダイアルの間隔] 設定で設定します。

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして、[初期セットアップ] をタッチします。
3. スクロールして、[ファックス設定] をタッチします。
4. [ファックス送信設定] をタッチし、下矢印キーを使用して [通話中の場合のリダイアル] までスクロールします。
5. テキストボックスをタッチして、キーボードを表示します。
6. 値 (0 ~ 9) を入力し、[OK] ボタンをタッチします。
7. [保存] をタッチします。

応答がない場合のリダイヤルの設定

応答がない場合のリダイヤルの設定では、ダイヤルした番号に応答がない場合にファックス アクセサリがリダイヤルを行う回数を選択します。リダイヤルの回数は、国/地域の設定に応じて 0 ~ 1 (米国で使用) または 0 ~ 2 のいずれかです。リダイヤルの間隔は [リダイヤルの間隔] 設定で設定します。

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして、[初期セットアップ] をタッチし、初期セットアップメニューを開きます。
3. スクロールして、[ファックス設定] をタッチし、ファックス設定メニューを開きます。
4. [ファックス送信設定] をタッチし、下矢印キーを使用して [無応答時のリダイヤル回数] までスクロールします。
5. [なし] または [1 回] を選択します。
6. [保存] をタッチします。


ダイヤルトーン検出の設定

ダイヤルトーン検出の設定では、ファックスを送信する前にダイヤルトーンを確認するかどうかを決定します。

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして、[初期セットアップ] をタッチし、初期セットアップメニューを開きます。
3. [ファックス設定] をタッチして、ファックス設定メニューを開きます。
4. [ファックス送信設定] をタッチし、下矢印キーを使用して [ダイヤルトーンを検出] までスクロールします。
5. ダイヤルトーン検出を有効にするには [有効] (デフォルト) をタッチします。無効にするには [無効] をタッチします。

オーバーレイ ヘッダーの設定 (送信ファックス)

ヘッダーは、日付、時刻、会社名、電話番号、およびページ番号で構成されており、送信するファックスのページ上部に印刷されます。この設定では、ヘッダーをページ上部に付加するか、オーバーレイとして印刷するかを決定します。ヘッダーをページ上部に付加する場合は、ページのデータが下に移動し、ページ下部のデータが次のページに移動して、印刷するページが増える場合があります。ヘッダーをオーバーレイとして印刷する場合は、ページのデータは移動しませんが、ヘッダーがページ上部のヘッダーに重なって印刷される場合があります。


 **注記：** ファックス転送が有効になっている場合は、オーバーレイを有効にしても、ヘッダーが常にページ上部に付加されます。

1. コントロールパネルの [管理] アイコンをタッチして、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして、[デフォルト ジョブ オプション] にタッチします。
3. スクロールして、[デフォルト ファックス オプション] をタッチします。


4. スクロールして、[ファックス送信] をタッチします。
5. [ファックス ヘッダ] をタッチして、ヘッダーの設定を表示します。
6. ヘッダーをオーバーレイとして印刷するには [オーバーレイ] をタッチします。ヘッダーをページ上部に付加するには [プリペンド] (デフォルト) をタッチします。
7. [保存] をタッチします。

ダイアル局番の設定

ダイアル局番の設定では、ダイアル時の局番 (外線発信時の「9」など) を入力できます。ダイアル時には、この局番がすべての電話番号に自動的に追加されます。

 **注記：** 局番と電話番号の間にポーズが必要な場合があります。2 秒間のポーズを挿入するには、カンマ (,) を入力します。

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして、[初期セットアップ] をタッチし、初期セットアップメニューを開きます。
3. [ファックス設定] をタッチして、ファックス設定メニューを開きます。
4. [ファックス送信設定] をタッチし、下矢印キーを使用して [プレフィックスのダイアル] までスクロールし、ダイアル局番設定を表示します。
5. [カスタム] にタッチして、ダイアル局番を入力します。

 **注記：** ダイアル局番を無効にするには、[オフ] (デフォルト) をタッチし、[保存] をタッチしてから、残りの手順を省略します。

6. [保存] をタッチして、[ダイアルプレフィックスの設定] 画面を開きます。
7. [ダイアルプレフィックス番号] をタッチします。
8. テキストボックスをタッチして、キーボードを表示します。
9. ダイアル局番を入力し、[OK] をタッチします。
10. [保存] をタッチします。

全般的なファックス設定

[全般的なファックス送信設定] メニューを使用して、次の機能を設定します。

- [ファックス番号の確認の有効化](#)
- [JBIG 圧縮モードの設定](#)
- [鮮明度設定の変更](#)
- [背景設定の変更](#)
- [濃淡設定の変更](#)

- [ファックス番号短縮ダイヤル検索の有効化](#)
- [エラー訂正モードの設定](#)
- [請求書コードの設定](#)


ファックス番号の確認の有効化

ファックス番号の確認が有効に設定されている場合、正しく入力されているかどうかを確認するために、ファックス番号を2回入力する必要があります。この機能のデフォルト設定は[無効]です。

1. コントロールパネルの[管理]アイコンをタッチして、[管理]メニューを開きます。
2. スクロールして[初期セットアップ]をタッチし、[送信設定]をタッチします。
3. スクロールして、[ファックス番号の確認]をタッチします。
4. [有効]をタッチします。
5. [保存]をタッチします。

JBIG 圧縮モードの設定

JBIG 圧縮を有効にすると、ファックスの伝送時間を短縮して電話料金を削減できるので、ファックスにかかる時間を短縮するのに便利です。ただし、旧式のファックス装置と通信するときに互換性の問題が発生する場合があります。このような場合はJBIGを無効にする必要があります。

 **注記：** JBIG 圧縮を使用できるのは、送信側と受信側の両方が JBIG 圧縮に対応している場合に限られます。

JBIG 圧縮を有効または無効にするには、次の手順を実行します。

1. コントロールパネルでスクロールして[管理]アイコンをタッチし、[管理]メニューを開きます。
2. スクロールして、[初期セットアップ]をタッチします。
3. スクロールして、[ファックス設定]をタッチします。
4. スクロールして、[ファックス送信設定]をタッチします。
5. [JBIG 圧縮]をタッチして設定を表示します。
6. JBIG 圧縮を有効にするには[有効] (デフォルト) をタッチします。無効にするには[無効]をタッチします。

鮮明度設定の変更

鮮明度設定では、プリンタで原稿をスキャンするときにスキャナで使用する鮮明度を指定します。鮮明度によって原稿の輪郭が強調され、不鮮明または細かいテキストやグラフィックがより鮮明に再現されます。鮮明度を上げると解像度が高くなり、同時に送信時間も長くなります。

1. コントロールパネルの[ファックス]アイコンをタッチして、[ファックス]画面を表示します。
2. スクロールして、[その他のオプション]をタッチします。

3. スクロールして、[イメージ調整] をタッチします。
4. [鮮明度] の見出しの下にある左矢印をタッチすると鮮明度が低くなり、右矢印をタッチすると鮮明度が高くなります。
5. [OK] をタッチして、設定内容を確定します。

背景設定の変更

カラー用紙に印刷されたドキュメントをファックス送信する場合は、ファックス コピーが縞模様や不鮮明になる原因である背景を削除することによって、ファックス コピーの画質を向上させることができます。背景を削除すると解像度が高くなり、同時に送信時間も長くなります。

1. コントロールパネルの [ファックス] アイコンをタッチして、[ファックス] 画面を表示します。
2. スクロールして、[その他のオプション] をタッチします。
3. スクロールして、[イメージ調整] をタッチします。
4. [背景のクリーンアップ] の見出しの下にある左矢印または右矢印をタッチして、背景設定を変更します。
5. [OK] をタッチして、設定内容を確定します。

濃淡設定の変更

濃淡設定では、送信した画像が受信側のファックス装置で印刷される際の濃淡を調整します。濃淡設定を調整すると解像度が高くなり、同時に送信時間も長くなります。

1. コントロールパネルの [ファックス] アイコンをタッチして、[ファックス] 画面を表示します。
2. スクロールして、[その他のオプション] をタッチします。
3. スクロールして、[イメージ調整] をタッチします。
4. [濃さ] の見出しの下にある左矢印をタッチすると画像が明るくなり、右矢印をタッチすると画像が暗くなります。
5. [OK] をタッチして、設定内容を確定します。

ファックス番号短縮ダイアル検索の有効化

この機能を有効にすると、入力されたファックス番号が短縮ダイアル リストの既存のエントリと照合されます。一致するエントリが見つかった場合、そのエントリを確定すると、ファックス送信が自動的に実行されます。この機能のデフォルト設定は [無効] です。

1. コントロールパネルの [管理] アイコンをタッチして、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして [初期セットアップ] をタッチし、[送信設定] をタッチします。
3. スクロールして、[短縮ダイアルに一致したファックス番号] をタッチします。
4. [有効] をタッチします。
5. [保存] をタッチします。

エラー訂正モードの設定

通常、ファックス アクセサリではファックスの送受信中に電話線の信号が監視されます。エラー訂正設定がオンになっている場合にファックス アクセサリによって伝送時のエラーが検出されると、ファックスのエラー箇所の再送信が要求されます。


エラー訂正モードが有効になっていない場合、高速モードではファックスを使用できません。ファックス速度は 14,400bps 以下になります。

1. コントロールパネルでスクロールして **[管理]** アイコンをタッチし、**[管理]** メニューを開きます。
2. **[初期セットアップ]** をタッチして、セットアップ設定メニューを開きます。続いて、**[ファックス設定]** をタッチします。
3. **[ファックス送信設定]** をタッチして設定を表示します。
4. **[エラー修正モード]** をタッチして設定を表示します。
5. エラー訂正モードを有効にするには **[有効]** (デフォルト) をタッチします。無効にするには **[無効]** をタッチします。

請求書コードの設定

請求書コード設定が有効な場合は、ファックスの送信時に番号の入力を要求するプロンプトが表示されます。この番号が請求書コードレポートに記載されます。請求書コードレポートを確認するには、レポートを印刷するか、アプリケーションを使用してクエリを実行します。

1. コントロールパネルでスクロールして **[管理]** アイコンをタッチし、**[管理]** メニューを開きます。
2. スクロールして **[初期セットアップ]** をタッチし、**[ファックス設定]** をタッチして、ファックスメニューを開きます。
3. **[ファックス送信設定]** をタッチして、**[ファックス送信設定]** を表示します。
4. スクロールして **[請求書コード]** をタッチし、請求書コードの設定を表示します。
5. **[カスタム]** をタッチして、請求書コードを有効にします。


 **注記:** 請求書コードを無効にするには、**[オフ]** をタッチし、**[保存]** をタッチしてから、残りの手順を省略します。

6. **[保存]** をタッチして、**[請求書コード]** 画面を開きます。
7. テキストボックスをタッチして、キーボードを表示します。
8. 請求コードの必要最低桁の数字を入力し、**[OK]** をタッチします。
9. **[保存]** をタッチします。

デフォルト ジョブ オプション


設定には、次のデフォルト ジョブ オプションを使用できます。


- 画像プレビュー
- 解像度
- 片面原稿/両面原稿
- 通知
- 内容の向き
- 元のサイズ
- イメージ調整
- テキスト/画像の最適化
- ジョブ作成
- 空白のページの削除


 **注記：** デフォルト ジョブ オプション設定は、すべてのファックス方式 (アナログ、LAN、インターネット ファックス) で共有されます。

ファックス送信側の解像度の設定

ファックス送信側の解像度設定によって、ファックス受信側でサポートされる最大解像度が決まります。ファックス アクセサリでは、この設定で制限される範囲で可能な限り高い解像度と、ファックス受信側の最大解像度を使用します。

 **注記：** 幅が 21.25 cm (8.5 インチ) より広いファックスは自動的に標準または高画質で送信され、通話時間が短縮されます。

 **注記：** 解像度のデフォルトの設定は、旧式のプリンタ モデルの解像度のデフォルト設定よりも dpi 値が低くなっています。たとえば、旧式のプリンタ モデルの解像度のデフォルト設定は、[高画質] (200 × 200 dpi) でした。

 **注記：** 解像度が高いほど伝送時間が長くなります。

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. [デフォルト ジョブ オプション] をタッチします。
3. [デフォルト ファックス オプション] をタッチします。
4. スクロールして、[ファックス送信] をタッチします。
5. [解像度] をタッチして、解像度の設定を表示します。
6. [標準] (200 x 100dpi、デフォルト)、[高解像度] (200 x 200dpi)、または [最高画質] (300 x 300dpi) をタッチして、解像度を選択します。
7. [保存] をタッチします。

元の文書の面

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] アイコンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 元の文書の面
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - 片面 (デフォルト)
 - 両面
4. [印刷の向き] ボタンをタッチして、印刷の向きを設定します。
5. [保存] ボタンをタッチします。

通知

通知設定では、送信ファックスのステータスをいつ、どのように通知するかを選択します。この設定は、現在のファックスにのみ適用されます。設定を永久的に変更するには、デフォルトの設定を変更します。

1. [ホーム] 画面で [管理] アイコンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 通知
3. 次のいずれかの通知設定をタッチします。
 - Do not notify (通知しない) (デフォルト)
 - Notify when job completes (ジョブ完了時に通知)
 - Notify only if job fails (ジョブ失敗時のみ通知)
4. [印刷] オプションをタッチして印刷された通知を受け取るか、[電子メール] オプションをタッチして電子メールによる通知を受け取ります。
5. [印刷] オプションを選択した場合は、[保存] ボタンをタッチして通知設定を完了します。
または

[電子メール] オプションを選択した場合は、キーボードを使用して電子メール アドレスを入力します。次に、[OK] ボタンをタッチして、通知設定を完了します。

6. [Include Thumbnail (サムネイルを含める)] チェック ボックスをタッチして、サムネイル画像と通知を含めます。

内容の向き

ファックスの内容をページ上にどのように配置するかを設定するには、「内容の向き」機能を使用します。片面ページの場合は、[Portrait] (縦) (短辺が上、デフォルトの設定) または [Landscape] (横) (長辺が上) を選択します。両面ページの場合は、[製本スタイル] (短辺が上) または [綴込みスタイル] (長辺が上) を選択します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 内容の向き
3. 片面ページの場合は、[縦] (デフォルト) または [横] をタッチします。
4. 両面ページの場合は、[製本スタイル] または [綴込みスタイル] をタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチします。

原稿のサイズ


ファックスの内容を原稿のサイズに合わせるには、「原稿のサイズ」機能を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 元のサイズ
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - Any size (default) (サイズ指定なし (デフォルト))
 - レター (8.5x11 インチ)
 - レター/リーガル混合
 - Legal (8.5 x 14 インチ)

- Executive (7.25 x 10.5 インチ)
- Statement (8.5 x 5.5 インチ)
- Oficio (8.5 x 13) (Oficio (8.5 x 13 インチ))
- A4 (210 x 297 mm)
- A5 (148 x 210 mm)
- B5 (257 x 182 mm)
- 16k (197 x 273 mm)
- DPostcard JIS (148 x 200 mm)
- Oficio (216 x 340 mm)

4. [保存] ボタンをタッチします。

イメージ調整

 **注記：** イメージの設定を調整すると、ファックス転送速度が低下し、送信時間が長くなる可能性があります。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルトジョブ オプション
 - イメージ調整
3. [より薄い] または [濃い] ボタンをタッチして、[濃さ] 設定を調整します。
4. [少なめ] または [詳細] ボタンをタッチして、[コントラスト]、[背景のクリーンアップ]、または [鮮明度] 設定を調整します。
5. [保存] ボタンをタッチします。

 **注記：** [デフォルト] ボタンをタッチして、鮮明度の設定を出荷時の設定にリセットします。

テキスト/画像の最適化

原稿と最も一致するファックス出力を生成するには、「テキスト/画像の最適化」機能を使用します。グラフィックスや写真をテキスト モードで送信すると、イメージの画質は低下します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。

- ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - テキスト/画像の最適化
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - **Manually adjust (手動調整)** (デフォルト)
 - テキスト
 - 印刷画像
 - 写真
 4. [保存] ボタンをタッチします。

ジョブ作成

複数の原稿を 1 つのファックス ジョブにまとめるには、「ジョブ作成」機能を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - ジョブ作成
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - **Job Build off (ジョブ作成を無効化)** (デフォルト)
 - **Job Build on (ジョブ作成を有効化)**
4. [保存] ボタンをタッチします。

空白のページの削除

ファックスで空白ページが印刷されないようにするには、「空白のページの削除」機能を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定

- デフォルト ジョブ オプション
 - 空白のページの削除
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - 無効 (デフォルト)
 - 有効
 4. [保存] ボタンをタッチします。

ファックス受信設定

[ファックス受信セットアップ] メニューを使用して、次の機能を設定します。


- [ファックス受信セットアップ](#)
- [ファックス印刷スケジュールの有効化または無効化](#)
- [着信ファックスのブロック](#)
- [ポーリング受信の開始](#)
- [デフォルト ジョブ オプション](#)
- [用紙トレイの設定](#)

ファックス受信セットアップ

呼び出し音の音量の設定

1. コントロール パネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして、[初期セットアップ] をタッチし、[初期セットアップ] メニューを表示します。
3. [ファックス設定] をタッチして、[ファックス設定] メニューを表示します。
4. [ファックスの受信設定] をタッチして、[ファックスの受信設定] メニューを表示します。
5. [呼び出し音量] をタッチして、[呼び出し音量] メニューを表示します。
6. [オフ]、[低] (デフォルト)、または [高] をタッチして、音量を設定します。
7. [保存] をタッチして、音量設定を保存します。


ファックス印刷スケジュールの有効化または無効化

 **注記:** ファックス印刷のスケジュール設定を有効にする前に、スケジュールを作成する必要があります。

1. コントロール パネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして、[時刻/スケジューリング] をタッチし、[時刻/スケジューリング] 画面を表示します。

3. スクロールして、[ファックス印刷] をタッチし、PIN メニューを表示します。
4. テキスト ボックスをタッチして、キーボードを表示します。
5. キーパッドを使用して PIN (4 桁以上) を入力し、[OK] をタッチして [ファックス印刷] メニューを表示します。

PIN がない場合は、作成を要求するプロンプトが表示されます。


 **注記：** ご使用の PIN は必ず安全な場所に保管してください。PIN を紛失した場合は、PIN のリセット方法について HP サービス サポートにお問い合わせください。詳細は、[147 ページのカスタマ サポート](#)を参照してください。

6. [毎週のファックス イベントをスケジュール] 画面を開くには、緑色のプラス記号をタッチします。
7. スクロールして、[ファックス印刷モード] をタッチします。
8. ファックス印刷モードを選択します。
 - スクロールして [全受信ファックスを保存] をタッチし、ファックスの印刷を無効にしてすべての受信ファックスをメモリに保存します。
 - スクロールして [全受信ファックスを印刷] をタッチし、受信時にすべての受信ファックスを印刷可能にします。
 - スクロールして [ファックス印刷スケジュールの使用] をタッチし、ファックス印刷スケジュールを使用してファックスの印刷を自動的に有効または無効にします。
9. スクロールして [保存] をタッチし、終了します。

 **注記：** ファックス印刷とファックス転送では、同じ PIN を使用します。ファックス転送用に PIN を作成した場合は、ここでもその PIN を使用します。

着信ファックスのブロック

ファックスのブロック設定を使用して、ブロック対象電話番号のリストを作成します。ブロック対象の電話番号から送信されたファックスを受信した場合、ファックスは印刷されず、すぐにメモリから削除されます。

 **注記：** ファックス ブロック リストには、番号だけを使用できます。ダッシュやスペースは使用しないでください。ブロック対象の電話番号から送信されたファックスの番号に、ダッシュやスペースが使用されている場合、そのファックスはブロックされません。

ブロック対象ファックス リストの作成

1. コントロール パネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして、[初期セットアップ] をタッチします。
3. [ファックス設定] をタッチします。
4. スクロールして、[ファックスの受信設定] をタッチします。

5. スクロールして、[ブロックするファックス番号] をタッチし、ブロック対象ファックスのメニューを開きます。
6. [ブロックされた番号を追加] をタッチして、キーボードを使用可能にします。
7. 電話番号を入力し、[OK] をタッチします。
8. 電話番号を追加するには、ステップ 5 ～ 6 を繰り返します。

ブロック対象ファックス リストから電話番号の削除

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして、[初期セットアップ] をタッチします。
3. [ファックス設定] をタッチします。
4. スクロールして、[ファックスの受信設定] をタッチします。
5. スクロールして、[ブロックするファックス番号] をタッチし、ブロック対象ファックスのメニューを開きます。
6. [ブロックされた番号を削除] をタッチして、キーボードを使用可能にします。
7. 電話番号を入力し、[OK] をタッチします。
8. 電話番号を追加するには、ステップ 5 ～ 6 を繰り返します。

ブロック対象ファックス リストのすべての電話番号の削除

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. スクロールして、[初期セットアップ] をタッチします。
3. [ファックス設定] をタッチします。
4. スクロールして、[ファックスの受信設定] をタッチします。
5. スクロールして、[ブロックするファックス番号] をタッチし、ブロック対象ファックスのメニューを開きます。
6. [ブロックされた番号をすべてクリア] をタッチして、キーボードを使用可能にします。
7. リストからすべての電話番号を削除するには [○] をタッチします。電話番号を削除せずに終了するには [不可] をタッチします。

ポーリング受信の開始


一部のファックス機では、別のファックス機がファックスの送信を要求するまでファックスを保持できます。あるファックス機が、ファックスを保持している別のファックス機をポーリングし、保持されているファックスを送信するよう要求する動作は、ポーリング受信として知られています。

1. コントロールパネルの [ファックス] アイコンをタッチして、[ファックス] 画面を表示します。
2. [その他のオプション] をタッチして、オプション画面を表示します。
3. 3 ページにスクロールします。
4. [ファックス ポーリング] をタッチして、[ファックス ポーリング] 画面を表示します。
5. テキストボックスをタッチして、キーボードを表示します。
6. キーパッドを使用してポーリング受信番号を入力し、[スタート] をタッチします。
7. 入力した番号にダイヤルされます。保存されたファックスがダイヤル先のファックス機で待機中の場合、そのファックスはこのプリンタに送信され、印刷されます。ファックスが待機中ではない場合、「ファックスを使用できません」というメッセージが表示されます。ファックス装置でポーリング機能がサポートされていない場合、「ポーリングが無効です」というエラーメッセージが表示されます。

デフォルト ジョブ オプション

設定には、次のデフォルト ジョブ オプションを使用できます。

- 通知
- スタンプ済み受信ファックス
- 用紙の大きさに合わせる
- 用紙の選択
- 排紙ビン
- 面

 **注記：** デフォルト ジョブ オプション設定は、すべてのファックス方式 (アナログ、LAN、インターネット ファックス) で共有されます。

通知設定の変更

通知設定では、送信ファックスのステータスをいつ、どのように通知するかを選択します。この設定は、現在のファックスにのみ適用されます。設定を永久的に変更するには、デフォルトの設定を変更します。

1. コントロールパネルの [ファックス] アイコンをタッチして、[ファックス] 画面を開きます。
2. [その他のオプション] をタッチします。
3. [通知] をタッチします。
4. 以下の通知設定を選択します。

- [なし] をタッチして、通知をオフにします。
 - [このジョブ] をタッチして、現行ジョブの通知を有効にします。
 - [エラー発生時] をタッチして、現行ジョブでのみエラー通知を有効にします。
5. [印刷] をタッチして印刷された通知を受け取るか、[電子メール] をタッチして電子メールによる通知を受け取ります。
 6. [印刷] を選択した場合は、[OK] をタッチして通知設定を完了します。

または

[電子メール] を選択した場合は、キーボードを使用して電子メールアドレスを入力します。
[OK] をタッチして、通知設定を完了します。

受信ファックス (着信ファックス) のスタンプ

受信ファックスのスタンプ設定では、着信したファックスへのスタンプを有効または無効にします。スタンプでは、着信したページごとに受信した日付、時刻、電話番号、およびページ番号が印刷されます。

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. [デフォルト ジョブ オプション] をタッチし、[デフォルト ファックス オプション] をタッチします。
3. [ファックス受信] をタッチして、ファックス受信の設定を表示します。
4. [スタンプ済み受信ファックス] をタッチして設定を表示します。
5. スタンプを無効にするには [無効] (デフォルト) をタッチします。有効にするには [有効] をタッチします。
6. [保存] をタッチします。

ページに収める設定

ファックスを印刷するページサイズを選択するときは、利用可能なサイズから目的のサイズに最も近いページサイズが自動的に決定されます。ページに収める設定が有効になっており、受信した画像がそのページサイズよりも大きい場合は、画像がページに収まるように縮小されます。この設定が無効の場合、ページよりも大きい着信画像はページをまたいで分割されます。

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. [デフォルト ジョブ オプション] をタッチし、[デフォルト ファックス オプション] をタッチします。
3. スクロールして [ファックス受信] をタッチし、ファックス受信の設定を表示します。
4. [用紙の大きさに合わせる] をタッチしてページに収める設定を表示します。

5. ページに収める設定を有効にするには [有効] (デフォルト) をタッチします。無効にするには [無効] をタッチします。
6. [保存] をタッチします。

用紙トレイの設定


給紙トレイの設定では、ファックスの印刷用紙を供給するプリンタ給紙トレイを選択します。

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. [デフォルト ジョブ オプション] をタッチします。
3. [デフォルト ファックス オプション] をタッチします。
4. [ファックス受信] をタッチして、[ファックス受信] メニューを表示します。
5. [ファックス用紙トレイ] をタッチして、[ファックス用紙トレイ] メニューを表示します。
6. ファックスの受信に使用するトレイの名前をタッチします。
7. [保存] をタッチして、用紙トレイの値を保存します。

ファックスのアーカイブと転送


指定した電子メールアドレスに対するすべての受信ファックス、すべての送信ファックス、またはその両方のアーカイブ コピーを保存するには、ファックスアーカイブ機能を使用します。

すべての受信ファックス、すべての送信ファックス、またはその両方を別のファックス番号に転送するには、ファックス転送機能を使用します。ファックスの転送が有効になっている場合は、受信側でファックスが印刷され (ファックス印刷が無効になっている場合は、印刷が有効になったときにファックスが印刷され)、ファックス転送先番号にもファックスが転送されます。

 **注記：** [電子メールアドレスにアーカイブする] 機能を使用するには、この製品で SMTP サーバを設定し、応答できるようにする必要があります。SMTP サーバの設定の詳細については、本製品のユーザーズガイドを参照してください。

ファックスのアーカイブ

すべての受信ファックス、すべての送信ファックス、または両方のアーカイブ コピーを保存できます。このコピーは、別のファックス番号または電子メールアドレスに送信できます。この機能を設定するには、内蔵 Web サーバを使用します。


 **注記：** [電子メールアドレスにアーカイブする] 機能を使用するには、本製品の SMTP サーバを設定する必要があります。この機能が有効になっている場合にファックスの送受信を行うには、SMTP サーバが応答する必要があります。SMTP サーバの設定の詳細については、本製品のユーザーズガイドを参照してください。

ファックスアーカイブ機能の有効化

1. Web ブラウザのアドレス行に製品の IP アドレスを入力して、内蔵 Web サーバを開きます。
2. [ファクス] タブをクリックします。
3. [デバイス モデム設定] ペインで、[詳細設定] ボタンをクリックします。
4. [一般] ペインで、[ファクスのアーカイブを有効にする] チェック ボックスをオンにします。
5. ドロップダウン リストで、次のオプションのいずれかを選択します。
 - ファクス番号にアーカイブする
 - [電子メールアドレスにアーカイブする]
6. [ファクスアーカイブ番号:] フィールドにファクス番号を入力します。
または
[ファクスアーカイブ電子メールアドレス:] フィールドに電子メールアドレスを入力します。
7. [ファクスをアーカイブするタイミング] 領域で、次のオプションのいずれかを選択します。
 - 送受信
 - 送信
 - 受信
8. [OK] ボタンをクリックします。

ファックス転送の設定

ファックス転送の設定を使用して、受信したすべてのファックスを別のファクス番号に転送します。ファクスの転送が有効になっている場合は、受信側でファックスが印刷され(ファックス印刷が無効になっている場合は、印刷が有効になったときにファックスが印刷され)、ファックス転送先番号にもファックスが転送されます。

 **注記:** 別の電話番号へのファックス転送に失敗すると、装置ではファックス転送がそれ以上試行されません。すべてのファックスは高画質または標準の解像度で転送されます。

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. [デフォルト ジョブ オプション] をタッチして、[デフォルト ジョブ オプション] メニューを表示します。
3. [デフォルト ファックス オプション] をタッチして、[デフォルト ファックス オプション] メニューを表示します。
4. [ファックス受信] をタッチして、[ファックス受信] 画面を表示します。
5. [ファックス転送] をタッチして、PIN 画面を表示します。
6. キーパッドを使用して PIN (4 桁以上) を入力し、[OK] をタッチして [ファックス転送] 画面を開きます。

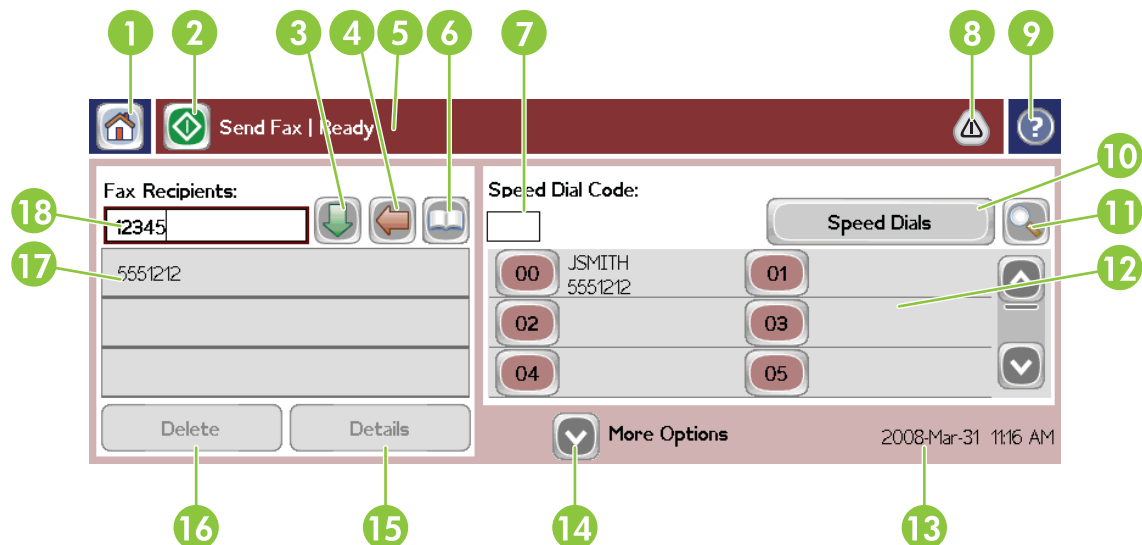
7. [ファックス転送] をタッチします。
8. [カスタム] をタッチし、[保存] をタッチして [Set Fax Forwarding] (ファックス転送の設定) 画面を表示します。
9. [転送先番号] をタッチして、[転送先番号] 画面を表示します。
10. テキスト ボックスをタッチして転送先電話番号を入力し、[OK] をタッチします。

ファックスを使用する

ファックス機能画面

ファックス機能画面はファックスの送信に使用します。この画面にアクセスするには、コントロールパネルのホーム画面に表示されている [ファックス] アイコンを押します。

図 2-1 ファックス機能画面

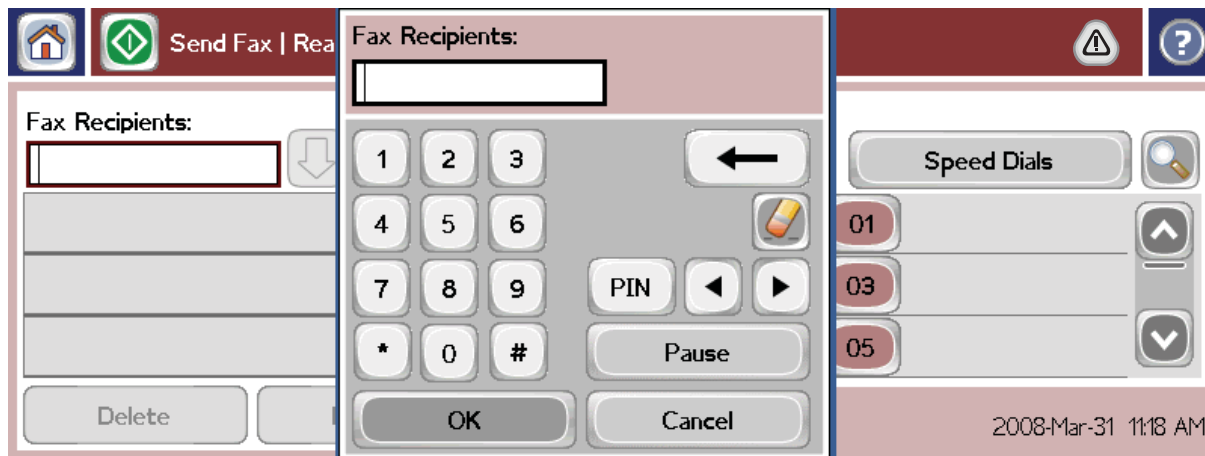


- | | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | ホーム キー - メイン画面に戻る |
| 2 | Send Fax (ファックス送信) - 押してファックスを受信者に送信 |
| 3 | 番号を受信者リストに入力 |
| 4 | バックスペース/番号を削除 |
| 5 | ステータス メッセージ バー |
| 6 | 電話帳にアクセス |
| 7 | 番号による短縮ダイヤルの検索 |
| 8 | 警告メッセージ - タッチして表示 |
| 9 | ヘルプ - タッチしてヘルプの選択を表示 |
| 10 | Speed Dial (短縮ダイヤル) - 編集キー |
| 11 | 短縮ダイヤル - 名前で検索 |
| 12 | 短縮ダイヤル リスト (スクロールして他のエントリを表示) |
| 13 | 現在の日付と時刻 |
| 14 | タッチして、現在のジョブのその他のファックス設定にアクセス |
| 15 | 押して、選択した受信者の詳細を表示 |
| 16 | 押して、選択した受信者をリストから削除 |

17	受信者リスト
18	受信者番号入力ボックス - キーボードでタッチ、またはコントロールパネル キーパッドから入力 ¹

¹ [受信者番号入力ボックス] が押されるとポップアップ画面が表示されます。この画面には、PIN 番号を非表示にする特殊文字の角かっこ ([]) を追加するための [PIN] (PIN) ボタンと、2 秒間のポーズを表すカンマを挿入する [Pause] (停止) ボタンが含まれています。


図 2-2 受信者番号入力ボックス




ファックスの送信

ファックスを送信するには、次の基本的な 3 つの方法のいずれかで番号を入力します。


- 手動で番号を入力する。
- 短縮ダイヤルを使用して番号を入力する。
- 電話帳を使用して番号を入力する (HP MFP Digital Sending Software の設定ユーティリティがインストールされており、電話帳にデータが入力されている場合にのみ使用可能)。

 **注記：** ファックスの送信に関するオンライン情報については、画面上の [?] をタッチしてヘルプメニューにアクセスし、ヘルプトピックのリストの下にある [ファックスの送信] メニューをタッチします。


数字キーパッドから電話番号を入力する場合は、ポーズを入れたり、市外局番、PBX システムの外線発信番号 (通常は 9 または 0)、長距離通話の局番などを入れたりします。カンマ (,) を入力すると、2 秒間のポーズを挿入できます。カンマを入力するには、[停止] ボタンを押します。ファックスの局番設定がダイヤル局番を自動的に含めるように設定されている場合、ダイヤル局番を入力する必要はありません。

 **注記：** ファックスを送信するときは、最初にスキャンが行われてメモリに保存されます。ドキュメント全体を保存した後に送信され、メモリから削除されます。リダイヤルが0に設定されている場合、通話中または応答がないために送信できなかったファックスは、メモリから削除されます。[通話中の場合のリダイヤル] または [応答がない場合のリダイヤル] が設定されている場合、再試行がすべて失敗するまで、またはファックスが正常に送信されるまでファックスは削除されません。

番号の手動入力によるファックスの送信

1. 自動ドキュメント フィーダ (ADF) またはスキャナのガラスの上にドキュメントを置きます。
 2. メイン画面の [ファックス] アイコンをタッチします。ユーザー名とパスワードの入力が要求されることがあります。
 3. [その他のオプション] をタッチします。[Describe Original] (原稿の説明) の設定が原稿の設定に一致していることを確認します。この設定には次のものがあります。
 - **[Original size] (原稿のサイズ)：** レターや A4 など
 - **原稿の面数 - [1-sided or 2-sided printing] (片面または両面印刷)**
 - **[Optimize text/picture] (テキスト/画像の最適化)：** テキスト、テキストとグラフィック、またはグラフィックと写真。グラフィックと写真をテキストモードで送信すると、画質が低下します。
 - **[Content Orientation] (内容の向き)：** 縦または横
 - **[Job Build] (ジョブ作成)：** 複数のスキャンを1つのジョブにまとめます。
 - **イメージ調整**
 - [鮮明度]：** 画像の輪郭を強調します。
 - [濃さ]**
 - [背景]：** カラー用紙のコピーなどから生じる背景を削除します。
 - **[通知]：** ファックス送信のステータス (ファックスが送信された場合や、エラーが発生してファックスが送信されなかった場合など) の通知方法を変更します。この通知は、印刷または電子メールアドレスに送信することができます。
-
-  **注記：** [通知] では、現在のファックスの通知設定のみを変更します。
-
4. [設定] 画面ですべての設定が完了したら、[OK] をタッチして [ファックス] 画面に戻ります。
 5. キーボードを使用して、電話番号を入力します。緑色の下矢印をタッチして、その番号を受信者リストに追加します。


リストから番号を削除するには、番号をタッチし、[削除] をタッチします。

 **注記：** 必要であれば、カンマ (,) を入力して局番 (「9」や「0」) の後に 2 秒間のポーズを挿入し、残りの番号をダイヤルする前に内線電話システムが外線にアクセスするための時間を確保してください。カンマを入力するには、コントロールパネルの [停止] ボタンを押します。


受信者番号の一部として PIN を入力するには、コントロールパネルのキーパッドを使用します。[ファックス受信者] フィールドをタッチし、[PIN] ボタンをタッチします。左側の角かっこ (Ⓛ) が挿入されます。PIN を入力し、再び [PIN] ボタンをタッチして、右側の角かっこ (Ⓜ) を挿入します。角かっこ内の番号は、ファックスレポートに記載されるファックス番号には表示されません。

6. [スタート] をタッチして、ファックスを送信します。タッチスクリーンの [スタート] アイコンをタッチしても、コントロールパネルの緑色の [スタート] ボタンを押してもかまいません。
7. ファックス受信者の番号が、登録されている 1 つ以上の短縮ダイヤルと一致する場合、一致した短縮ダイヤルが表示され、示されている受信者にファックスの送信を続けるかどうかの確認メッセージが表示されます。番号を確認してファックスを送信する場合は [○] をタッチして、ファックスをキャンセルする場合は [不可] をタッチします。この手順は、ファックス番号短縮ダイヤル検索機能が無効になっている場合は必要ありません。

ファックス受信者の番号が登録されているどの短縮ダイヤルとも一致しない場合、番号確認画面が表示され、ファックス番号を再度入力する必要があります。番号を再度入力してから、[OK] をタッチしてファックスを送信します。この手順は、ファックス番号確認機能が無効になっている場合は必要ありません。

 **注記：** [設定] 画面で設定の変更 (通知の変更や片面から両面への変更など) を行った場合は、[ジョブを処理しています] 画面に「現在の設定を保存しますか」と表示されます。[○] を押すと、[ファックス] 画面に戻り、設定内容が保存されます。これにより、同じ設定を使用して別のファックスを送信できます。[不可] を押すと、設定がクリアされてデフォルト値に戻り、プリンタのホーム画面が表示されます。


短縮ダイヤルを使用してファックスを送信するには

 **注記：** 短縮ダイヤルを使用してファックスを送信する前に、短縮ダイヤルを作成する必要があります。短縮ダイヤルの作成方法については、[42 ページの短縮ダイヤルリストの作成](#)を参照してください。

1. 自動ドキュメントフィーダ (ADF) またはスキャナのガラスの上にドキュメントを置きます。
2. コントロールパネルの [ファックス] アイコンをタッチして、[ファックス] 画面を表示します。
3. [短縮ダイヤル] をタッチして、[短縮ダイヤル] 画面を表示します。
4. 使用する短縮ダイヤル名の [短縮ダイヤル] 番号をタッチします。[OK] をタッチします。
5. [ファックス] 画面の [ファックス受信者] セクションに、短縮ダイヤル名が表示されます。
6. [スタート] をタッチして、ファックスを送信します。タッチスクリーンの [スタート] ボタンをタッチしても、コントロールパネルの緑色の [スタート] ボタンを押してもかまいません。

名前による短縮ダイアルリストの検索

この機能を使用すると、既存の短縮ダイアルを名前で検索できます。


 **注記：** 短縮ダイアルの固有の名前がわからない場合は、1文字入力してからリストの任意のエントリを選択します。たとえば、Nで始まる短縮ダイアル名を表示するには、「N」と入力します。一致するエントリが存在しない場合は、メッセージが表示されてから、文字Nに最も近いエントリが表示されます。


1. コントロールパネルのメイン画面の [ファックス] アイコンをタッチして、[ファックス] 画面を表示します。
2. [短縮ダイアル検索] ボタンをタッチします。このボタンは、虫眼鏡のような外観で、[短縮ダイアル] ボタンの右側にあります。
3. 検索する名前の最初の数文字を入力します。一致するものが見つかったら、検索画面の一番上のリストに表示されます。必要に応じて、スクロールしてすべてのエントリを表示するか、さらに数文字を入力して検索を絞り込みます。
4. 適切な名前をリストから選択し、[OK] をタッチします。メインのファックス画面の短縮ダイアルリストの一番上に、選択したエントリが表示されます。
5. 選択したエントリをタッチして受信者リストに追加します。
6. 必要に応じて、さらに名前を検索します。

電話帳の番号を使用したファックスの送信

ファックスの電話帳機能は、HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティを使用するようにプリンタが設定されている場合に使用できます。このソフトウェアを使用するようにプリンタが設定されていない場合は、[電話帳] ボタンが表示されません。HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティを使用するようにプリンタを設定するには、www.hp.com/go/digitalsending で『**HP MFP Digital Sending Software User Guide**』（HP MFP Digital Sending Software ユーザーガイド）または『**HP MFP Digital Sending Software Support Guide**』（HP MFP Digital Sending Software サポートガイド）を参照してください。

また、HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティで認証を有効にすると、Microsoft® Exchange のコンタクトリストの個人用ファックス番号が電話帳に表示されます。

 **注記：** この装置から電話帳のファックス番号を追加したり削除したりすることはできません。ファックス番号の追加または削除は、デジタル送信サーバーで実行されているアドレス帳マネージャ (ABM) を使用するか、コンタクトリストのエントリを変更する方法に限られます。


 **注記：** [設定] 画面で設定の変更 (通知の変更や片面から両面への変更など) を行った場合は、[ジョブを処理しています] 画面に「現在の設定を保存しますか」と表示されます。[○] を押すと、[ファックス] 画面に戻り、設定内容が保存されます。これにより、同じ設定を使用して別のファックスを送信できます。[不可] を押すと、設定がクリアされてデフォルト値に戻り、プリンタのホーム画面が表示されます。

1. コントロールパネルの [ファックス] アイコンをタッチして、[ファックス] 画面を表示します。
2. [アドレス帳] アイコンをタッチして、[アドレス帳] 画面を表示します。
3. ドロップダウンメニューから電話帳ソースを選択します。
4. 名前をタッチしてハイライトし、**右向き矢印**アイコンをタッチして、ハイライトされた名前を [ファックス宛先] セクションに移動します。
5. [OK] をタッチして、[ファックス] 画面に戻ります。
6. [スタート] をタッチして、ファックスを送信します。タッチスクリーンの [スタート] ボタンをタッチしても、コントロールパネルの緑色の [スタート] ボタンを押してもかまいません。

DSS ファックス電話帳の検索

デジタル送信サービス (DSS) とアドレス帳マネージャ (ABM) で提供されるファックス電話帳の名前検索を実行するには、ファックスアドレス帳検索機能を使用します。


お使いのプリンタでファームウェア更新を利用できるかどうか判断するには、HP の Web サイトを確認してください。

 **注記：** DSS を使用していない場合、ファックス電話帳はプリンタに表示されません。DSS 電話帳は、短縮ダイアルリストとは異なります。

1. 画面の [ファックス] アイコンをタッチします。
2. [電話帳] アイコン ([ファックス受信者] ボックスの右にある) をタッチします。
3. 電話帳画面の上部にあるプルダウンメニューで、電話帳ソースまたは [すべて] を選択します。
4. 電話帳のリストから、受信者名を選択します。

リストが長い場合は、電話帳画面の下部にある [検索] アイコン (虫眼鏡) を押して、名前検索を実行できます。検索画面で、名前の最初の数文字を入力すると、一致する受信者が表示されます。さらに数文字を入力すると、検索が絞り込まれます。画面上部の検索された名前から選択し、[OK] をタッチします。画面は、[ファックス電話帳] に戻ります。


5. 右矢印をタッチして、選択した名前を [ファックス受信者] リストに入力します。
6. [OK] をタッチして、[ファックス送信] ジョブ画面に戻ります。

 **注記：** ファックスアドレス帳の内容を作成または追加するには、アドレス帳マネージャ (DSS の一部) を使用します。

 **注記：** ローカルのファックス電話帳を EWS に対してインポート/エクスポートするには、EWS のマニュアルを参照してください。

ファックスのキャンセル

1. コントロールパネルの赤い[停止]ボタンを押します。[ジョブステータス]画面が表示されます。

 **注記：** ファックスジョブのスキャンが完了してから[ジョブステータス]画面のジョブのリストにジョブが表示されるまで、短時間の遅延が発生することがあります。

2. ドロップダウンメニューをタッチし、[送信ファックス]オプションをタッチします。
3. [現在のファックスジョブ]タブまたは[All Fax Jobs] (すべてのファックスジョブ) タブを選択し、ジョブの名前を選択します。[ジョブのキャンセル]ボタンをタッチします。

短縮ダイアルリストの作成と削除

短縮ダイアルを使用すると、1つの番号または番号のグループに短縮ダイアル名を割り当てることができ、短縮ダイアル名を選択することによってその番号にファックスを送信できます。

短縮ダイアルリストの作成

1. コントロールパネルの[ファックス]アイコンをタッチして、[ファックス]画面を表示します。
2. [短縮ダイアル]をタッチして、[短縮ダイアル]画面を表示します。
3. [短縮ダイアル番号]をタッチします。
4. [短縮ダイアル名]ボックスをタッチして、キーボードを表示します。
5. 短縮ダイアルの名前を入力し、[OK]をタッチして[短縮ダイアル]画面に戻ります。
6. [ファックス番号]ボックスをタッチして、キーボードを表示します。
7. [短縮ダイアル名]のファックス番号を入力し、[OK]をタッチして[短縮ダイアル]画面に戻ります。
8. [短縮ダイアル]をタッチして、[短縮ダイアル名]で選択した番号を保存します。名前およびファックス番号が[短縮ダイアル番号]の横に表示されます。
9. ステップ3~8を繰り返して、短縮ダイアルのすべての番号を入力します。
10. 終了したら、[OK]をタッチして、[ファックス]画面に戻ります。

短縮ダイアルリストの削除

1. コントロールパネルのメイン画面の[ファックス]アイコンをタッチして、[ファックス]画面を表示します。
2. [短縮ダイアル]をタッチして、[短縮ダイアル]画面を表示します。
3. 削除するリストの短縮ダイアル番号をタッチします。
4. [削除]をタッチします。


5. 次の画面で、削除の確認を要求されます。
6. [○] をタッチして、短縮ダイアル リストを削除します。
7. 再び [○] をタッチして、[ファックス] 画面に戻ります。

短縮ダイアル リストからの 1 つの番号の削除

1. コントロールパネルの [ファックス] アイコンをタッチして、[ファックス] 画面を表示します。
2. [短縮ダイヤル] をタッチして、[短縮ダイアル] 画面を表示します。
3. 編集するリストの短縮ダイアル番号をタッチします。
4. [ファックス番号] ボックスをタッチして、キーボードを表示します。
5. ファックス番号のリストをスクロールして、削除するファックス番号の最後の桁の右側の画面をタッチします。Backspace キーを使用して、ファックス番号を削除します。
6. [OK] をタッチして、[短縮ダイヤル] 画面に戻ります。
7. [OK] をタッチして、[ファックス] 画面に戻ります。

既存の短縮ダイアル リストへの番号の追加

1. コントロールパネルの [ファックス] アイコンをタッチして、[ファックス] 画面を表示します。
2. [短縮ダイヤル] をタッチして、[短縮ダイアル] 画面を表示します。
3. 編集するリストの短縮ダイアル番号をタッチします。
4. [ファックス番号] ボックスをタッチして、キーボードを表示します。
5. キーボードを使用して、短縮ダイアル リストに追加するファックス番号を入力します。

 **注記：** カーソルは、短縮ダイアル リストに最後に入力されたファックス番号の下に、デフォルトで表示されます。


6. [OK] をタッチして、[短縮ダイヤル] 画面に戻ります。
7. [OK] をタッチして、[ファックス] 画面に戻ります。

音声電話と再試行

ファックス コール レポート

ファックスのすべての試行が終了すると、送信されたファックスに関するファックス コール レポートが印刷されます。このレポートには、ファックス ジョブ ログ ID が記載され、最後の試行結果が印刷されます。

ファックス コール レポートには音声電話についての情報は印刷されません。詳細は、[43 ページのファックス コール レポート](#)を参照してください。

 **注記：** ファックス コール レポートには、最後の試行に関するジョブ番号だけが記載されます。これらのレポートをメニューから手動で印刷する場合、直前の呼び出しが最後の試行でなく、音声電話でもない場合、ジョブ番号は 0 になります。

ファックス使用状況ログ

デフォルトでは、音声電話はファックス使用状況ログには記載されません。ファックス使用状況ログには、最後の試行だけが示されます。詳細は、[57 ページのファックス使用状況ログの印刷](#)を参照してください。

T.30 レポート

音声電話では、T.30 レポートは印刷されません。再試行については、すべてについて T.30 レポートが印刷されます。詳細は、[59 ページのサービス設定](#)を参照してください。


セキュリティで保護されている設定

ファックス転送とファックス印刷の 2 つの設定はセキュリティで保護されており、PIN が必要です。いずれかの設定に初めてアクセスするときは、PIN を作成する必要があります。PIN を作成したら、どちらの機能にアクセスするときにもそれを使用します。つまり、ファックス転送用に PIN を作成した場合は、ファックス印刷にアクセスするときもその PIN を使用します。あるいは、最初にファックス印刷用に PIN を作成した場合は、ファックス転送にアクセスするときもその PIN を使用する必要があります。このようなセキュリティで保護されている設定にアクセスするために作成できる PIN は 1 つだけです。

サムネイル付きのファックス コール レポートが有効になっている場合は、ファックス印刷またはファックス転送を有効にしても、ファックスの 1 ページ目のサムネイルと共にレポートが印刷されます。ファックス印刷をセキュリティで保護する場合は、ファックス コール レポートのサムネイル印刷を無効にします。

PIN の変更

この手順では、既存の PIN を変更する方法について説明します。

 **注意：** ご使用の PIN は必ず安全な場所に保管してください。PIN を紛失した場合は、PIN のリセット方法について HP サービス サポートにお問い合わせください。詳細は、[147 ページのカスタマ サポート](#)を参照してください。

1. コントロールパネルでスクロールして **[管理]** アイコンをタッチし、**[管理]** メニューを開きます。
2. **[デフォルト ジョブ オプション]** をタッチして、**[デフォルト ジョブ オプション]** メニューを表示します。
3. **[デフォルト ファックス オプション]** をタッチして、**[デフォルト ファックス オプション]** メニューを表示します。
4. **[ファックス受信]** をタッチして、**[ファックス受信]** 画面を表示します。
5. **[ファックス転送]** をタッチして、PIN 画面を表示します。

6. キーパッドを使用して PIN (4 桁以上) を入力し、[OK] をタッチして [ファックス転送] 画面を開きます。
7. [PIN を変更] をタッチして、PIN 画面を表示します。
8. キーパッドを使用して PIN (4 桁以上) を入力し、[OK] をタッチします。
9. キーパッドを使用して新しい PIN を確認し、[OK] をタッチします。
10. 再度 [OK] をタッチします。

VoIP ネットワーク経由でのファックスの使用

VoIP テクノロジはアナログ電話信号をデジタルビットに変換します。このデジタルビットはインターネット上でやり取りされるパケットにまとめられます。パケットは、宛先またはその手前で再びアナログ信号に変換されて送信されます。

インターネット上での情報の送信はアナログではなくデジタルで行われます。そのため、ファックス送信に関してアナログの公衆交換電話網 (PSTN) の場合とは異なるファックス設定を必要とする、さまざまな制約があります。ファックスはタイミングと信号の品質に大きく依存しているため、ファックスの送信は VoIP 環境の影響を強く受けます。

VoIP を PBX または一元的な電話システムの一部として使用する場合、電話システムを中継モードではなくファックスモードに設定すると、ファックスの信頼性が向上します。この設定を確認するには、システム管理者に問い合わせてください。

HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 500 を VoIP サービスに接続する場合は、次のように設定を変更することをお勧めします。

- V.34 モードに設定し、エラー訂正モード (ECM) をオンにしてファックスを起動します。V.34 プロトコルは VoIP ネットワークへの調整に必要な送信速度の変更に対応します。
- ファックスを V.34 に設定した結果、エラーまたは再試行が頻発する場合、V.34 をオフにし、最大ボーレートを 14,400 bps に設定します。
- エラーと再試行が続く場合、ファックス速度を低く設定します。一部の VoIP システムはファックスに関連付けられている高い信号レートを処理できない場合があるためです。そこで、最大ボーレートを 9,600 bps に設定します。
- まれにエラーが続く場合があります。その場合は、ファックスの ECM をオフにします。こうすると画像の品質が低下する可能性があります。この設定を使用する前に、ECM をオフにした状態の画像品質を確認してください。ECM をオフにするとエラーが発生しなくなる場合は、ファックス速度を 14,400bps に設定して送信速度を高めます。このようにすると、エラーが頻発しなくなる可能性があります。
- 上記の設定変更を行っても VoIP ファックスの信頼性が向上しない場合、VoIP の提供元に連絡してサポートを受けてください。

ファックスに関する問題を解決する

ファックス アクセサリのステータスの確認

アナログファックスアクセサリが機能していないと思われる場合は、ファックスアクセサリページを印刷してステータスを確認します。

1. コントロールパネルでスクロールして **[管理]** アイコンをタッチし、**[管理]** メニューを開きます。
2. スクロールして、**[情報]** をタッチします。
3. スクロールして、**[設定/ステータス ページ]** をタッチします。
4. スクロールして **[設定ページ]** をタッチして、設定ページを印刷します。

情報ページのファックスアクセサリページで、「ハードウェア情報」という見出しの下にある「モデムのステータス」を確認します。次の表は、そのステータスと考えられる解決策を示しています。

動作中/使用可能 ¹	アナログファックスアクセサリが取り付けられており、使用可能な状態になっています。
動作中/使用可能 ¹	ファックスアクセサリが取り付けられており、動作していますが、 HP Digital Sending ユーティリティによってプリンタのファックス機能が無効になっているか、 LAN ファックスが有効になっています。 LAN ファックスを有効にすると、アナログファックス機能は無効になります。 LAN ファックスとアナログファックスのどちらかのファックス機能のみを有効にすることができます。
停止中/使用可能/使用不可 ¹	ファームウェアに障害が発生しています。ファームウェアを更新する必要があります。 61 ページのファームウェアのアップグレード を参照してください。
破損/使用可能/使用不可 ¹	ファックスアクセサリに障害が発生しています。ファックスアクセサリカードを取り外し、ピンが曲がっていないかどうかを確認してください。ステータスが「破損」のままである場合は、アナログファックスアクセサリカードを交換してください。

¹ 「使用可能」は、アナログファックスアクセサリが使用可能でオンの状態であることを示します。「使用不可」は、LANファックスが使用可能であることを示します(アナログファックスはオフ)。

ファックス機能が動作していない

ファックスアクセサリは取り付けられているが、アイコンがプリンタのメイン画面に表示されない。

原因	解決方法
HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティによってアナログファックス機能が無効になっています。	HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティを使用して、アナログファックス機能を有効にします。

ファックス アクセサリは取り付けられているが、アイコンがプリンタのメイン画面に表示されない。

原因	解決方法
アクセサリが正常に動作していません。	ファックス アクセサリのステータスを確認します。 ステータスが 「停止中」の場合は、新しいファームウェアのインストールが必要な場合があります。 カードを取り付けたばかりであるにもかかわらず、ステータスが「破損」の場合は、カードを取り外し、ピンが曲がっていないかどうかを確認します。 カードが正しく取り付けられているにもかかわらず、ステータスが「破損」の場合は、カードの交換が必要な場合があります。
フォーマッタ ボードが故障しています。	HP サービス担当者に修理を依頼してください。

プリンタにファックス メニューが表示されない。

原因	解決方法
LAN ファックスが有効になっています。	これは正常な動作です。HP Digital Sending Software によって LAN ファックスが有効になると、アナログファックスは無効になり、アナログファックスでのみ使用されるファックス メニューは表示されません。

全般的なファックスの問題

問題	原因	解決法
ファックスを送信できない。	JBIG が有効になっていますが、ファックス受信側に JBIG 機能がありません。	JBIG をオフに設定します。
ステータス メッセージバーに「Out of Memory」(メモリ不足) というステータス メッセージが表示される。	プリンタのストレージディスクが満杯になっています。	ディスクからファイルをいくつか削除します。ディスクの管理方法については、プリンタのユーザーガイドを参照してください。
写真の印刷品質が低いか、グレーのボックスとして印刷される。	[Page Content] (ページ コンテンツ) のモード設定が間違っています。	[テキスト/画像の最適化] オプションを [写真] に設定します。
プリンタのキーボードの [キャンセル] ボタンを押してファックス送信をキャンセルしても、ファックスが送信されてしまう。	キャンセルが実行されるのは、キャンセル メニュー (赤い [停止] ボタンを押した後に表示される) で操作を選択して、[OK] を押して処理に同意した後になります。	ファックスをキャンセルするには、ファックス メニューを使用します。 36 ページのファックス機能画面 を参照してください。
[Phone Book] (電話帳) ボタンが表示されない。	電話帳機能が有効になっていません。	HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティを使用して、電話帳機能を有効にします。

問題	原因	解決法
HP WebJetadmin のファックス設定が見つからない。	HP Web Jetadmin のファックス設定はデバイスのステータス ページのドロップダウンメニューにあります。	ドロップダウンメニューから、 [デジタル送信とファックス] を選択します。詳細は、 14 ページの HP Web Jetadmin を参照してください。
オーバーレイを有効にしても、ヘッダーがページ上部に付加される。	オーバーレイが設定されていても、ファックスが転送された場合は、オーバーレイ ヘッダーがページ上部に付加されます。	これは正常な動作です。
受信者ボックスに名前と番号が混在している。	名前と番号の取得元に応じて、名前と番号の両方が表示されるのは正常な動作です。電話帳では名前がリストされ、他のすべてのデータベースでは番号がリストされます。	正常です。対策は必要ありません。
1 ページのファックスが 2 ページにわたって印刷される。	ファックス ヘッダーがファックスの上部に付加されると、テキストが 2 ページ目に押し出されます。	1 ページのファックスを 1 ページに印刷するには、オーバーレイ ヘッダーをオーバーレイ モードに設定します。
ファックスの送信中にドキュメントの給紙が停止する。	ADF で紙詰まりが発生している可能性があります。	紙詰まりが発生している場合は、プリンタのユーザーガイドの紙詰まり除去手順を参照してください。
ファックス アクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる。	音量設定を調整する必要があります。	音量設定の変更方法については、 28 ページの呼び出し音の音量の設定 を参照してください。

ファックス送信に関する問題

問題	原因	解決法
ファックスが送信中に停止する。	送信先のファックス装置に障害が発生している可能性があります。	別のファックス装置に送信してみます。
	電話回線が機能していない可能性があります。	電話ジャックからファックス アクセサリを取り外し、電話を接続します。電話をかけてみて、電話回線が機能していることを確認します。
	電話回線の雑音が多く、品質が低い可能性があります。	低いボー レートを試してみて、送信の信頼性を改善してください。最大ボー レートの設定を参照してください。
	割り込み通話機能がアクティブになっている可能性があります。	ファックス電話回線の割り込み通話機能がアクティブになっていないことを確認してください。割り込み通知によって進行中のファックス コールが中断され、通信エラーが発生する場合があります。

問題	原因	解決法
ファックス アクセサリでファックスを受信できるが、送信できない。	PBX システムでファックス アクセサリを使用している場合、PBX システムのダイアル トーンをファックス アクセサリで検出できない可能性があります。	ダイアル トーンの検出設定を無効にします。
	電話接続に問題がある可能性があります。	しばらくしてからやり直してください。
	送信先のファックス装置に障害が発生している可能性があります。	別のファックス装置に送信してみます。
	電話回線が機能していない可能性があります。	電話ジャックからファックス アクセサリを取り外し、電話を接続します。電話をかけてみて、電話回線が機能していることを確認します。
ファックス送信時にダイアルし続ける。	ファックス アクセサリでは、[通話中の場合のリダイヤル] または [応答がない場合のリダイヤル] オプションがオンに設定されている場合、ファックス番号が自動的にリダイヤルされます。	これは正常な動作です。ファックスがリダイヤルしないようにするには、[通話中の場合のリダイヤル] を 0 に設定し、[応答がない場合のリダイヤル] を 0 に設定します。
送信したファックスが受信側のファックス装置に届かない。	受信側のファックス装置がオフになっているか、用紙切れなどのエラーが発生している可能性があります。	受信者に連絡して、ファックス装置がオンになっており、ファックスを受信する準備が整っていることを確認します。
	通話中の電話番号のリダイヤルを待機しているか、その前に送信を待機している他のジョブがあるため、ファックスがメモリに保存されている可能性があります。	このような理由でファックス ジョブがメモリに保存されている場合は、ジョブのエントリがファックスのログに記録されます。ファックス使用状況ログを印刷し、「結果」の列に「保留」と示されたジョブがないかどうかを確認してください。

ファックス受信に関する問題

ファックス アクセサリが着信ファックスの呼び出しに応答しない (ファックスが検出されない)。

原因	解決方法
応答するまでの呼び出し回数が正しく設定されていない可能性があります。	応答するまでの呼び出し回数を確認します。
電話線が正しく接続されていないか、機能していない可能性があります。	接続状態を確認します。ファックス アクセサリに付属の電話コードを使用していることを確認します。

ファックスアクセサリが着信ファックスの呼び出しに応答しない (ファックスが検出されない)。

原因	解決方法
電話回線が機能していない可能性があります。	電話ジャックからファックスアクセサリを取り外し、電話を接続します。電話をかけてみて、電話回線が機能していることを確認します。
音声メッセージサービスによる妨害のため、ファックスアクセサリが呼び出しに応答できない可能性があります。	以下のいずれかの操作を行います。 <ul style="list-style-type: none">● メッセージサービスを停止します。● ファックス専用の電話回線を用意します。● ファックスアクセサリの呼び出し回数を音声メッセージの呼び出し回数よりも少なくします。

ファックスの送受信が非常に遅い。

原因	解決方法
送信側のファックス装置または受信側のファックス装置の速度が遅く設定されている可能性があります。	ファックスは、送信側のファックス装置と受信側のファックス装置のうち、遅い方の速度設定で送信されます。たとえば、受信側のファックス装置の速度が33,000bpsに設定されていても、送信側のファックス装置が14,400bpsに設定されていれば、ファックスは14,400bpsで送信されます。
グラフィックスが多く含まれているものなど、非常に複雑なファックスを送受信している可能性があります。	複雑なファックスは送受信に時間がかかります。
受信側のファックス装置のモデム速度が遅い可能性があります。	ファックスアクセサリでは、受信側のファックス装置で使用できる最速のモデム速度でのみファックスが送信されます。
ファックス送受信の解像度が非常に高く設定されている可能性があります。通常、解像度を高くすると品質は向上しますが、送信時間が長くなります。	ファックスの受信側である場合は、解像度を低くしてファックスを再送信するように送信者に依頼します。ファックスの送信側である場合は、解像度を低くして、 [テキスト/画像の最適化] オプションを変更します。
電話回線の接続が不適切な場合は、エラーに合わせて調整するためにファックスアクセサリと受信側ファックス装置の伝送速度が低下します。	ファックスの送信をキャンセルし、再送信します。電話会社に電話回線の点検を依頼します。

ファックスがプリンタで印刷されない。

原因	解決方法
給紙トレイに用紙がありません。	メディアをセットします。給紙トレイが空のときに受信したファックスはメモリに保存され、用紙の補充後に印刷されます。
[Schedule Printing of Faxes] (ファックス印刷のスケジュール設定) が設定されています。	ファックス印刷のスケジュール設定が有効になっている場合は、この機能を無効にするまでファックスが印刷されません。

ファックスがプリンタで印刷されない。

原因	解決方法
プリンタのトナー残量が低下しているか、トナーが切れています。	このプリンタでは、トナー残量が低下するかトナーが切れると、印刷が停止します。受信したファックスはメモリに保存され、トナーの補充後に印刷されます。プリンタでの印刷に関するその他の問題については、プリンタのユーザガイドを参照してください。
着信呼び出しが音声電話である可能性があります。	着信音声電話は通常、コールレポートに 通信エラー (17) として表示されます。これらは音声電話でありファックスエラーでないため、操作を実行する必要はありません。これらの音声電話用の番号がファックス番号と異なることを確認してください。
受信ファックスが中断されました。	ファックス電話回線の割り込み通話機能がアクティブになっていないことを確認してください。割り込み通知によって進行中のファックスコールが中断され、通信エラーが発生する場合があります。
[ファックス印刷スケジュール] 機能が [Always store faxes (常にファックスを保存)] に設定されています。	[ファックス印刷スケジュール] 設定を [Always print faxes (常にファックスをプリント)] に変更します。

エラーコード

ファックスの送受信を妨害または中断するような問題が発生すると、エラーコードが生成されます。このコードは、問題の原因を突き止めるために役立ちます。エラーコードは、ファックス使用状況ログ、ファックスコールレポート、および T.30 プロトコルトレースに表示されます。これら 3 つのレポートのいずれかを印刷し、エラーコードを取得してください。エラーコードの詳しい説明と適切な対策については、www.hp.com でプリンタ名を検索してください。

ファックスエラーメッセージ

HP LaserJet 製品でアナログファックスを送受信する場合、ファックスの処理中に発生したエラーは製品のコントロールパネルに表示され、ファックスレポートに記載されます。ファックスエラーの原因は複数あり、電話接続の割り込みや雑音の場合もあります。ファックスの処理中に発生するエラーは、その原因に関係なく製品ごとに表示されます。

ファックスの処理に割り込みが入った場合、またはファックスの送受信中にエラーが発生した場合は、状況またはエラーの説明が表示されます。これは、2 つの部分に分かれています。ファックスの処理が正常に完了した場合も、成功したことを示すメッセージが表示されます。このメッセージ情報は、テキストによる説明と数値コードによって構成されます (一部のメッセージには数値コードは含まれません)。プリンタのコントロールパネルには、メッセージのテキスト部分だけが表示されますが、ファックス状況レポート、ファックスコールレポート、およびファックス T.30 トレースにはテキストメッセージと数値コードの両方が記載されます (これらのファックスレポートは、プリンタのコントロールパネルの [管理] > [情報] メニューおよび [管理] > [トラブルシューティング] メニューで個別に印刷できます)。レポート内で、数値コードはメッセージテキストの後に括弧付きで示されます。たとえば、通信エラーが発生した場合、コントロールパネルには **[ファックスの失敗: 通信エラー]** と表示されます。同じエラーは、ファックス使用状況レポートの結果フィールドで **[通信エラー (17)]** として表示されます。この場合、この通信エラーに関連付けられている数値コードは 17 です。

数値コードはファックス モデムによって生成されます。通常、数値コード (0) はモデムの正常な応答です。メッセージの中には、常に数値コード (0) が付けられるものや、環境に応じた数値コードの範囲が付けられるもの、数値コードのないものがあります。数値コード (0) は通常、ファックス モデムに関係がないものの、ファックス サブシステムの別の箇所で発生したエラーを指します。0 以外のエラー コードは、モデムが実行している特定の処置またはプロセスに関する詳細情報を伝えるものであり、必ずしもモデムに問題があることを示しているわけではありません。

以下の表には、ファックス メッセージと最も一般的な数値コード、および推奨されている解決処置が示されています。表には、正常な状態または正常なイベントを表すメッセージも掲載されています。たとえば、相手先が通話中であるためにファックスを送信できなかった場合、「**通話中による失敗**」メッセージが表示されます。このメッセージは、ファックス サブシステムに異常があることを示すのではなく、相手先が通話中であるためにファックスの送信が完了しなかったことを示します。

ここにリストされている以外の数値コードが付いたエラー メッセージが連続して表示される場合、カスタマ サポートに連絡してください。カスタマ サポートに連絡する前に、最後のファックス呼び出しに関する詳細情報を印刷してください。これは問題を特定するのに役立ちます。この詳細なファックス情報はファックス T.30 トレースと呼ばれており、最後のファックスに関して印刷できます。ファックス エラーが発生するたびに印刷されるように設定することもできます。ファックス T.30 トレースを印刷または設定するには、**[管理]**、**[トラブルシューティング]**、**[ファックス T.30 トレース]**の順にタッチします。こうすると、直前のファックスに関するレポートを印刷するか、T.30 トレースを印刷するタイミングを設定できます。

送信ファックス メッセージ

表 2-1 送信ファックス メッセージ

メッセージ	エラー番号	説明	操作
キャンセル	0	ファックスは、プリンタのコントロールパネルでユーザによって取り消されました。	なし。
成功	なし	ファックスを正常に送信しました。	なし。
通話中による失敗	0	相手先のファックス機が通話中です。	ファックスの自動再試行が設定されている場合、自動的に再試行が行われます。設定されていない場合、後から再送信を試行します。
応答なし	0	受信側のファックス機が呼び出しに応答しません。	受信側のファックス機が回線に接続されていないか、電源が切れています。受信者に連絡して、ファックス機の状態を確認します。再送信を試行します。
圧縮エラー	任意	ファックス内容が完全でないか、送信されていない可能性があります。	ファックスの再送信を試行します。
発信音なし	0	ファックスの送信時にダイヤル トーンが検出されませんでした。	電話回線が有効かどうかを確認して、送信側のファックスでダイヤル トーンの検出を行わないように設定します。
モデム エラー	任意	内蔵ファックス モデムからプリンタに、予期しない応答または無効な応答がありました。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
通信エラー	17 または 36	送信側と受信側間の電話回線が失われています。	ファックスの再送信を試行します。
通信エラー	17 または 36 を除く任意の番号	一般的な通信問題で、ファックスの送信が割り込まれたか、期待どおりに処理されませんでした。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
容量エラー	0	ファックス イメージ ファイルを読み取れなかったか、ディスクに書き込めませんでした。プリンタのディスクが損傷を受けているか、プリンタのディスクで空きスペースが不足している可能性があります。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。

表 2-1 送信ファックス メッセージ (続き)

メッセージ	エラー番号	説明	操作
ページエラー	0	ページ幅に互換性がないか、ページに無効な行が多すぎます。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
メモリエラー	0	プリンタの RAM メモリが不足しています。	エラーが続く場合は、プリンタに RAM を追加する必要があります。
ジョブ失敗	任意	ファックスエラー。ファックスジョブが完了しませんでした。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
電力障害	0	ファックスの送信中に送信側のファックスプリンタで電力障害が発生しました。	ファックスの再送信を試行します。
ファックスが検出されません	17 または 36	受信側でファックス機が検出されませんでした。	ファックス番号を確認し、受信側のファックス機の電源がオンになっていて回線に接続されていることを確認してから、ファックスの再送信を試行します。

受信ファックス メッセージ

表 2-2 受信ファックス メッセージ

メッセージ	エラー番号	説明	操作
成功	なし	ファックスを正常に受信しました。	なし。
ブロック	なし	受信側のファックス機で、ファックスの受け取りがブロック番号機能によってブロックされました。	なし。
モデムエラー	任意	内蔵モデムからプリンタへ予期しない応答または不正な応答がありました。たとえば、ファックスの受信中に別のファックスの送信が試行されました。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
通信エラー	17、36	送信側と受信側間の電話接続が切れたか、割り込みが入りました。	ファックスを再送信します (送信側のファックス機が自動的に再試行しない場合)。
通信エラー	17 または 36 を除く任意の番号	一般的な通信問題で、ファックスの送信が割り込まれたか、期待どおりに処理されませんでした。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
容量エラー	0	イメージファイルを読み取れなかったか、ディスクに書き込めませんでした。プリンタのディスクが損傷を受けているか、ディスクの空きスペースが不足している可能性があります。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
ページエラー	0	ページ幅に互換性がないか、ページに無効な行が多すぎます。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
メモリエラー	0	プリンタの RAM メモリが不足しています。	エラーが続く場合は、プリンタに RAM メモリを追加する必要があります。
圧縮エラー	0	ファックスのデータが壊れています。受信したイメージファイルをデコードできません。	ファックスを再送信します。ECM (エラー修正モード) をまだ有効にしていない場合は有効にします。
印刷失敗	0	ファックスのデータが壊れています。受信したイメージファイルをデコードできません。	ファックスを再送信します。ECM (エラー修正モード) をまだ有効にしていない場合は有効にします。

表 2-2 受信ファックス メッセージ (続き)

メッセージ	エラー番号	説明	操作
ポーリングが無効です	0	ファックス ポーリング機能によって、別のファックス機からファックスを受信しようとしたが、受信できませんでした。	ポーリング対象のファックス機の管理者に連絡して、ファックスが有効であることを確認してから、再試行します。
ジョブ失敗	任意	ファックスエラー。これには、特定されないすべてのエラーが含まれます。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
電力障害	0	ファックスの受信中に電力障害が発生しました。	送信側でファックスの再送信を実行します。
ファックスが検出されません	17、36	ファックスに対して音声通話が行われました。	なし

ファックスのログおよびレポート

ファックス コール レポートの印刷

ファックス コール レポートは、最後に送受信されたファックスのステータスを示す簡単なレポートです。このレポートにファックスのサムネイル (1 ページ目を 62% 縮小したもの) を印刷するには、[レポートのサムネイル] 設定を選択します。


1. コントロールパネルの [管理] アイコンをタッチして、[管理] メニューを開きます。
2. [情報] をタッチして、[情報] メニューを表示します。
3. [ファックス レポート] をタッチして、[ファックス レポート] メニューを表示します。
4. [ファックス コール レポート] をタッチして、[ファックス コール レポート] 画面を表示します。
5. ファックスの 1 ページ目のサムネイルが必要な場合は、[レポートのサムネイル] をタッチします。次のいずれかの手順を実行します。
 - 1 ページ目のサムネイルを印刷に含めるには、[○] をタッチします。
 - レポートのサムネイルの印刷を無効にするには、[不可] をタッチします。
6. [ファックス コール レポート] をタッチして、ファックス コール レポートを印刷します。

ファックス コール レポートの印刷のスケジュール設定


[レポート印刷時間] 設定を使用して、ファックス コール レポートを印刷する条件を指定します。

1. コントロールパネルでスクロールして [管理] アイコンをタッチし、[管理] メニューを開きます。
2. [情報] をタッチし、[ファックス レポート] をタッチします。
3. [ファックス コール レポート] をタッチし、[レポート印刷時間] をタッチします。

- ファックス コール レポートを印刷しない場合は、[Never automatically print (自動プリントしない)] にタッチします。

 **注記：** [Never automatically print (自動プリントしない)] を選択した場合は、ファックス使用状況ログを印刷しない限り、ファックスの伝送失敗がタッチスクリーンのステータス バー メッセージとして表示されるだけで、印刷による表示は行われません。

- ファックスの送受信後にファックス コール レポートを印刷する場合は、[毎ファックス ジョブ後] をタッチします。
- ファックスの送信後にファックス コール レポートを印刷する場合は、[ファックス送信ジョブ後] をタッチします。
- デバイスでのファックス エラーの検出後にファックス コール レポートを印刷する場合は、[毎ファックス エラー後] (デフォルト) をタッチします。
- デバイスでのファックス送信エラーの検出後にファックス コール レポートを印刷する場合は、[送信エラー後のみ] をタッチします。
- デバイスでのファックス受信エラーの検出後にファックス コール レポートを印刷する場合は、[受信エラー後のみ] をタッチします。

 **注記：** [なし] を選択した場合は、ファックス使用状況ログを印刷しない限り、ファックスの伝送失敗がタッチスクリーンのステータス バー メッセージとして表示されるだけで、印刷による表示は行われません。

ファックス使用状況ログの印刷

このファックス使用状況ログには、次の情報が含まれています。

- 送受信済みまたは送信失敗のすべてのファックスの日付と時刻
- ID (可能であれば電話番号)
- 通話時間 (オフフック時間)
- ページ数
- 結果 (送信成功、保留中、送信失敗。送信失敗にはエラーのタイプとコードを含む)

データベースには最新の 500 件のファックス エントリが保存されます (それより古いファックスはログから削除されます)。データベースのファックス エントリには、任意のファックス セッションがエントリとして含まれます。たとえば、ファックス セッションは、送信済みファックス、受信ファックス、またはファームウェア アップグレードの可能性があります。使用状況によっては、レポートのエントリが 500 件に満たない場合があります (受信またはその他の操作を行わず、500 件のファックスを送信していない場合)。

ログを記録のために使用する場合は、少なくともファックス 500 件ごとに定期的にログを印刷する必要があります。その後、ログを削除します。

ファックス使用状況ログを印刷するには、次の手順を実行します。

1. コントロールパネルでスクロールして[管理]アイコンをタッチし、[管理]メニューを開きます。
2. スクロールして、[情報]をタッチします。
3. スクロールして[ファックスレポート]をタッチし、[ファックス使用状況ログ]をタッチします。
(レポートの印刷)

請求書コードレポートの印刷

請求書コードレポートは、正常に送信された最新の500件のファックスを請求書コードごとにリストしたものです。このレポートには次の情報が記載されています。

- 請求書コード番号
- 正常に送信されたすべてのファックスの日付と時刻
- ID番号
- 通話時間(オフフック時間)
- 送信ページ数
- 結果(成功)

データベースには最新の500件のファックスが保存されます(それより古いファックスはデータベースから削除されます)。レポートを記録のために使用する場合は、少なくともファックス500件ごとに定期的にレポートを印刷する必要があります。その後、レポートを削除します。

1. コントロールパネルでスクロールして[管理]アイコンをタッチし、[管理]メニューを開きます。
2. スクロールして、[情報]をタッチします。
3. スクロールして、[ファックスレポート]をタッチします。
4. スクロールして、[請求書コードレポート]をタッチします。
5. [印刷]をタッチして、レポートを印刷します。

ファックス使用状況ログと請求書コードレポートの削除

ファックス使用状況ログと請求書コードレポートでは同じデータベースを使用します。この設定によりデータベースが削除されると、使用状況ログと請求書レポートの両方のデータが削除されます。

ファックスデータベースを削除するには、次の手順を実行します。

1. コントロールパネルの[管理]アイコンをタッチして、[ファックス]メニューを開きます。
2. スクロールして、[リセット]をタッチし、メニューを表示します。
3. スクロールして、[ファックス使用状況ログを削除する]をタッチします。
4. すべてのエントリを削除するには[○]をタッチします。エントリを削除せずに終了するには[不可]をタッチします。

ブロック対象ファックス リスト レポートの印刷

1. コントロールパネルでスクロールして[管理]アイコンをタッチし、[管理]メニューを開きます。
2. スクロールして、[情報]をタッチします。
3. スクロールして、[ファックス レポート]にタッチします。
4. [ブロックされたファックス リスト]をタッチして、レポートを印刷します。

短縮ダイアル リスト レポートの印刷

短縮ダイアル リスト レポートには、短縮ダイアル名に割り当てられているファックス番号がリストされます。

1. コントロールパネルでスクロールして[管理]アイコンをタッチし、[管理]メニューを開きます。
2. スクロールして、[情報]をタッチします。
3. スクロールして、[ファックス レポート]をタッチします。
4. [短縮ダイアル リスト]をタッチして、レポートを印刷します。

サービス設定

コントロールパネルのこれらのメニュー項目は、「エラー コード」セクションに従って対策を実行しても問題を解決できなかった場合のトラブルシューティングに役立ちます。これらは、HP サービス担当者の指示のもとで使用することを前提としています。

初期セットアップ メニューの設定

[管理]メニューを開き、[初期セットアップ]メニューを選択します。[ファックスセットアップ]メニューを開きます。

[ファックス送信] 設定

[最大ボーレート]: この設定では、操作に選択するボーレートのリストが表示されます。ファックスに通信エラーがあると、この設定を使用して低速のボーレートを選択し、通信エラーが電話回線によるものかどうかを判定します。最初は 14,400bps に速度を落とし、次は 9,600bps まで落とします。この設定を指定すると、変更されるまで、そのまま持続します。

[TCF T.30 遅延タイマ]: この設定に指定できる値の範囲は、60 ~ 255ms です。デフォルト値の 60ms を変更しないでください。この設定は、HP テクニカルサポート エージェントの指示のもとで使用してください。この設定を調整する手順は、このガイドで扱う範囲に含まれません。

[TCF 延長]: この設定に指定できる値の範囲は、0 ~ 2550ms です。デフォルト値の 0ms を変更しないでください。この設定は、HP テクニカルサポート エージェントの指示のもとで使用してください。この設定を調整する手順は、このガイドで扱う範囲に含まれません。

[ファックス受信] 設定

[呼び出し間隔]: この設定は、PBX 呼び出し信号の調整に使用します。この設定は、HP テクニカルサポート エージェントの指示のもとで使用してください。

[呼び出し回数]: この設定に指定できる値の範囲は、1 ~ 200Hz です。デフォルト値の 68Hz を変更しないでください。この設定は、HP テクニカルサポート エージェントの指示のもとで使用してください。この設定を調整する手順は、このガイドで扱う範囲に含まれません。

トラブルシューティング メニューの設定

[管理] メニューを開き、[トラブルシューティング] メニューを選択します。

[トラブルシューティング] メニュー設定

[ファックス T.30 トレース]: ファックス T.30 トレースは、直前のファックス送受信に関して送信側および受信側のファックス装置間で行われた通信をすべて記録した印刷レポートです。このレポートには、ほとんどのユーザーの理解を超える技術的な詳細情報が数多く記載されています。ただし、このレポートに含まれている詳しいエラー コードやその他の情報は、ファックスの送受信に関連する特定の問題のトラブルシューティングに役立つ場合があります。問題の原因を突き止めるために、レポートの内容が HP サービス担当者から要求される場合があります。この内容は、適切な対策を判断する際に役立ちます (エラー コードについては、[51 ページのファックスエラーメッセージ](#)を参照してください)。

[ファックス V.34]: この設定にはモデムのボー レートを制御する 2 つの値 (標準とオフ) があります。[標準] 設定では、サポートされている 33,600bps までの任意のボー レートをモデムに選択 (他のモデムと交渉) できます。[オフ] 設定では、ボー レートは最大の 14,400bps に設定されます。この設定は、変更されるまで、そのまま持続します。

[ファックス スピーカ モード]: このサービスには 2 つのモード設定、[標準] および [診断] があります。[標準] モードでは、初期接続によるダイヤル時にモデム スピーカーがオンになり、その後でオフになります。[診断] モードでは、スピーカーをオンにすると、設定が [標準] に戻されるまで、すべてのファックス通信でオンになります。

リセットメニューの設定

[管理] メニューを開き、[リセット] メニューを選択します。

[リセット] メニュー設定

[出荷時の通信設定に戻す]: これを選択すると、いくつかのメニューがリセットされてデフォルトの設定に戻ります。リセットされる設定には、最大ボーレート、呼び出し音保留時間、V.34、スピーカーモード、伝送信号損失などがあります。

ファームウェアのアップグレード

ファックスアクセサリのファームウェアは更新が可能です。ファックスのファームウェア更新は、製品全体のファームウェア更新の一部として行われます。詳細については、製品のユーザーズガイドを参照してください。

3 HP Color LaserJet CM 4540 MFP シリーズ、HP Color LaserJet Enterprise M4555 MFP シリーズ、HP LaserJet Enterprise 500 MFP シリーズ、HP LaserJet Enterprise 500 Color MFP シリーズ、および HP LaserJet Enterprise M725 MFP シリーズ

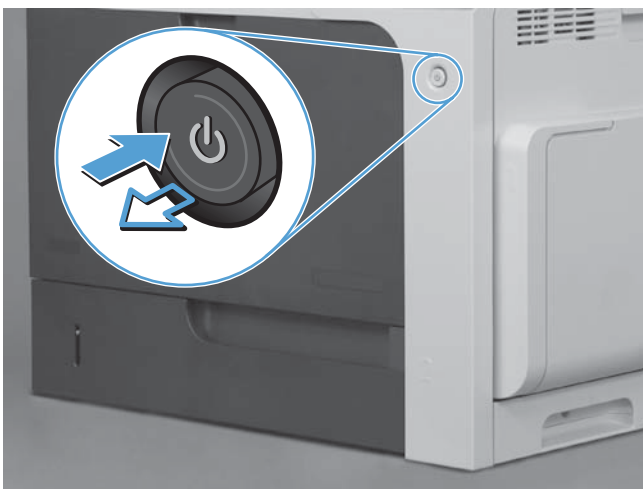
ファックス アクセサリの取り付け

以下のセクションでは、次の各プリンタの取り付け手順について説明します。

- [HP Color LaserJet CM4540 へのファックス アクセサリの取り付け](#)
- [HP Color LaserJet M4555 MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け](#)
- [HP LaserJet Enterprise 500 MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け](#)
- [HP LaserJet Enterprise 500 Color MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け](#)
- [HP LaserJet Enterprise M725 MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け](#)

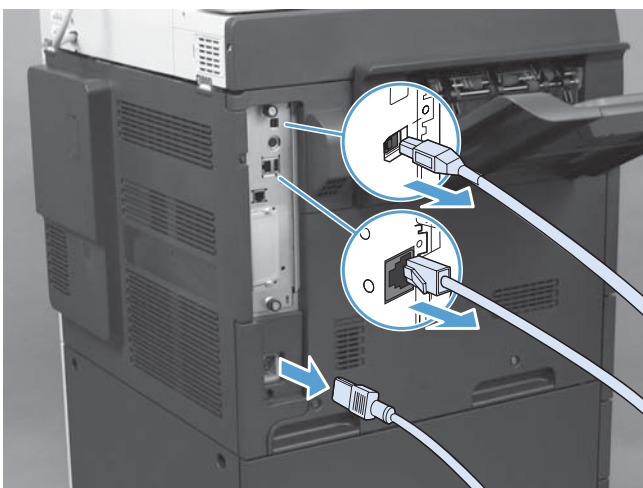
HP Color LaserJet CM4540 へのファックス アクセサリの取り付け

1. プリンターの電源を切ります。



2. 電源ケーブルとインタフェース ケーブルを取り外します。

 **注記：** この図では、すべてのケーブルを表示しているわけではありません。



3. プリンタの背面にあるフォーマッタ ボードのつまみネジを確認します。



4. つまみネジをゆるめ、フォーマッタを引き出します。

△注意： フォーマッタ ボードとファックス アクセサリ カードには、静電気放電 (ESD) による損傷を受けやすい部品が含まれています。フォーマッタ ボードまたはファックス アクセサリ カードを扱うときは、1) 製品の金属フレームに接続した静電気防止用リストストラップなどの静電気防止器具を使用するか、2) フォーマッタの金属フレームを手で触れてください。

フォーマッタ ボードまたはファックス アクセサリ カードのコンポーネントには触れないようにしてください。



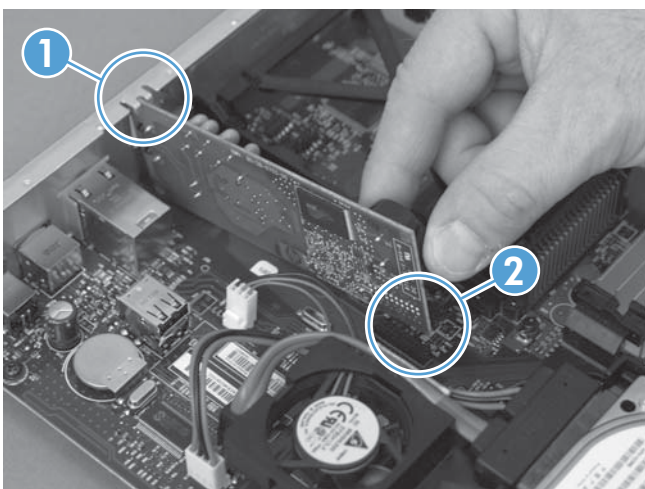
5. 必要に応じて、フォーマッタのファックス ポートのラベルをはがします。

6. ファックスアクセサリをパッケージから取り出します。

⚠注意： フォーマッタ ボードとファックス アクセサリ カードには、静電気放電 (ESD) による損傷を受けやすい部品が含まれています。フォーマッタ ボードまたはファックス アクセサリ カードを扱うときは、1) 製品の金属フレームに接続した静電気防止用リストストラップなどの静電気防止器具を使用するか、2) フォーマッタの金属フレームを手で触れてください。

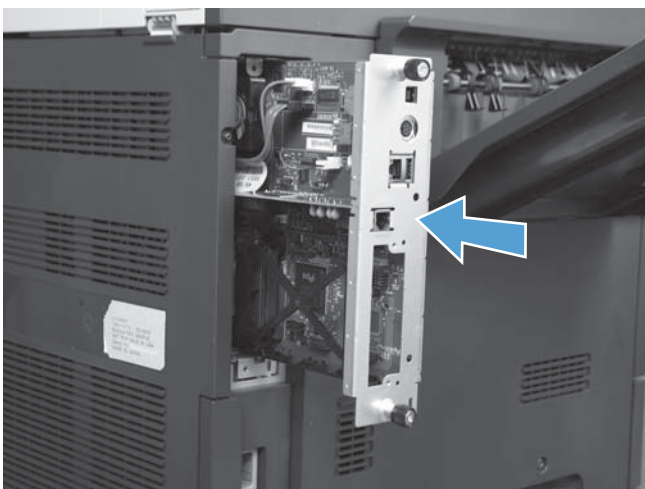
フォーマッタ ボードまたはファックス アクセサリ カードのコンポーネントには触れないようにしてください。

7. フォーマッタのファックスアクセサリ コネクタ開口部の位置を確認します。ファックスアクセサリのコネクタをフォーマッタの開口部に合わせます。正しい位置に固定すると、ファックスアクセサリの上端がフォーマッタの金属フレームのスロットに収まります (図中の 1)。ファックスアクセサリのコネクタをフォーマッタのコネクタに合わせ、しっかり押し込みます (図中の 2)。

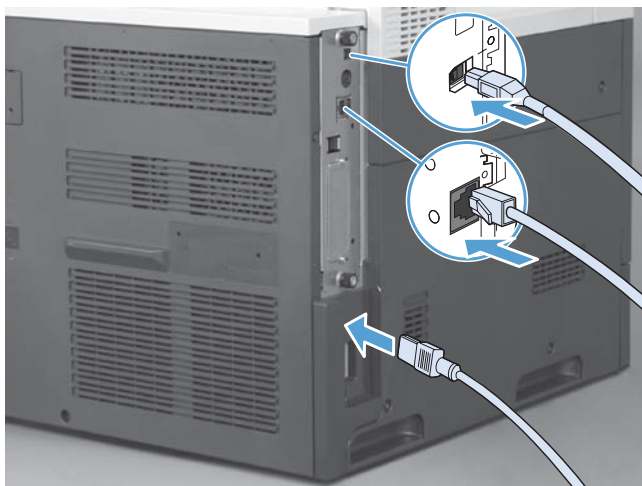


8. スロットの下部の溝にフォーマッタ ボードを合わせ、ボードを製品側へスライドします。蝶ねを締めます。

📝注記： フォーマッタ ボードの損傷を防ぐためフォーマッタ ボードを確実に開口部の上下のトラックに合わせてください。

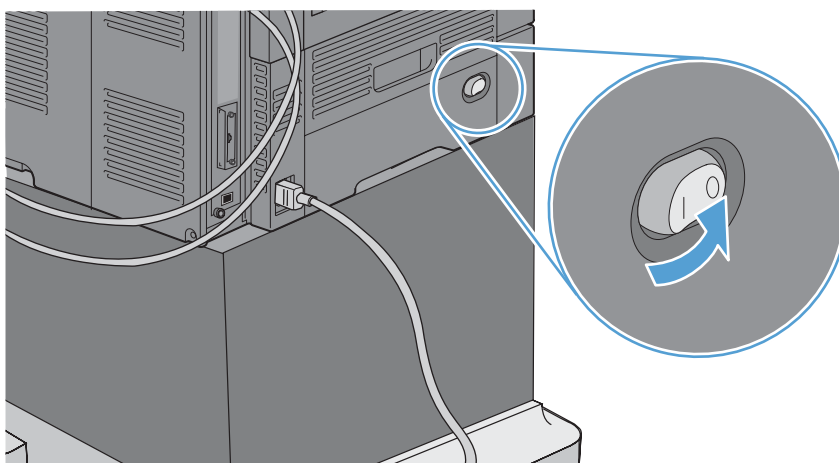


9. 電源ケーブルとインタフェースケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

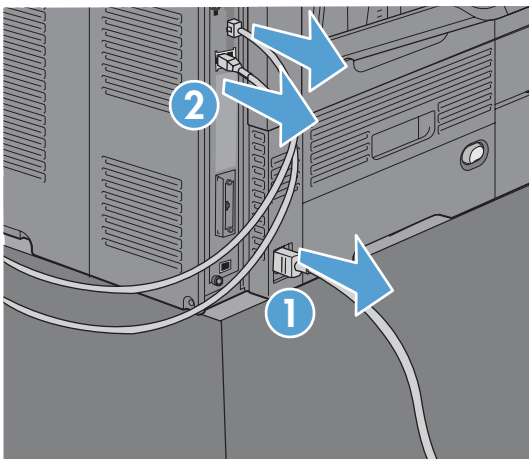



HP Color LaserJet M4555 MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け

1. プリンターの電源を切ります。

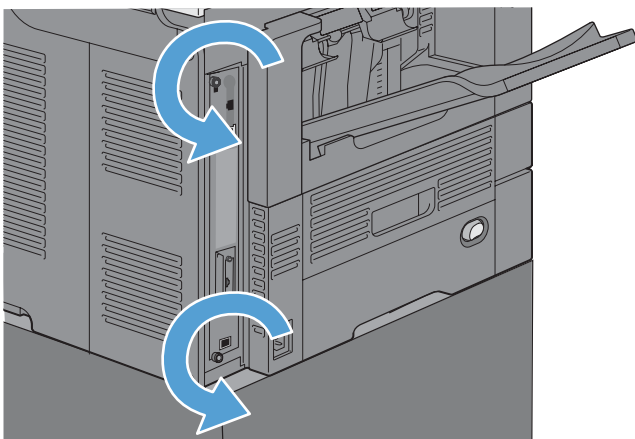


2. 電源ケーブルとインタフェースケーブルを取り外します。



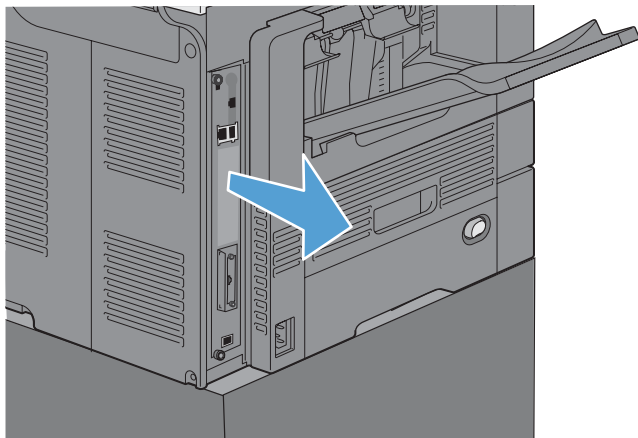
 **注記：** この図では、すべてのケーブルを表示しているわけではありません。

3. プリンタの背面にあるフォーマッタボードのつまみネジを確認します。

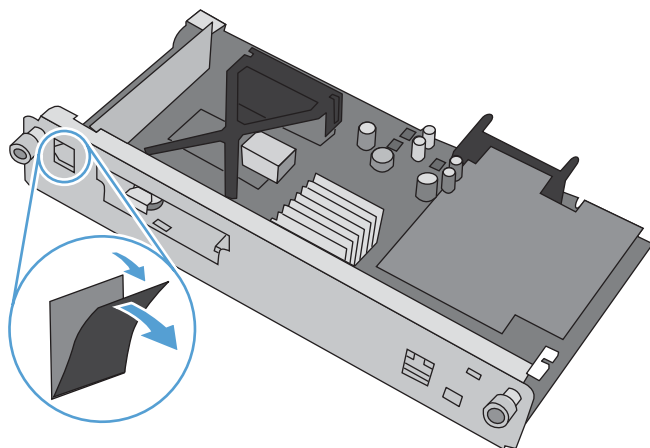


4. つまみネジをゆるめ、フォーマッタを引き出します。

⚠ 注意： フォーマッタ ボードとファックス アクセサリ カードには、静電気放電 (ESD) による損傷を受けやすい部品が含まれています。フォーマッタ ボードまたはファックス アクセサリ カードを扱うときは、1) 製品の金属フレームに接続した静電気防止用リストストラップなどの静電気防止器具を使用するか、2) フォーマッタの金属フレームを手で触れてください。



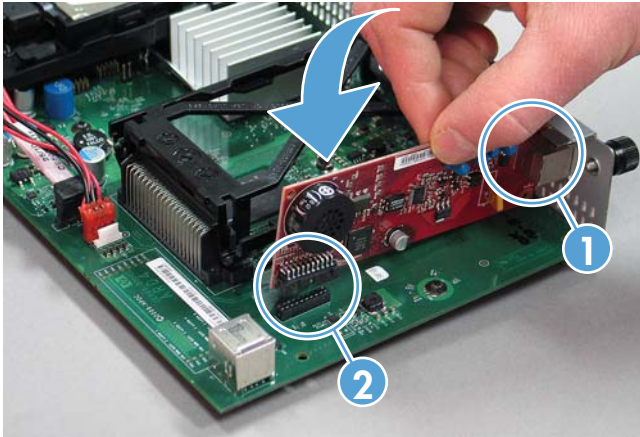
5. 必要に応じて、フォーマッタのファックス ポートのラベルをはがします。



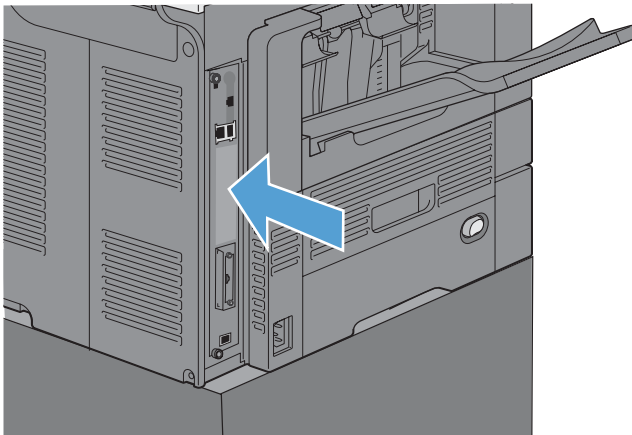
6. ファックス アクセサリをパッケージから取り出します。

⚠ 注意： フォーマッタ ボードとファックス アクセサリ カードには、静電気放電 (ESD) による損傷を受けやすい部品が含まれています。フォーマッタ ボードまたはファックス アクセサリ カードを扱うときは、1) 製品の金属フレームに接続した静電気防止用リストストラップなどの静電気防止器具を使用するか、2) フォーマッタの金属フレームを手で触れてください。

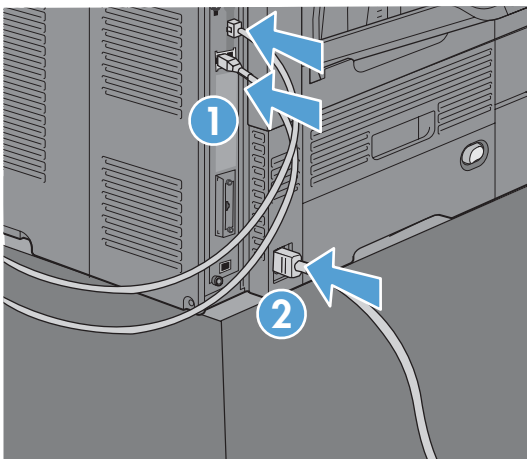
7. フォーマッタのファックスアクセサリ コネクタ開口部の位置を確認します。ファックスアクセサリのコネクタをフォーマッタの開口部に合わせます。正しい位置に固定すると、ファックスアクセサリの上端がフォーマッタの金属フレームのスロットに収まります (図中の 1)。ファックスアクセサリのコネクタをフォーマッタのコネクタに合わせ、しっかり押し込みます (図中の 2)。



8. スロットの下部の溝にフォーマッタ ボードを合わせ、ボードを製品側へスライドします。蝶ねを締めます。

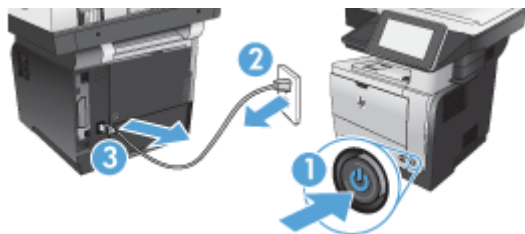


9. 電源ケーブルとインタフェース ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。



HP LaserJet Enterprise 500 MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け

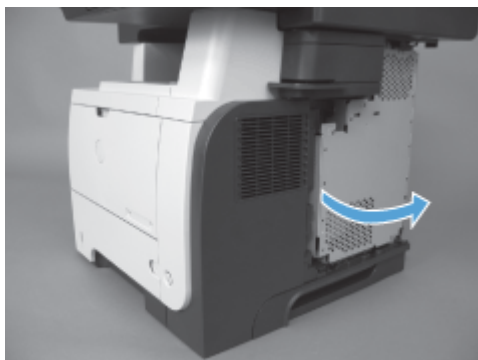
1. プリンタの電源を切り、すべての電源ケーブルとインタフェース ケーブルを抜きます。



2. プリンタの右背面にあるフォーマッタ カバーを取り外します。



3. ケージカバーの左上にあるタブを使用して、ケージカバーを開き、ケージカバーを蝶番から取り外します。

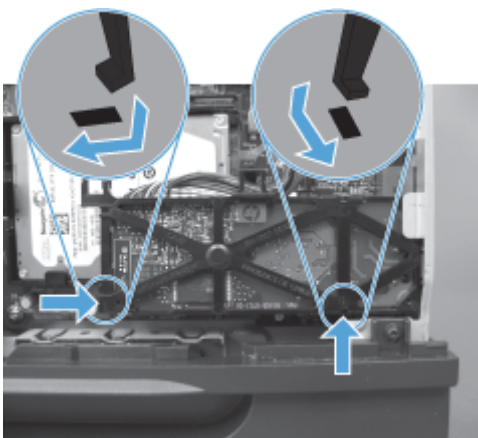
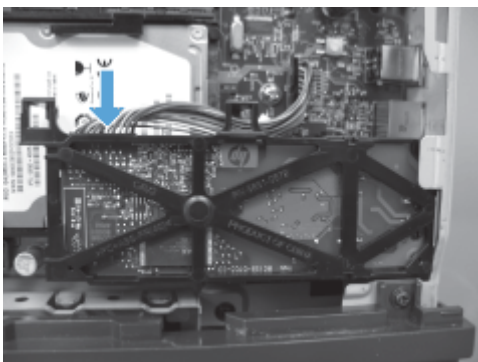


4. ファックスアクセサリをパッケージから取り出します。

⚠注意： フォーマッタ ボードとファックス アクセサリ カードには、静電気放電 (ESD) による損傷を受けやすい部品が含まれています。フォーマッタ ボードまたはファックス アクセサリ カードを扱うときは、1) 製品の金属フレームに接続した静電気防止用リストストラップなどの静電気防止器具を使用するか、2) フォーマッタの金属フレームを手で触れてください。

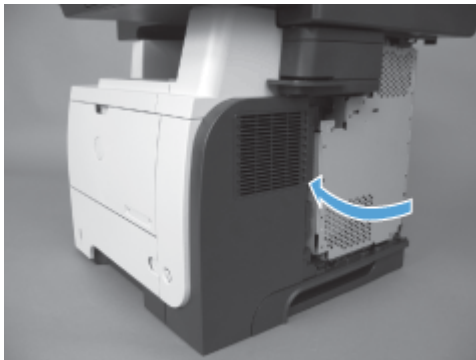
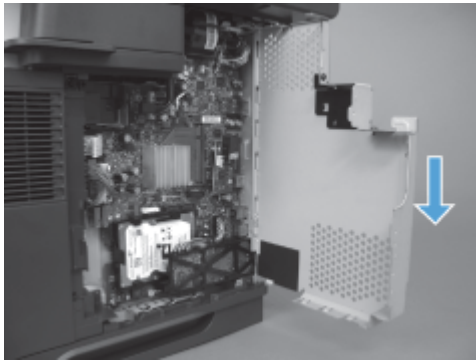
5. フォーマッタのファックス アクセサリ コネクタ開口部の位置を確認します。ファックス アクセサリのコネクタをフォーマッタの開口部に合わせ、しっかり押し込みます。

📝注記： ファックス アクセサリ カードは、まず、ケージの右側にある金属タブの後ろに合わせる必要があります。



6. ファックス アクセサリのケーブルをフォーマッタに接続します。

7. ケージカバーを金属製の蝶番タブに合わせて取り付け直し、閉じます。



8. フォーマッタカバーを取り付け直します。

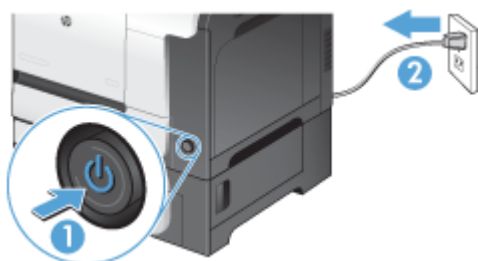


9. 電源ケーブルとインタフェースケーブルをすべて接続し、プリンタの電源を入れます。

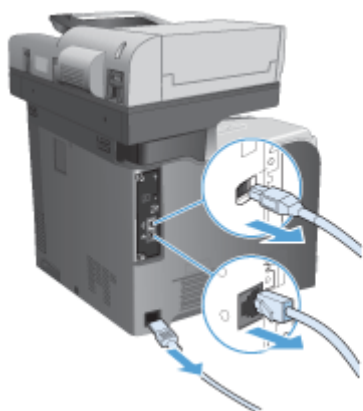


HP LaserJet Enterprise 500 Color MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け

1. プリンターの電源を切ります。



2. 電源ケーブルとインタフェース ケーブルを取り外します。



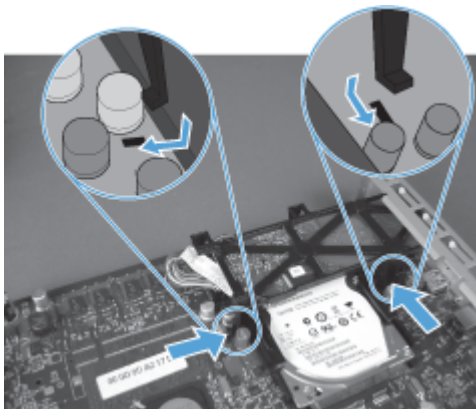
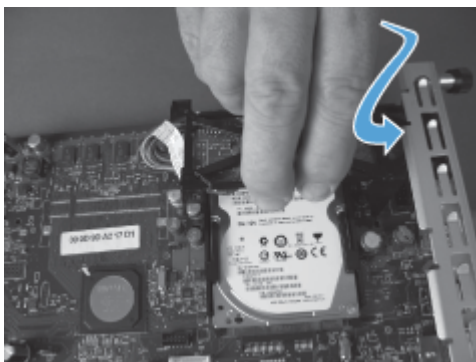
3. プリンタの背面にあるフォーマッタの蝶ねじを見つけ、回して外します。




4. プリンタからフォーマッタを引き出します。

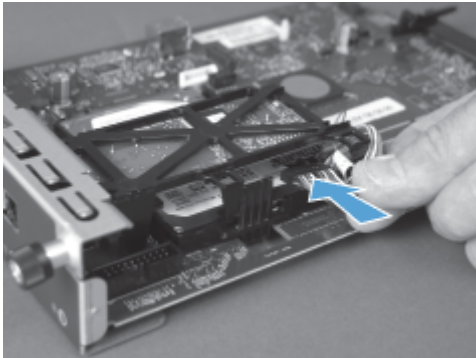


5. ファックス アクセサリをパッケージから取り出します。
6. フォーマッタのファックス アクセサリ コネクタ開口部の位置を確認します。ファックス アクセサリのコネクタをフォーマッタの開口部に合わせ、しっかり押し込みます。



7. ファックスアクセサリのケーブルをフォーマッタに接続します。

 **注記：** ファックスアクセサリのケーブルは、ファックスアクセサリのプラスチックタブの下を通す必要があります。



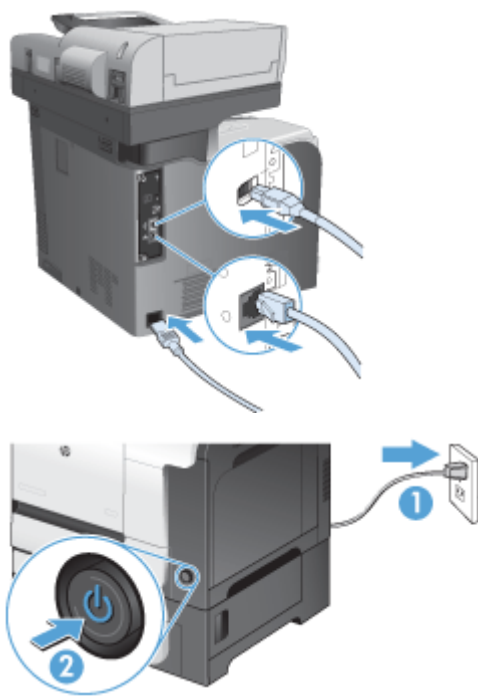
8. プリンタの背面にあるスロットにフォーマッタを合わせ、ボードをプリンタ側へスライドします。



9. 蝶ねじを締めます。



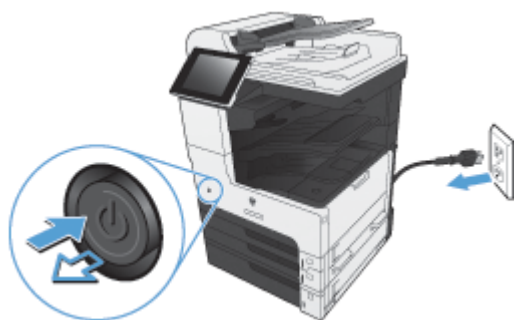
10. 電源ケーブルとインターフェースケーブルをすべて接続し、プリンタの電源を入れます。



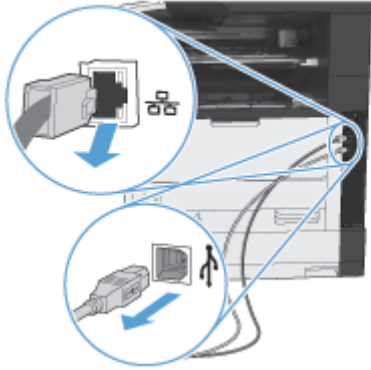
11. モデムの電話ケーブルをファックス スロットに差し込みます。

HP LaserJet Enterprise M725 MFP シリーズへのファックス アクセサリの取り付け

1. プリンタの電源を切り、コンセントからコードを外します。



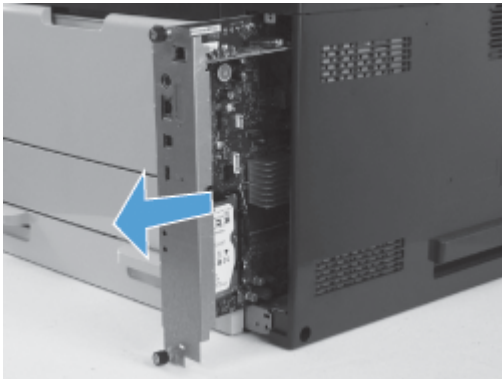
2. USB ケーブルとネットワーク ケーブルを外します。



3. フォーマッタの蝶ねじを回して外します。

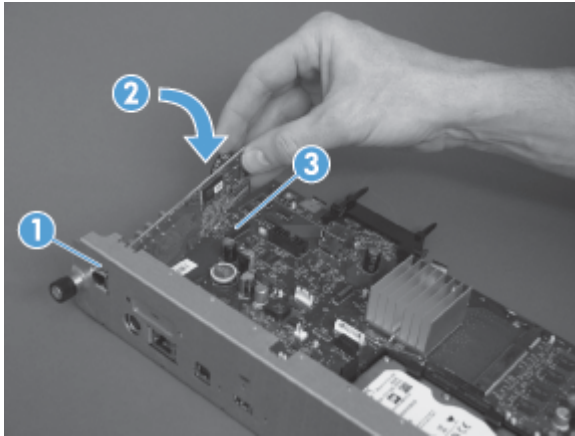


4. プリンタからフォーマッタをまっすぐ引き出して取り外します。

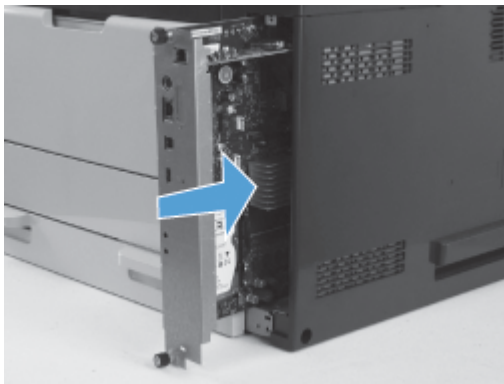


5. ファックス アクセサリ カードをパッケージから取り出します。

6. ファックス PCA のポートの端 (1) をフォーマッタ トレイの指定のスロットに設置し、ファックス PCA を下に回してフォーマッタ (2) に取り付け、PCA がフォーマッタのコネクタ (3) に固定されるまで PCA を下に押し込みます。



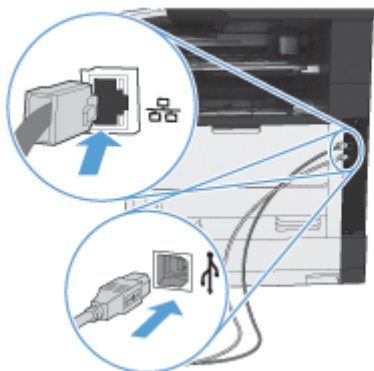
7. プリンタの背面にあるスロットにフォーマッタを合わせ、ボードをプリンタ側へスライドします。



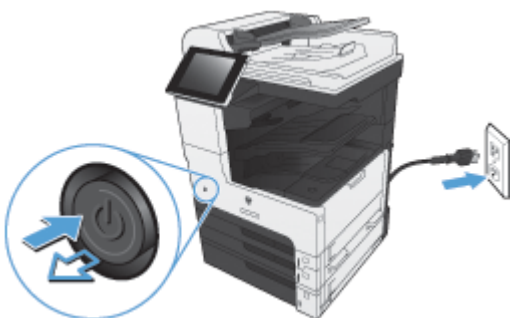
8. 蝶ねを締めます。



9. USB ケーブルとネットワーク ケーブルをプリンタに接続します。




10. コードをコンセントに接続し、プリンタの電源を入れます。



11. モデムの電話ケーブルをファックス スロットに差し込みます。


ファックス アクセサリの電話回線への接続

ファックス アクセサリを電話回線に接続するときはファックス アクセサリ専用の回線に接続し、他の機器とは併用しないでください。また、この電話回線はアナログ ラインを使用してください。デジタル PBX システムに接続されると、正しく機能しません。電話回線がアナログかデジタルか不明な場合は、電話会社にお問い合わせください。

 **注記：** アクセサリが正しく機能するように、HP では、ファックス アクセサリに付属の電話コードを使用することをお勧めします。

次の手順に従って、ファックス アクセサリを電話ジャックに接続します。

1. ファックス アクセサリ キットに付属している電話コードを探します。電話コードの一方の端をファックス カード上にあるファックス アクセサリの電話ジャックに接続します。カチッと音がするまで押し込みます。

 **注意：** ファックス カードの中央にあるファックス アクセサリ ポートに電話回線が接続されていることを確認します。フォーマッタの下部にある HP Jetdirect ポートには、電話回線を接続しないでください。

2. 電話コードのもう一方の端を壁の電話ジャックに接続します。カチッと音がするか、適切に設置されるまで、コネクタを差し込みます。国/地域によってコネクタのタイプは異なるため、コネクタを差し込んでもカチッと音がしないことがあります。

ファックスの動作確認

ファックス アクセサリが取り付けられ、正常に動作しているときは、プリンタのコントロールパネルに [ファックス] アイコンが表示されます。ファックス アクセサリを取り付けただけで設定していない場合は、[ファックス] アイコンが薄く表示されます。この場合は、以下の手順に従ってファックス アクセサリを設定してください。

ファックスの必須設定

ファックス アクセサリを取り付けた後、アクセサリを使用するには、所定の設定を行う必要があります。これらの設定を指定していない場合、ファックス アイコンはグレーアウトされます。この設定には次のものがあります。

- 国/地域
- 日付/時刻
- 会社名
- ファックス番号
- プレフィックスのダイヤル (オプション)

ファックス設定ウィザード

ファックス設定ウィザードの順を追った手順に従って、ファックス機能を使用するために必要なファックス設定を行うことができます。設定を行っていない場合、ファックス機能は使用できません。

ファックス アクセサリを取り付けて、初めてプリンタの電源を投入するときは、次の手順を実行してファックス設定ウィザードにアクセスします。

1. ホーム画面の **[初期セットアップ]** ボタンをタッチします。
2. **[ファックス設定ウィザード]** メニューをタッチします。
3. ファックス設定ウィザードの手順を実行して、必要な設定を行います。
4. ファックス設定ウィザードが完了したら、**[初期セットアップ]** ボタンを非表示にするオプションがホーム画面に表示されます。

コントロールパネルによる初期設定の後にファックス設定ウィザードにアクセスするには、次の手順を実行します。


1. **[ホーム]** 画面をスクロールし、**[管理]** ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **ファックス設定**
 - **ファックス送信設定**
 - **ファックス送信セットアップ**
 - **ファックス設定ウィザード**


ファックス設定ウィザードを使用して必要なファックス設定を行うには、次の手順を実行します。

1. ファックス設定ウィザードの最初の画面で国/地域をタッチして、**[次へ]** ボタンをタッチします。
2. 日付と時刻のボックスをタッチして日付と時刻を入力し、**[次へ]** ボタンをタッチします。
3. **[会社名]** と **[ファックス番号]** のボックスをタッチして会社名とファックス番号を入力し、**[次へ]** ボタンをタッチします。
4. 必要に応じて、**[プレフィックスのダイヤル]** ボックスをタッチしてダイヤル局番を入力し、**[次へ]** ボタンをタッチします。
5. ファックス設定ウィザードの最終画面でファックス設定を確認します。**[完了]** ボタンをタッチしてファックス設定ウィザードを終了します。

または

[前へ] ボタンをタッチしてファックス設定ウィザード画面をさかのぼり、設定内容を変更します。

 **注記：** コントロールパネルでファックス設定ウィザードを使用して行った設定は、内蔵 Web サーバで行った設定よりも優先します。

 **注記：** [ファックス設定] メニュー設定がメニュー リストに表示されない場合は、LAN ファックスまたはインターネット ファックスが有効になっている可能性があります。LAN ファックスまたはインターネット ファックスを有効にすると、アナログ ファックス アクセサリが無効になり、ファックス メニューは表示されません。LAN ファックス、アナログ ファックス、またはインターネット ファックスのいずれかのファックス機能のみを有効にすることができます。ファックス アイコンは、どちらかのファックス機能に対して表示されます。LAN ファックスが有効なときにアナログ ファックスを使用する場合は、HP MFP Digital Sending ソフトウェア設定ユーティリティまたはプリンタの内蔵 Web サーバを使用して LAN ファックスを無効にします。

日付と時刻の設定または確認

ファックス アクセサリの日付と時刻の設定は、プリンタの日付と時刻の設定と同じ値です。この情報は、ファックス設定ウィザードを使用するか、次の手順を実行して入力できます。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - 全般的な設定
 - Date/Time Settings(ステイブラ/スタッカ設定)
 - 日付/時刻
3. ロケールの正しい [タイムゾーン] 設定をタッチします。
4. [月] ドロップダウンメニューをタッチして、月を選択します。
5. [日付] ドロップダウンメニューの横のボックスをタッチして、キーパッドから年月日を入力します。
6. [時刻] 見出しの下ボックスをタッチして、キーパッドから時間および分を入力し、[午前] または [午後] ボタンをタッチします。
7. 必要に応じて、[夏時間の調整] 機能をタッチします。
8. [保存] ボタンをタッチして設定内容を保存します。

日付と時刻の形式の設定または確認

ファックス アクセサリの日付/時刻の形式の設定は、プリンタの日付/時刻の形式の設定と同じです。この情報は、ファックス設定ウィザードを使用するか、次の手順を実行して入力できます。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - 全般的な設定
 - Date/Time Settings(ステイブラ/スタッカ設定)
 - 日付/時刻 - 形式

3. [日付形式] オプションをタッチします。
4. [時刻形式] オプションをタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチして設定内容を保存します。

リモートでのファックス設定

プリンタのコントロールパネルだけでなく、さまざまなソフトウェア ツールを使用して、ファックス アクセサリをリモートで設定できます。プリンタには内蔵 Web サーバ (EWS) が組み込まれているため、Web ブラウザまたは HP Web Jetadmin (WJA) のいずれかを使用して Web 上でファックス アクセサリを設定できます。また、HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティ (DSS) を使用して、ネットワークに接続したコンピュータからネットワーク上でファックス アクセサリを設定することもできます。これらのツールを使用すると、プリンタのファックス メニューから利用可能なほとんどのファックス アクセサリ設定にアクセスできます。

Web ブラウザ

プリンタには、内蔵 Web サーバ (EWS) が組み込まれています。EWS を使用すると、Web ブラウザでアナログ ファックス設定にアクセスして設定できます。

1. ブラウザの URL アドレス バーにプリンタの IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押して EWS のプリンタの設定画面を開きます。プリンタの IP アドレスを取得するには、プリンタの設定ページを印刷します。

 **注記:** DSS を使用している場合は、DSS が制御下にあることを示すメッセージが EWS に表示されます。設定を変更するには、DSS を使用する必要があります。

2. **[ファックス]** タブをクリックします。**[ファックス送信設定]** 画面が表示されます。
3. **[ファックス送信設定]** 画面で、**[FAX 送信の有効化]** をクリックしてファックスを有効にします。共通のジョブ設定および使用するファックス タイプの特定の設定に変更を加えた後、**[適用]** ボタンをクリックして設定を適用します。

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin を使用してこのプリンタのアナログ ファックス設定にアクセスするには、次の手順を実行します。HP Web Jetadmin の詳細については、『**HP Web Jetadmin Reference Manual**』 (HP Web Jetadmin リファレンス マニュアル) を参照してください。

1. HP Web Jetadmin を起動します。
2. **[At a Glance]** (一覧表) テキスト ボックスで、**[Quick Device Find]** (クイック デバイス検索) テキスト ボックスにプリンタの IP アドレスを入力します。**[Go]** (Go) ボタンをクリックすると、右側のウィンドウにデバイスのステータスが表示されます。そのウィンドウのステータス ドロップダウン メニューから **[Digital Sending and Fax]** (デジタル送信とファックス) を選択します。
3. **[ファックス設定]** セクションまたは **[ファックスの詳細設定]** セクションのオプションを設定します。個々の設定については、設定の横のコンテキスト ヘルプを選択してください。
4. 設定を変更した後、**[適用]** ボタンを選択してその設定を適用します。

1 台のプリンタだけでなく、複数のデバイスを設定することもできます。複数デバイス モードでは、複数のプリンタを一度に設定します。この機能については、www.hp.com/go/webjetadmin の **[Self**


Help and Documentation] (セルフ ヘルプとマニュアル) タブで『**Web Jetadmin User Guide**』 (Web Jetadmin ユーザー ガイド) を参照してください。

HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティ

DSS 設定ユーティリティを使用して MFP のアナログ ファックス設定にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. コンピュータまたはサーバでユーティリティを起動し、メイン画面を開きます。
2. 製品を選択し、メイン画面の **[Configure MFP]** (MFP の設定) ボタンをクリックします。次に **[FAX に送信]** タブを選択して **[Fax Settings]** (ファックスの設定) 画面を開きます。
3. プリンタのファックス機能を有効にするには、**[Enable Fax Send]** (FAX 送信の有効化) オプションを選択します。アナログ ファックス設定にアクセスするには、**[Fax Send Method]** (ファックス送信方式) ドロップダウンリストで **[Internal Modem]** (内蔵モデム) を選択します。**[Common Job Settings]** (共通のジョブ設定) タブで設定を変更し、**[適用]** ボタンをクリックしてその設定を適用します。**[Internal Modem]** (内蔵モデム) タブを選択し、その他のファックス設定を指定します。

1 台のプリンタだけでなく、複数のデバイスを設定することもできます。HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティの詳細については、『**HP MFP Digital Sending Software ユーザーガイド**』または『**HP MFP Digital Sending Software サポートガイド**』を参照してください。

 **注記：** ファックス方式の機能と設定によっては、これらのオプションの一部が表示されなかったり、設定できなかったりする場合があります。

ファックス設定

以下のセクションでは、ファックスの送受信に関するさまざまな設定について詳しく説明します。

- [ファックス送信設定](#)
- [ファックス受信設定](#)
- [ファックスのアーカイブと転送](#)
- [ポーリング](#)

ファックス送信設定

[Fax Send Setup] (ファックス送信セットアップ) メニューを使用して、次の機能を設定します。

- [ファックスダイアル設定](#)
- [全般的なファックス送信設定](#)
- [デフォルトジョブオプション](#)
- [請求書コード](#)

ファックスダイアル設定

ファックスダイアル音量の設定

ファックスの送信時にプリンタのダイアル音量レベルを設定するには、[[ファックスダイアル音量](#)] 設定を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [ファックス設定](#)
 - [ファックス送信設定](#)
 - [ファックス送信セットアップ](#)
 - [ファックスダイアル設定](#)
3. [[ファックスダイアル音量](#)] ドロップダウンメニューをタッチして、次のいずれかの設定を選択します。
 - オフ
 - 低 (デフォルト)
 - 高
4. [保存] ボタンをタッチして、音量設定を保存します。

ダイアルモードの設定

ダイアルモード設定では、使用するダイアルタイプをトーン (プッシュホン) またはパルス (ダイアル式電話) のいずれかに設定します。

ダイアルモードを設定するには、次の手順を実行します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス送信セットアップ
 - ファックスダイアル設定
3. [ダイアルモード] ドロップダウンメニューをタッチして、[トーン] オプション (デフォルト) または [パルス] オプションを選択し、ファックスダイアルモードを設定します。
4. [保存] ボタンをタッチします。


ファックス送信速度の設定

ファックス送信速度設定では、ファックス送信時のアナログファックスモデムのモデムビットレート (ビット/秒) を設定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス送信セットアップ
 - ファックスダイアル設定
3. [Fax Send Speed (ファックス送信速度)] 見出しの下のドロップダウンメニューをタッチした後、次のいずれかをタッチします。
 - 高速 (デフォルト) - 33600 bps (ビット/秒)
 - 標準 - 14400 bps
 - 低速 - 9600 bps
4. [保存] ボタンをタッチします。

リダイアル間隔の設定

リダイアル間隔の設定では、ダイアルした番号が通話中または応答しない場合のリダイアル間隔を分単位で選択します。通話中とは、通信エラーが発生していることを示す場合もあります。

 **注記：** **【通話中の場合のリダイヤル】**、**【応答がない場合のリダイヤル】**、および**【エラー時のリダイヤル】**をオフに設定すると、コントロールパネルにリダイヤルメッセージが表示されます。このエラーは、ファックスアクセサリが番号をダイヤルし、接続を確立した後に、接続が切断されると発生します。このエラーの結果、リダイヤルの設定に関係なく、ファックスアクセサリはリダイヤルを2回試みます(最初は26,400bpsでリダイヤルし、失敗すると2回目は14,400bpsでリダイヤルします)。このリダイヤル操作中に、リダイヤル中であることを示すメッセージがコントロールパネルに表示されます。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス送信セットアップ
 - ファックスダイヤル設定
3. [リダイヤルの間隔] テキストボックスをタッチして、キーパッドを表示します。
4. 値(1～5、デフォルト値は5)を入力し、[OK] ボタンをタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチします。

エラー時のリダイヤルの設定

[エラー時のリダイヤル] 機能では、ファックス送信中にエラーが発生したときの、ファックス番号のリダイヤル回数を設定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス送信セットアップ
 - ファックスダイヤル設定
3. [エラー時のリダイヤル] ボックスをタッチして、キーパッドを開きます。
4. 値(0～9、デフォルト値は2)を入力し、[OK] ボタンをタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチします。

通話中の場合のリダイヤル設定

通話中の場合のリダイヤル設定では、通話中の場合にファックスアクセサリがリダイヤルを行う回数(0～9)を選択します。リダイヤルの間隔は[リダイヤルの間隔] 設定で設定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス送信セットアップ
 - ファックスダイアル設定
3. [通話中の場合のリダイアル] テキスト ボックスをタッチして、キーパッドを表示します。
4. 値 (0 ~ 9、デフォルト値は 3) を入力し、[OK] ボタンをタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチします。

応答がない場合のリダイアルの設定

応答がない場合のリダイアルの設定では、ダイアルした番号に応答がない場合にファックス アクセサリがリダイアルを行う回数を選択します。リダイアルの回数は、国/地域の設定に応じて 0 ~ 1 (米国で使用) または 0 ~ 2 のいずれかです。リダイアルの間隔は [リダイアルの間隔] 設定で設定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス送信セットアップ
 - ファックスダイアル設定
3. [無応答時のリダイアル回数] テキスト ボックスをタッチして、キーパッドを表示します。
4. 値 (0 ~ 2、デフォルト値は 0) を入力し、[OK] ボタンをタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチします。

ダイアル トーン検出の設定


ダイアル トーン検出の設定では、ファックスを送信する前にダイアル トーンを確認するかどうかを決定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定

- ファックス送信セットアップ
 - ファックスダイアル設定
3. [ダイアルトーンを検出] 設定をタッチします。選択されると、[ダイアルトーンを検出] 設定の横にチェックマークが表示されます。デフォルトの設定は、チェックなし(無効)です。
 4. [保存] ボタンをタッチすると、ダイアルトーンの検出が有効になります。

ダイアル局番の設定 (必要な場合)

ダイアル局番の設定では、ダイアル時の局番 (外線発信時の「9」など) を入力できます。ダイアル時には、この局番がすべての電話番号に自動的に追加されます。

 **注記：** 局番と電話番号の間にポーズが必要な場合があります。2 秒のポーズを挿入するには、カンマ(,)、ポンド記号(#)、または「P」を入力します。内線番号を追加するには、「X」を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス送信セットアップ
 - ファックスダイアル設定
3. [プレフィックスのダイアル] テキストボックスをタッチして、キーパッドを表示します。
4. キーパッドでダイアル局番を入力して、[OK] ボタンをタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチします。

全般的なファックス送信設定

[全般的なファックス送信設定] メニューを使用して、次の機能を設定します。

- ファックス番号の確認
- PC ファックス送信
- ファックス ヘッダ
- JBIG 圧縮
- エラー修正モード


ファックス番号の確認の有効化

ファックス番号の確認が有効に設定されている場合、正しく入力されているかどうかを確認するために、ファックス番号を 2 回入力する必要があります。この機能のデフォルト設定は [無効] です。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス送信セットアップ
 - 全般的なファックス送信設定
3. [ファックス番号の確認] ボックスをタッチすると、ファックス番号の確認が有効になります。
4. [保存] ボタンをタッチします。

PC ファックス送信の有効化

PC からファックスを送信するには、PC ファックス送信機能を使用します。この機能は、デフォルトで有効になっています。この機能が無効になっている場合は、次の手順を実行して有効にします。

 **注記：** PC ファックス送信ドライバをファックス送信元のコンピュータにインストールする必要があります。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス送信セットアップ
 - 全般的なファックス送信設定
3. [PC ファックス送信] ボックスをタッチします。
4. [保存] ボタンをタッチします。

ファックスヘッダー

ファックスヘッダー機能を使用して、先頭にヘッダーを付加して内容を下に下げるか、ファックスイメージにヘッダーをオーバーレイするかを設定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス送信セットアップ
 - 全般的なファックス送信設定


3. [プリペンド] (デフォルト)、または [ファックス ヘッダ] セクションの [オーバーレイ] オプションをタッチして、ファックス ヘッダーを正しく配置します。
4. [保存] ボタンをタッチします。

エラー訂正モードの設定

通常、ファックス アクセサリではファックスの送受信中に電話線の信号が監視されます。エラー訂正設定がオンになっている場合にファックス アクセサリによって伝送時のエラーが検出されると、ファックスのエラー箇所の再送信が要求されます。

デフォルトでは、エラー修正モードが有効になっています。ファックスの送受信に問題がある場合と、伝送時のエラーや予想される画質低下を許容する場合にのみ、エラー訂正をオフにします。海外とファックスを送受信する場合や、衛星電話を接続している場合は、この設定をオフにすると便利です。

エラー訂正モードが有効になっていない場合、高速モードではファックスを使用できません。ファックス速度は 14,400bps 以下になります。

 **注記：** VOIP プロバイダの中には、エラー修正モードをオフにすることを勧めるものもあります。しかし、通常、この操作は不要です。

エラー修正モードが無効になっている場合は、次の手順を実行して有効にします。


1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - ファックス送信セットアップ
 - 全般的なファックス送信設定
3. [エラー修正モード] チェック ボックスをタッチし、無効になっている (チェックマークがない) 場合は、エラー修正モードを有効にします。
4. [保存] ボタンをタッチします。

デフォルト ジョブ オプション

設定には、次のデフォルト ジョブ オプションを使用できます。

- 画像プレビュー
- 解像度
- 片面原稿/両面原稿
- 通知
- 内容の向き

- 元のサイズ
- イメージ調整
- テキスト/画像の最適化
- ジョブ作成
- 空白のページの削除


 **注記：** デフォルト ジョブ オプション設定は、すべてのファックス方式 (アナログ、LAN、インターネット ファックス) で共有されます。


画像プレビュー


1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 画像プレビュー
3. 以下のいずれかの設定をタッチします。
 - オプションにする
 - プレビューが必要
 - **Disable preview (プレビューを無効化)**
4. [保存] ボタンをタッチします。


ファックス送信側の解像度の設定

ファックス送信側の解像度設定によって、ファックス受信側でサポートされる最大解像度が決まります。ファックス アクセサリでは、この設定で制限される範囲で可能な限り高い解像度と、ファックス受信側の最大解像度を使用します。

 **注記：** 幅が 21.25 cm (8.5 インチ) より広いファックスは自動的に標準または高画質で送信され、通話時間が短縮されます。

 **注記：** 解像度のデフォルトの設定は、旧式のプリンタ モデルの解像度のデフォルト設定よりも dpi 値が低くなっています。たとえば、旧式のプリンタ モデルの解像度のデフォルト設定は、[高画質] (200 × 200 dpi) でした。

 **注記：** 解像度が高いほど伝送時間が長くなります。

 **注記：** LAN ファックスの解像度設定は、ベンダーによってさまざまであり、以下に示す設定と異なる場合があります。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 解像度
3. 次のいずれかの解像度設定をタッチします。
 - Standard (100 x 200dpi) (標準 (100 x 200 dpi)) (デフォルト)
 - Fine (200 x 200dpi) (高精細 (200 x 200 dpi))
 - Superfine (300 x 300dpi) (超高精細 (300 x 300 dpi))
4. [保存] ボタンをタッチします。

原稿の面数

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] アイコンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 元の文書の面
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - 片面 (デフォルト)
 - 両面
4. [印刷の向き] ボタンをタッチして、印刷の向きを設定します。
5. [保存] ボタンをタッチします。

通知

通知設定では、送信ファックスのステータスをいつ、どのように通知するかを選択します。この設定は、現在のファックスにのみ適用されます。設定を永久的に変更するには、デフォルトの設定を変更します。

1. [ホーム] 画面で [管理] アイコンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。

- ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 通知
3. 次のいずれかの通知設定をタッチします。
 - Do not notify (通知しない) (デフォルト)
 - Notify when job completes (ジョブ完了時に通知)
 - Notify only if job fails (ジョブ失敗時のみ通知)
 4. [印刷] オプションをタッチして印刷された通知を受け取るか、[電子メール] オプションをタッチして電子メールによる通知を受け取ります。
 5. [印刷] オプションを選択した場合は、[保存] ボタンをタッチして通知設定を完了します。
 または
 [電子メール] オプションを選択した場合は、キーボードを使用して電子メールアドレスを入力します。次に、[OK] ボタンをタッチして、通知設定を完了します。
 6. [Include Thumbnail (サムネイルを含める)] チェック ボックスをタッチして、サムネイル画像と通知を含めます。

内容の向き

ファックスの内容をページ上にどのように配置するかを設定するには、「内容の向き」機能を使用します。片面ページの場合は、[Portrait] (縦) (短辺が上、デフォルトの設定) または [Landscape] (横) (長辺が上) を選択します。両面ページの場合は、[製本スタイル] (短辺が上) または [綴込みスタイル] (長辺が上) を選択します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 内容の向き
3. 片面ページの場合は、[縦] (デフォルト) または [横] をタッチします。
4. 両面ページの場合は、[製本スタイル] または [綴込みスタイル] をタッチします。
5. [保存] ボタンをタッチします。

原稿のサイズ

ファックスの内容を原稿のサイズに合わせるには、「原稿のサイズ」機能を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。

2. 以下のメニューを開きます。


- ファックス設定
- ファックス送信設定
- デフォルト ジョブ オプション
- 元のサイズ

3. 次のいずれかのオプションをタッチします。

- Any size (default) (サイズ指定なし (デフォルト))
- レター (8.5x11 インチ)
- レター/リーガル混合
- Legal (8.5 x 14 インチ)
- Executive (7.25 x 10.5 インチ)
- Statement (8.5 x 5.5 インチ)
- Oficio (8.5 x 13) (Oficio (8.5 x 13 インチ))
- A4 (210 x 297 mm)
- A5 (148 x 210 mm)
- B5 (257 x 182 mm)
- 16k (197 x 273 mm)
- DPostcard JIS (148 x 200 mm)
- Oficio (216 x 340 mm)

4. [保存] ボタンをタッチします。

イメージ調整

 **注記：** イメージの設定を調整すると、ファックス転送速度が低下し、送信時間が長くなる可能性があります。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。

2. 以下のメニューを開きます。

- ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - イメージ調整
3. [より薄い] または [濃い] ボタンをタッチして、[濃さ] 設定を調整します。
 4. [少なめ] または [詳細] ボタンをタッチして、[コントラスト]、[背景のクリーンアップ]、または [鮮明度] 設定を調整します。
 5. [保存] ボタンをタッチします。

 **注記:** [デフォルト] ボタンをタッチして、鮮明度の設定を出荷時の設定にリセットします。

テキスト/画像の最適化

原稿と最も一致するファックス出力を生成するには、「テキスト/画像の最適化」機能を使用します。グラフィックスや写真をテキストモードで送信すると、イメージの画質は低下します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - テキスト/画像の最適化
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - **Manually adjust (手動調整)** (デフォルト)
 - テキスト
 - 印刷画像
 - 写真
4. [保存] ボタンをタッチします。

ジョブ作成

複数の原稿を 1 つのファックス ジョブにまとめるには、「ジョブ作成」機能を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。

- ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - ジョブ作成
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - Job Build off (ジョブ作成を無効化) (デフォルト)
 - Job Build on (ジョブ作成を有効化)
 4. [保存] ボタンをタッチします。

空白のページの削除

ファックスで空白ページが印刷されないようにするには、「空白のページの削除」機能を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックス送信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 空白のページの削除
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - 無効 (デフォルト)
 - 有効
4. [保存] ボタンをタッチします。

請求書コード

請求書コードの設定


請求書コード設定が有効な場合は、ファックスの送信時に番号の入力を要求するプロンプトが表示されます。この番号が請求書コードレポートに記載されます。請求書コードレポートを確認するには、レポートを印刷するか、アプリケーションを使用してクエリを実行します。

デフォルトでは、請求コードが無効になっています。請求コードを有効にするには、次の手順を実行します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。

- [ファックス設定](#)
- [ファックス送信設定](#)
- [ファックス送信セットアップ](#)
- [請求書コード](#)

3. [\[Enable Billing Codes \(請求コードを有効化\)\]](#) 機能をタッチして、請求コードを有効にします。

 **注記：** 請求コードを無効にするには、[\[Enable Billing Codes \(請求コードを有効化\)\]](#) 機能の選択を解除し、[\[保存\]](#) ボタンをタッチした後、残りの手順をスキップします。

ユーザーが請求コードを編集できるようにするには、[\[請求書コードの編集を許可\]](#) 機能をタッチします。

4. [\[Default Billing Code \(デフォルトの請求コード\)\]](#) テキスト ボックスをタッチしてキーボードを開きます。
5. 請求コードを入力し、[\[OK\]](#) ボタンをタッチします。
6. [\[Minimum Length \(最小桁数\)\]](#) テキスト ボックスをタッチしてキーパッドを開きます。
7. 請求コードの必要最低桁の数字を入力し、[\[OK\]](#) ボタンをタッチします。
8. [\[保存\]](#) ボタンをタッチします。

ファックス受信設定

[\[ファックス受信セットアップ\]](#) メニューを使用して、次の機能を設定します。

- [ファックス受信セットアップ](#)
- [詳細なイメージ処理設定](#)
- [ファックス印刷スケジュールの有効化または無効化](#)
- [着信ファックスのブロック](#)
- [デフォルト ジョブ オプション](#)
- [用紙トレイの設定](#)

ファックス受信セットアップ


呼び出し音の音量の設定

1. [\[ホーム\]](#) 画面をスクロールし、[\[管理\]](#) ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。


- ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ファックス受信セットアップ
- 3.** [呼び出し音量] ドロップダウンメニューをタッチして、次のいずれかの呼び出し音音量設定を選択します。
- オフ
 - 低 (デフォルト)
 - 高
- 4.** [保存] ボタンをタッチして、呼び出し音音量設定を保存します。

応答するまでの呼び出し回数の設定

応答するまでの呼び出し回数の設定では、ファックス アクセサリが応答するまでに呼び出し音が鳴る回数を決定します。

 **注記：** 応答するまでの呼び出し回数のデフォルトの設定範囲は、国/地域によって異なります。応答するまでの呼び出し予想回数の範囲は、国/地域に従って制限されます。

- 1.** [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
- 2.** 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ファックス受信セットアップ
- 3.** [応答するまでの呼び出し回数] ドロップダウンメニューをタッチし、呼び出し回数 (1 ~ 5、デフォルト値は 1) をタッチします。

 **注記：** 呼び出しの検出に問題がある場合は、応答するまでの呼び出し回数を 2 に設定します。

- 4.** [保存] ボタンをタッチします。

ファックス受信速度の設定


- 1.** [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
- 2.** 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ファックス受信セットアップ

3. [Fax Receive Speed (ファックス受信速度)] ドロップダウンメニューから次のいずれかのオプションをタッチします。
 - 高速 (デフォルト) - v.34/最大 33,600 bps
 - 標準 - v.17/最大 14,400bps
 - 低速 - v.29/最大 9600bps
4. [保存] ボタンをタッチします。

呼び出し間隔の設定

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ファックス受信セットアップ
3. [呼び出し間隔] 見出しの下のボックスをタッチして、キーパッドを開きます。
4. キーパッドで呼び出し間隔の値を入力し、[OK] ボタンをタッチします。呼び出し間隔のデフォルト設定は 600 です。
5. [保存] ボタンをタッチします。

呼出し音の周波数の設定

 **注記：** デフォルトの呼出し音の周波数の周波数範囲は広いので、ほとんど調整する必要はありません。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ファックス受信セットアップ
3. [呼び出し回数] 見出しの下のボックスをタッチして、キーパッドを開きます。
4. キーパッドで呼出し音の周波数の値を入力し、[OK] ボタンをタッチします。呼出し音の周波数のデフォルト設定は 68 hz です。
5. [保存] ボタンをタッチします。

詳細なイメージ処理設定


詳細なイメージ設定を使用して、スキャンしたイメージの画質をさまざまな方法で向上させます。次の設定を調整できます。

- [鮮明度の調整](#)
- [エッジの消去](#)
- [自動カラー検出](#)
- [自動ページトリミング](#)
- [イメージの向き](#)の自動調整
- [自動トーン調整](#)

鮮明度の調整

[鮮明度] 設定を調整すると、イメージをクリアにしたり、ソフトにすることができます。たとえば、鮮明度を上げるとテキストがはっきりと表示され、鮮明度を下げると写真が滑らかに表示されます。

1. [ホーム] 画面で **[ファックス]** ボタンをタッチします。
2. 最初の画面のフィールドに情報を入力し、ファックス受信者の情報を指定します。
3. 画面下部にある **[その他のオプション]** ボタンをタッチします。
4. **[イメージ調整]** ボタンをタッチします。


 **注記：** オプションの最初のページに **[イメージ調整]** ボタンが表示されていない場合は、**[その他のオプション]** ボタンを再タッチして、次のページにスクロールします。

5. **[鮮明度]** スライダを左に動かして鮮明度を下げるか、右に動かして鮮明度を上げます。
6. **[OK]** ボタンをタッチして変更を保存します。
7. **[スタート]** ボタンをタッチしてスキャンを開始します。

エッジの消去

スキャンしたイメージのエッジをクリーニングして、黒いフチやステイブル跡などの不良を消すには、[エッジの消去] 機能を使用します。

1. [ホーム] 画面で **[ファックス]** ボタンをタッチします。
2. 最初の画面のフィールドに情報を入力し、ファックス受信者の情報を指定します。
3. 画面下部にある **[その他のオプション]** ボタンをタッチします。
4. **[エッジの消去]** ボタンをタッチします。

 **注記：** オプションの最初のページに **[エッジの消去]** ボタンが表示されていない場合は、**[その他のオプション]** ボタンを再タッチして、次のページにスクロールします。

5. 必要に応じて、**[Use inches]** (インチを使用) または **[Use millimeters]** (mm を使用) チェックボックスをオンにして単位を変更します。
6. クリーニング対象イメージのエッジに対応するフィールドをタッチして、クリーニングするページのエッジからの距離を入力します。クリーニングするそれぞれのエッジに対して、この手順を繰り返します。
7. **[OK]** ボタンをタッチして変更を保存します。
8. **[スタート]** ボタンをタッチしてスキャンを開始します。

自動カラー検出

[Color/Black] (カラー/黒) 機能を使用して、スキャンしたイメージに使用されるカラー設定を指定します。次のオプションがあります。

自動検出	プリンタでイメージをプレビューし、ページにカラーが含まれるかどうかを特定します。ページにカラーが含まれる場合、プリンタでカラーイメージが作成されます。ページにカラーが含まれない場合、プリンタでモノクロイメージまたはグレースケールイメージが作成されます。モノクロおよびグレースケールイメージのファイルサイズは、カラーイメージより小さくなります。
カラー	プリンタで常にカラーイメージが作成されます。
黒/グレー	プリンタで常にモノクロおよびグレースケールイメージが作成されます。
黒	プリンタで常にモノクロイメージが作成されますが、濃淡は表現されません。


1. **[ホーム]** 画面で **[ファックス]** ボタンをタッチします。
2. 最初の画面のフィールドに情報を入力し、ファックス受信者の情報を指定します。
3. 画面下部にある **[その他のオプション]** ボタンをタッチします。
4. **[カラー/モノクロ]** ボタンをタッチします。

 **注記：** オプションの最初のページに **[Color/Black]** (カラー/黒) ボタンが表示されていない場合は、**[その他のオプション]** ボタンを再タッチして、次のページにスクロールします。

5. オプションのリストからカラー設定を選択します。
6. **[OK]** ボタンをタッチして変更を保存します。
7. **[スタート]** ボタンをタッチしてスキャンを開始します。

自動ページトリミング

プリンタでは、スキャンしたイメージをトリミングして、原稿の用紙と同じサイズにすることができます。また、原稿の検出可能な内容のサイズに合わせて、イメージをトリミングすることもできます。

 **注記：** イメージを用紙サイズに合わせてトリミングするには、文書フィーダからスキャンするか、スキャナカバーを開いたままフラットベッドガラスからスキャンします。

1. [ホーム] 画面で **[ファックス]** ボタンをタッチします。
2. 最初の画面のフィールドに情報を入力し、ファックス受信者の情報を指定します。
3. 画面下部にある **[その他のオプション]** ボタンをタッチします。
4. **[トリミング オプション]** ボタンをタッチします。


 **注記：** オプションの最初のページに **[Cropping Options]** (トリミング オプション) ボタンが表示されていない場合は、**[その他のオプション]** ボタンを再タッチして、次のページにスクロールします。

5. 適切なトリミング オプションを選択します。
 - **[Crop to paper]** (用紙に合わせてトリミング): 原稿の用紙サイズに合わせてイメージをトリミングします。
 - **[Crop to content]** (内容に合わせてトリミング): 原稿の検出可能な内容のサイズに合わせてイメージをトリミングします。
6. **[OK]** ボタンをタッチして変更を保存します。
7. **[スタート]** ボタンをタッチしてスキャンを開始します。

イメージの向き自動調整

原稿に 100 字以上の文字が含まれる場合、プリンタではページ上側のエッジを検出できるため、スキャンしたイメージが正しい向きに配置されます。複数のページをスキャンするときに他のページに対して上下逆のページが含まれる場合、スキャンしたイメージではすべてのページが上向きになります。横向きのページが含まれる場合、ページの上側がイメージの上側になるようにプリンタでイメージが回転されます。

1. [ホーム] 画面で **[ファックス]** ボタンをタッチします。
2. 最初の画面のフィールドに情報を入力し、ファックス受信者の情報を指定します。
3. 画面下部にある **[その他のオプション]** ボタンをタッチします。
4. **[内容の向き]** ボタンをタッチします。

 **注記：** オプションの最初のページに **[内容の向き]** ボタンが表示されていない場合は、**[その他のオプション]** ボタンを再タッチして、次のページにスクロールします。


5. **[Automatically detect]** (自動検出) オプションを選択します。

6. **[OK]** ボタンをタッチして変更を保存します。
7. **[スタート]** ボタンをタッチしてスキャンを開始します。

自動トーン調整


ページごとに明暗、コントラスト、および背景のクリーンアップの設定が自動的に調整されるようにプリンタを設定できます。たとえば、原稿の一部のページが他のページよりも明るい場合、スキャンしたイメージではすべてのページの明暗がより一定したものになります。

1. **[ホーム]** 画面で **[ファックス]** ボタンをタッチします。
2. 最初の画面のフィールドに情報を入力し、ファックス受信者の情報を指定します。
3. 画面下部にある **[その他のオプション]** ボタンをタッチします。
4. **[イメージ調整]** ボタンをタッチします。

 **注記：** オプションの最初のページに **[イメージ調整]** ボタンが表示されていない場合は、**[その他のオプション]** ボタンを再タッチして、次のページにスクロールします。


5. **[Automatic Tone]** (自動トーン) チェック ボックスをタッチしてオンにします。
6. **[OK]** ボタンをタッチして変更を保存します。
7. **[スタート]** ボタンをタッチしてスキャンを開始します。

ファックス印刷スケジュールの有効化または無効化

 **注記：** ファックス印刷のスケジュール設定を有効にする前に、スケジュールを作成する必要があります。

1. **[ホーム]** 画面をスクロールし、**[管理]** ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ファックス印刷スケジュール
3. **[ファックス印刷スケジュールの使用]** オプションをタッチします。
4. **[Schedule (スケジュール)]** ボタンをタッチします。
5. **[ファックス印刷モード]** をタッチします。
6. **[毎週のファックス イベントをスケジュール]** 画面を開くには、緑色のプラス記号をタッチします。
7. スクロールして、**[ファックス印刷モード]** をタッチします。
8. **[イベント タイプ]** 見出しの下でのオプションを選択します。

- [Print incoming faxes](#) (受信したファックスをプリント)
 - [Store incoming faxes](#) (受信したファックスを保存)
9. [時刻] フィールドをタッチしてキーボードを開き、受信ファックスを印刷または保存する予定の時間と分の値を入力します。
 10. ファックス印刷スケジュールを適用する日の [[イベントの日](#)] ボタンをタッチします。
 11. [OK] ボタンをタッチします。
 12. [保存] ボタンをタッチして、ファックス印刷スケジュールを保存します。
 13. [保存] ボタンをタッチして、ファックス印刷スケジュールを有効にします。


 **注記：** 1日に1つのファックス印刷スケジュールしか適用できません。

着信ファックスのブロック

ファックスのブロック設定を使用して、ブロック対象電話番号のリストを作成します。ブロック対象の電話番号から送信されたファックスを受信した場合、ファックスは印刷されず、すぐにメモリから削除されます。

ブロック対象ファックスリストの作成

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - [ファックス設定](#)
 - [ファックスの受信設定](#)
 - [ブロックするファックス番号](#)
3. [[ブロックするファックス番号](#)] テキスト ボックスをタッチして、キーボードを表示します。
4. 番号を入力し、[OK] ボタンをタッチします。
5. 緑色の矢印をタッチして、その番号を [[ブロックするファックス番号](#)] リストに移動します。

 **注記：** ブロック対象のファックス番号を追加するには、ステップ 3 ~ 5 を繰り返します。

6. [保存] ボタンをタッチして、ブロック対象のファックス番号リストを保存します。

ブロック対象ファックスリストから電話番号の削除


1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。

- ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - ブロックするファックス番号
3. [ブロックするファックス番号] リストから削除する番号をタッチし、[削除] ボタンをタッチした後、[保存] ボタンをタッチします。
 4. [OK] ボタンをタッチして、番号の削除を確認します。
 5. ステップ 3 と 4 を繰り返して [ブロックするファックス番号] リストからさらに番号を削除するか、[すべて削除] ボタン、[保存] ボタンの順にタッチして [ブロックするファックス番号] リストから一度にすべての番号を削除します。

デフォルト ジョブ オプション

設定には、次のデフォルト ジョブ オプションを使用できます。

- 通知
- スタンプ済み受信ファックス
- 用紙の大きさに合わせる
- 用紙の選択
- 排紙ビン
- 面

 **注記：** デフォルト ジョブ オプション設定は、すべてのファックス方式 (アナログ、LAN、インターネット ファックス) で共有されます。

通知

この設定では、受信ファックスのファックス コール レポートをいつ印刷するかを指定します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 通知
3. 次のいずれかの通知設定をタッチします。

- Do not notify (通知しない) (デフォルト)
 - Notify when job completes (ジョブ完了時に通知)
 - Notify only if job fails (ジョブ失敗時のみ通知)
4. [印刷] オプションをタッチして印刷された通知を受け取るか、[電子メール] オプションをタッチして電子メールによる通知を受け取ります。
 5. [印刷] オプションを選択した場合は、[保存] ボタンをタッチして通知設定を完了します。
または
[電子メール] オプションを選択した場合は、キーボードを使用して電子メール アドレスを入力します。次に、[保存] ボタンをタッチして、通知設定を完了します。
 6. [Include Thumbnail (サムネイルを含める)] チェック ボックスをタッチして、サムネイル画像と通知を含めます。

受信ファックス (着信ファックス) のスタンプ

受信ファックスのスタンプ設定では、着信したファックスへのスタンプを有効または無効にします。スタンプでは、着信したページごとに受信した日付、時刻、電話番号、およびページ番号が印刷されます。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - スタンプ済み受信ファックス
3. スタンプを無効にするには、[無効] オプション (デフォルト) をタッチし、有効にするには、[有効] オプションをタッチします。
4. [保存] ボタンをタッチします。

ページに収める設定

ファックスを印刷するページサイズを選択するときは、利用可能なサイズから目的のサイズに最も近いページサイズが自動的に決定されます。ページに収める設定が有効になっており、受信した画像がそのページサイズよりも大きい場合は、画像がページに収まるように縮小されます。この設定が無効の場合、ページよりも大きい着信画像はページをまたいで分割されます。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。

- ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 用紙の大きさに合わせる
3. ページに収める設定を有効にするには、[有効] オプション (デフォルト) をタッチし、無効にするには、[無効] オプションをタッチします。
 4. [保存] ボタンをタッチします。

用紙の選択の設定

ファックス用紙が給紙されるトレイを指定するには、「用紙の選択」機能を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 用紙の選択
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - 自動 (デフォルト)
 - トレイ 1
 - トレイ 2
4. [保存] ボタンをタッチします。

排紙ビンの設定

ファックスの出力に使用する排紙ビンを設定するには、「排紙ビン」機能を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 排紙ビン

3. 受信ファックスに使用するビンをタッチします。
4. [保存] ボタンをタッチします。

印刷面の設定

ファックスの片面出力または両面出力を指定するには、「印刷面」機能を使用します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 面
3. 次のいずれかのオプションをタッチします。
 - 片面 (デフォルト)
 - 両面
4. [保存] ボタンをタッチします。

用紙トレイの設定

給紙トレイの設定では、ファックスの印刷用紙を供給するプリンタ給紙トレイを選択します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - ファックス設定
 - ファックスの受信設定
 - デフォルト ジョブ オプション
 - 用紙の選択
3. ファックスの受信に使用するトレイの名前をタッチします。
4. [保存] ボタンをタッチして、用紙トレイ選択の値を保存します。

ファックスのアーカイブと転送


指定した電子メールアドレスに対するすべての受信ファックス、すべての送信ファックス、またはその両方のアーカイブ コピーを保存するには、ファックス アーカイブ機能を使用します。

すべての受信ファックス、すべての送信ファックス、またはその両方を別のファックス番号に転送するには、ファックス転送機能を使用します。ファックスの転送が有効になっている場合は、受信側でファックスが印刷され (ファックス印刷が無効になっている場合は、印刷が有効になったときにファックスが印刷され)、ファックス転送先番号にもファックスが転送されます。

これらの機能を有効にして設定するには、HP 内蔵 Web サーバを使用します。

ファックス アーカイブの有効化

1. Web ブラウザを開いて、アドレス欄にプリンタの IP アドレスを入力します。
2. HP 内蔵 Web サーバが開いたら、**[ファックス]** タブをクリックします。
3. **[ファックスのアーカイブと転送]** リンクをクリックします。
4. **[ファックスのアーカイブ]** 領域で、**[Fax Archiving]** (ファックスのアーカイブ) ドロップダウンリストからオプションを選択します。
5. **[Type of Fax Job to Archive]** (アーカイブするファックスのジョブの種類) ドロップダウンリストからオプションを選択します。
6. **[Archive Destination]** (アーカイブ先) ドロップダウン リストからオプションを選択します。

 **注記：** 電子メールをアーカイブする場合は、SMTP サーバー情報を設定する必要があります。

7. ページの一番下にある **[適用]** ボタンをクリックします。

ファックス転送の有効化

1. Web ブラウザを開いて、アドレス欄にプリンタの IP アドレスを入力します。
2. HP 内蔵 Web サーバが開いたら、**[ファックス]** タブをクリックします。
3. **[ファックスのアーカイブと転送]** リンクをクリックします。
4. **[ファックス転送]** 領域で、**[ファックスの転送の有効化]** チェック ボックスをオンにします。
5. **[Type of Fax Job to Forward]** (転送するファックスのジョブの種類) ドロップダウン リストからオプションを選択します。
6. **[ファックス転送番号]** フィールドに、ファックス番号を入力します。
7. ページの一番下にある **[適用]** ボタンをクリックします。

ポーリング

ファックス ポーリングは、あるファックス装置から別のファックス装置に対して特定のドキュメントに関する要求を送信できる機能です。この処理を行うには、両方のファックス装置でポーリング機能を有効にする必要があります。ポーリングをコントロールパネルで設定または使用するには、HP 内蔵 Web サーバを通じてポーリングを有効にする必要があります。

EWS を通じてポーリングの有効化

1. Web ブラウザを開いて、アドレス欄にプリンタの IP アドレスを入力します。
2. HP 内蔵 Web サーバが開いたら、**[一般]** タブをクリックします。
3. **[Available Applications]** (使用可能なアプリケーション) 領域で、**[ポーリング]** を選択し、**[ホーム]** 画面の領域にドラッグします。
4. ページの一番下にある **[適用]** ボタンをクリックして、コントロールパネルにポーリング機能を反映します。

ポーリング受信の開始

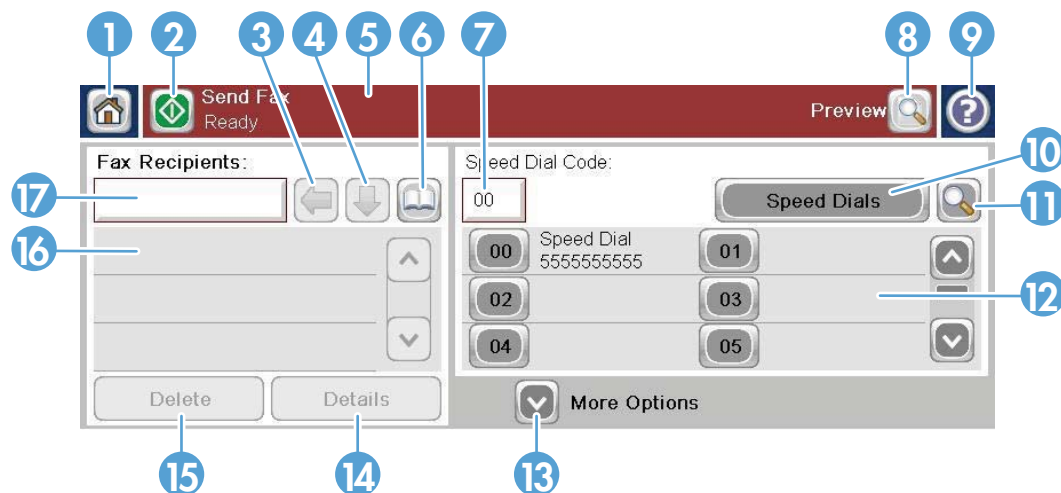
一部のファックス機では、別のファックス機がファックスの送信を要求するまでファックスを保持できます。あるファックス機が、ファックスを保持している別のファックス機をポーリングし、保持されているファックスを送信するよう要求する動作は、ポーリング受信として知られています。

1. コントロールパネルの **[ファックス]** アイコンをタッチして、**[ファックス]** 画面を表示します。
2. **[その他のオプション]** をタッチして、オプション画面を表示します。
3. 2 ページにスクロールします。
4. **[FAX ポーリング]** をタッチして、**[FAX ポーリング]** 画面を表示します。
5. テキストボックスをタッチして、キーボードを表示します。
6. キーパッドを使用してポーリング受信番号を入力し、**[スタート]** をタッチします。
7. 入力した番号にダイアルされます。保存されたファックスがダイアル先のファックス機で待機中の場合、そのファックスはこのプリンタに送信され、印刷されます。ファックスが待機中ではない場合は、「**No Fax is Available**」(ファックスを使用できません) というメッセージが表示されます。ファックス機でポーリング機能がサポートされていない場合は、「**Poll Invalid**」(ポーリングが無効です) というエラーメッセージが表示されます。

ファックスを使用する


ファックス機能画面

ファックス機能画面はファックスの送信に使用します。この画面にアクセスするには、コントロールパネルのホーム画面に表示されている [ファックス] アイコンを押します。



1	ホーム キー - メイン画面に戻る
2	Send Fax (ファックス送信) - 押してファックスを受信者に送信
3	バックスペース/番号を削除
4	番号を受信者リストに入力
5	ステータス メッセージ バー
6	ファックス アドレス帳を表示
7	番号による短縮ダイアルの検索
8	画像プレビュー
9	ヘルプ - タッチしてヘルプの選択を表示
10	Speed Dial (短縮ダイアル) - 編集キー
11	短縮ダイアル - 名前で検索
12	短縮ダイアル リスト (スクロールして他のエントリを表示)
13	その他のオプション - その他のファックス送信オプションを表示または設定する場合にタッチ
14	押して、選択した受信者の詳細を表示
15	押して、選択した受信者をリストから削除
16	ファックス受信者
17	ファックス番号 - キーボードをタッチするか、コントロールパネルのキーパッドから入力 ¹

¹ [ファックス番号] をタッチすると、ポップアップ画面が表示されます。この画面には、PIN を非表示にする特殊文字の角かっこ ([]) を追加するための [PIN] ボタンと、2 秒間のポーズを表すカンマを挿入する [停止] ボタンが含まれています。

 **注記：** PIN とは、テレフォンカードの番号のことであり、ファックス文書のセキュリティ用ではありません。




ステータス メッセージバー

ファックスの送受信中は、タッチスクリーンの上部にあるステータスバーにステータス情報が表示されます。このステータスには、[印字可]、[Receiving call] (呼び出しの受信中)、[送信ページ] などの情報が表示されます。

ファックスの送信

ファックスを送信するには、次の基本的な 3 つの方法のいずれかで番号を入力します。

- 手動で番号を入力する。
- 短縮ダイヤルを使用して番号を入力する。
- ファックスアドレス帳を使用して番号を入力する。

 **注記：** ファックスの送信に関するオンライン情報については、画面上の [?] をタッチしてヘルプメニューにアクセスし、ヘルプトピックのリストの下にある [ファックス] メニューをタッチします。

ファックス番号に使用可能な文字

- 数字 (0 ~ 9)
- #
- *
- ,
- 空白文字
- []

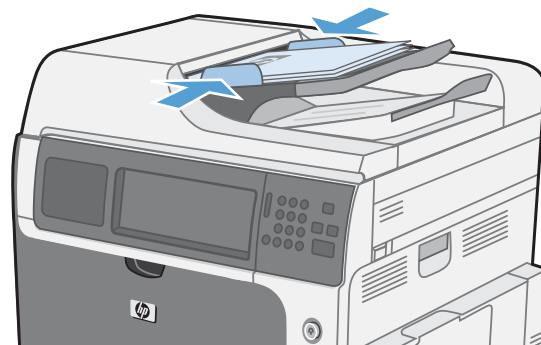
- ()
- -
- +
- X
- P

数字キーパッドから電話番号を入力する場合は、[Pause] (ポーズ) ボタンを使用してポーズを入れたり、市外局番、PBX システムの外線発信番号 (通常は 9 または 0)、長距離通話の局番などを入れたりします。カンマ (,) を入力すると、2 秒間のポーズを挿入できます。ファックスの局番設定がダイヤル局番を自動的に含めるように設定されている場合、ダイヤル局番を入力する必要はありません。

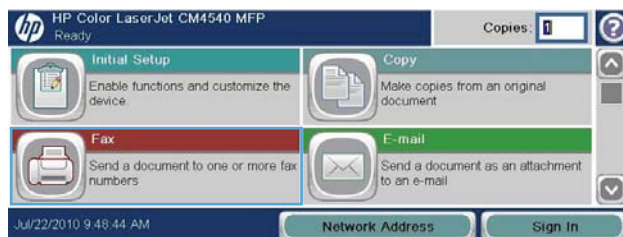
注記： ファックスを送信するときは、最初にスキャンが行われてメモリに保存されます。ドキュメント全体を保存した後に送信され、メモリから削除されます。通話中または応答がないために送信できなかったファックスは、メモリから削除されます。[通話中の場合のリダイヤル] または [無応答時のリダイヤル回数] 機能が設定されている場合、再試行がすべて失敗するまで、またはファックスが正常に送信されるまでファックスは削除されません。

手動番号入力によるファックス送信

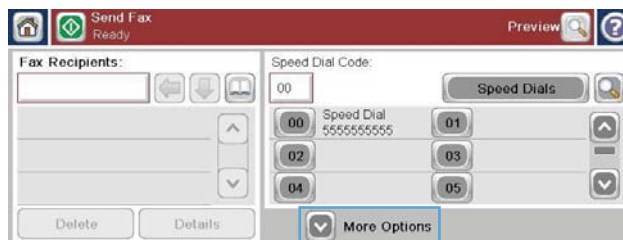
1. 自動ドキュメント フィーダ (ADF) またはスキャナのガラスの上にドキュメントを置きます。



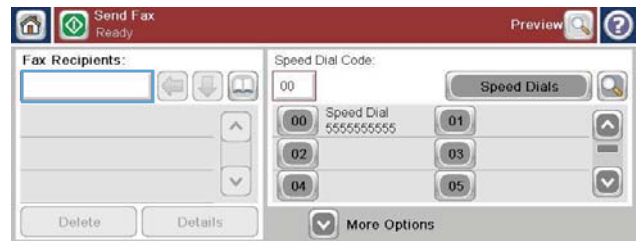
2. [ホーム] 画面の [ファックス] ボタンをタッチします。ユーザー名とパスワードの入力が要求されることがあります。



3. [その他のオプション] ボタンをタッチします。設定が原稿の設定と一致していることを確認します。すべての設定が完了したら、上向き矢印をタッチしてメインの [ファックス] 画面までスクロールします。



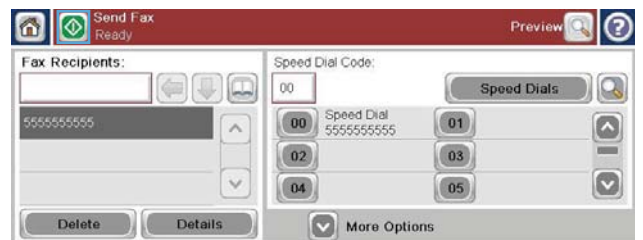
4. [ファックス番号] ボックスをタッチして、キーパッドを開きます。




5. キーパッドを使用して電話番号を入力し、[OK] ボタンをタッチします。



6. [スタート] アイコンをタッチして、ファックスを送信します。タッチスクリーンの [スタート] アイコンをタッチしても、コントロールパネルの緑色の [スタート] ボタンを押してもかまいません。




短縮ダイヤルを使用してファックスを送信するには

 **注記：** 短縮ダイヤルを使用してファックスを送信する前に、短縮ダイヤルを作成する必要があります。

1. 自動ドキュメントフィーダ (ADF) またはスキャナのガラスの上にドキュメントを置きます。
2. ホーム画面の [ファックス] ボタンをタッチします。
3. 使用する短縮ダイヤル名の [短縮ダイヤル] 番号をタッチして、[OK] ボタンをタッチします。[ファックス] 画面の [ファックス番号] セクションに、短縮ダイヤル名が表示されます。
4. [スタート] ボタンをタッチして、ファックスを送信します。タッチスクリーンの [スタート] ボタンをタッチしても、コントロールパネルの緑色の [スタート] ボタンを押してもかまいません。

名前による短縮ダイヤルリストの検索

この機能を使用すると、既存の短縮ダイヤルを名前で検索できます。

 **注記：** 短縮ダイヤルの固有の名前がわからない場合は、1文字入力してからリストの任意のエントリを選択します。たとえば、N で始まる短縮ダイヤル名を表示するには、「N」と入力します。一致するエントリが存在しない場合は、メッセージが表示されてから、文字 N に最も近いエントリが表示されます。

1. ホーム画面の [ファックス] ボタンをタッチします。

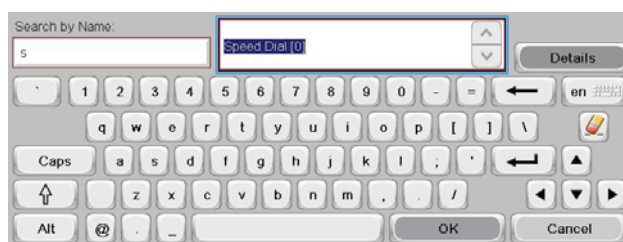
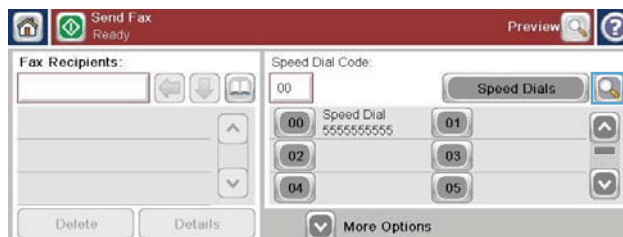
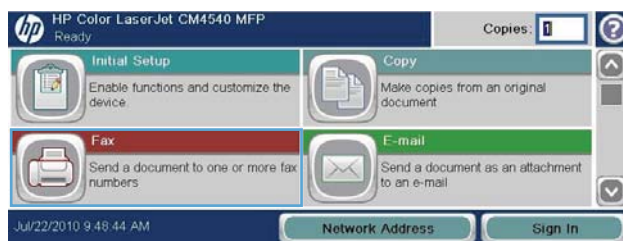
2. [短縮ダイヤル検索] ボタンをタッチします。このボタンは、虫眼鏡のような外観で、[短縮ダイヤル] ボタンの右側にあります。

3. 検索する短縮ダイヤル名の最初の数文字を入力します。一致するものが見つかったら、検索画面の一番上のリストに表示されます。必要に応じて、スクロールしてすべてのエントリを表示するか、さらに数文字を入力して検索を絞り込みます。

4. 適切な名前をリストから選択し、[OK] ボタンをタッチします。メインのファックス画面の短縮ダイヤルリストに、番号リスト内で選択したエントリが表示されます。

5. 短縮ダイヤル番号をタッチして受信者リストに追加します。

6. 必要に応じて、さらに名前を検索します。



ファックス アドレス帳の番号を使用したファックスの送信

ファックス アドレス帳機能を使用すると、プリンタにファックス番号を保存できます。

また、Microsoft® Exchange 連絡先リストをプリンタ上で有効にしてファックス アドレス帳に表示することもできます。

1. コントロールパネルの [ファックス] アイコンをタッチして、[ファックス] 画面を表示します。
2. [アドレス帳] アイコンをタッチして、[アドレス帳] 画面を表示します。
3. ドロップダウンメニューからファックス アドレス帳ソースを選択します。
4. 名前をタッチしてハイライトし、右矢印アイコンをタッチして、ハイライトされた名前を [ファックス受信者] セクションに移動します。

5. [OK] ボタンをタッチして、[ファックス] 画面に戻ります。
6. [スタート] ボタンをタッチして、ファックスを送信します。タッチスクリーンの [スタート] ボタンをタッチしても、コントロールパネルの緑色の [スタート] ボタンを押してもかまいません。


ファックスのキャンセル

現在のファックス送信のキャンセル

- ▲ ファックスの [ステータス] 画面で [ジョブのキャンセル] ボタンをタッチします。
または
コントロールパネルで、赤の [停止] ボタンをタッチします。
「ジョブが中断されました。」というメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをタッチします。
[OK] ボタンをタッチしてファックス ジョブのキャンセルを完了し、ファックス画面に戻ります。

保留中のファックス送信のキャンセル

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[ジョブ ステータス] ボタンをタッチします。
2. [ジョブ ステータス] 画面で、キャンセルするファックス ジョブをタッチします。
3. [ジョブのキャンセル] ボタンをタッチします。
4. 「このジョブをキャンセルしますか?」というメッセージが表示された画面で [○] ボタンをタッチします。

 **注記：** キャンセル操作は、完了までに 30 秒かかる場合があります。

ファックスの受信

ファックス アクセサリでファックスが受信されると、印刷する前にメモリに保存されます。ファックス全体を保存した後に印刷され、メモリから削除されます。ファックス印刷のスケジュール設定が有効でない限り、ファックスは受信時に印刷されます。ファックス印刷のスケジュール設定を有効にすると、受信したファックスはメモリに保存され、印刷されません。ファックス印刷のスケジュール設定を無効にすると、保存されているすべてのファックスが印刷されます。

ファックス受信のデフォルト設定を変更して、ファックスを受信する方法を変更できます。このような設定には次のオプションが含まれています。

- 応答するまでの呼び出し回数の選択
- 日付、時刻、およびページ番号のファックスへの印刷 (スタンプ)
- 給紙トレイと排紙ビンの選択
- 別の番号へのファックスの転送
- 特定の番号からのファックスのブロック

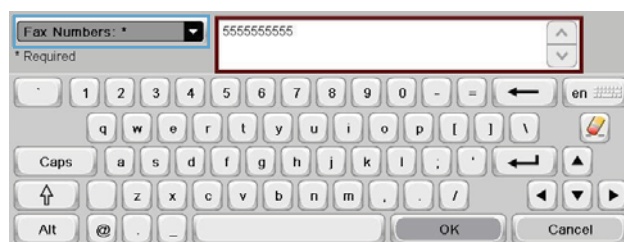
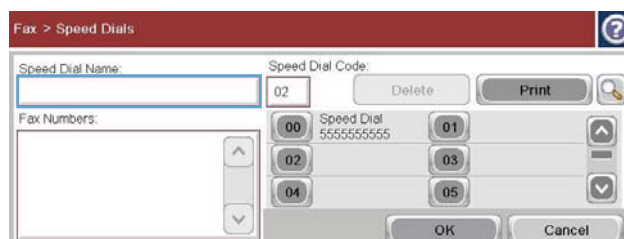
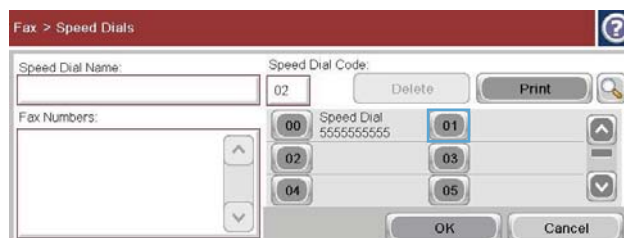
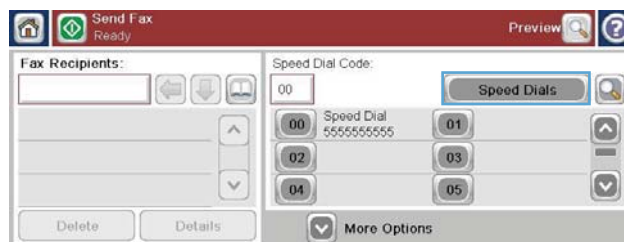
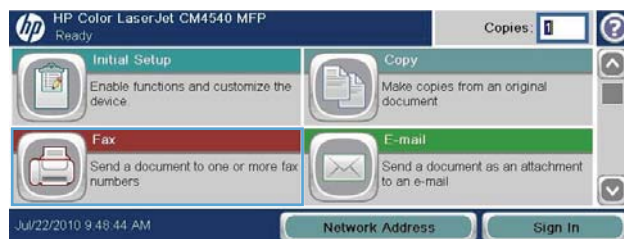
- ファックス印刷のスケジュール設定 (メモリ ロック)
- 通知設定 (HP Color LaserJet CM3530 MFP シリーズ)

短縮ダイヤル リストの作成と削除

短縮ダイヤルを使用すると、1つの番号または番号のグループに短縮ダイヤル名を割り当てることができ、短縮ダイヤル名を選択することによってその番号にファックスを送信できます。

短縮ダイヤル リストの作成


1. [ホーム] 画面をスクロールし、[ファックス] ボタンをタッチします。
2. [短縮ダイヤル] ボタンをタッチして、[短縮ダイヤル] 画面を表示します。
3. 短縮ダイヤル番号をタッチします。
4. [短縮ダイヤル名] ボックスをタッチして、キーボードを表示します。
5. 短縮ダイヤルの名前を入力します。
6. [短縮ダイヤル名] ボックスで下向き矢印をタッチして、ドロップダウンメニューを開きます。

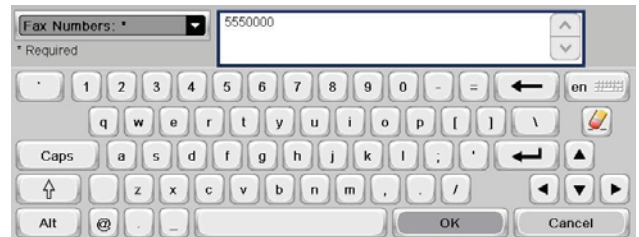


7. [ファックス番号] オプションをタッチします。

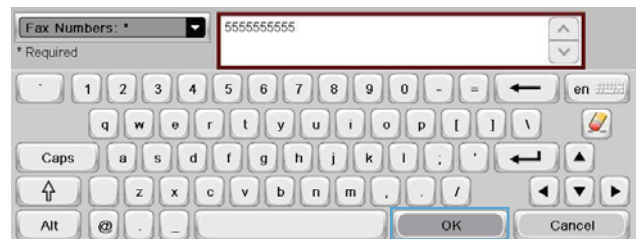


8. [短縮ダイヤル名] にファックス番号を入力します。

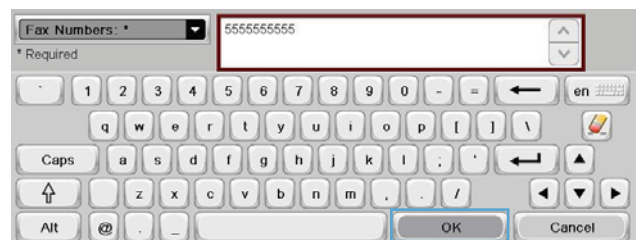
注記: 短縮ダイヤル名のファックス番号をさらに入力するには、画面上で前に入力したファックス番号の最後の数字の右側をタッチします。カーソルが表示されたら、Enter キー  をタッチして、カーソルを次の行に移動します。この手順を繰り返して、短縮ダイヤル名のすべての番号を入力します。



9. [OK] ボタンをタッチします。名前およびファックス番号が [短縮ダイヤル番号] の横に表示されます。

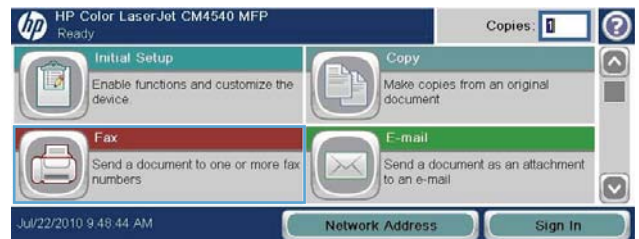


10. 終了したら、[OK] ボタンを押して、[ファックス] 画面に戻ります。

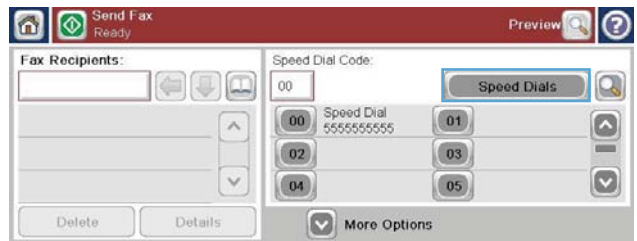


短縮ダイヤルリストの削除

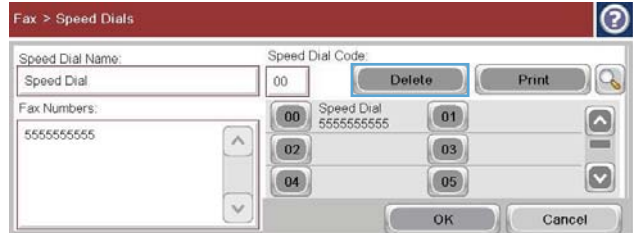
1. [ホーム] 画面をスクロールし、[ファックス] ボタンをタッチします。



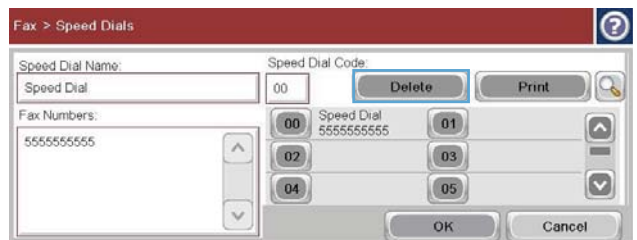
2. [短縮ダイヤル] ボタンをタッチして、[短縮ダイヤル] 画面を表示します。



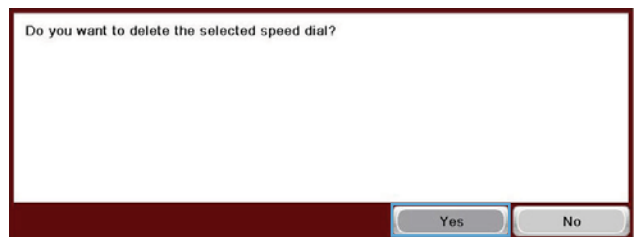
3. 削除するリストの短縮ダイヤル番号をタッチします。



4. [削除] ボタンをタッチします。



5. [○] ボタンをタッチして、短縮ダイヤルリストの削除を確認し、[ファックス] 画面に戻ります。

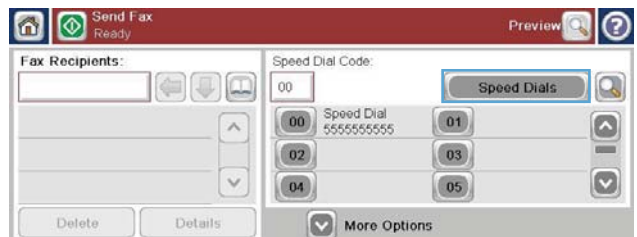


短縮ダイヤルリストからの1つの番号の削除

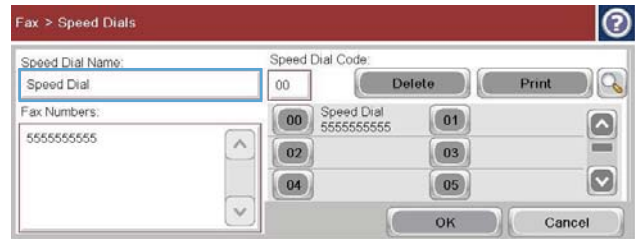
1. [ホーム] 画面をスクロールし、[ファックス] ボタンをタッチします。



2. [短縮ダイヤル] ボタンをタッチして、[短縮ダイヤル] 画面を表示します。



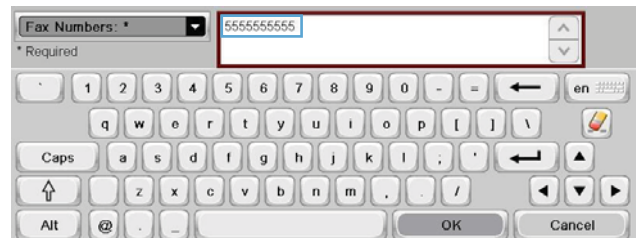
3. リストの**短縮ダイヤル**番号をタッチして、キーボードを開きます。



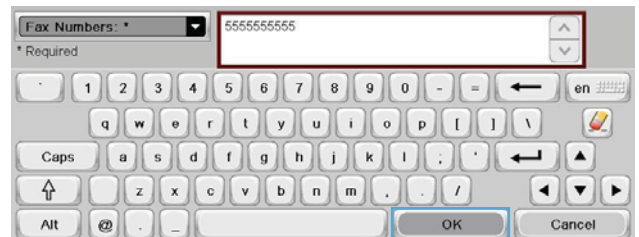
4. [短縮ダイヤル名] ボックスで下向き矢印をタッチして、ドロップダウンメニューを開き、[ファックス番号] オプションをタッチします。



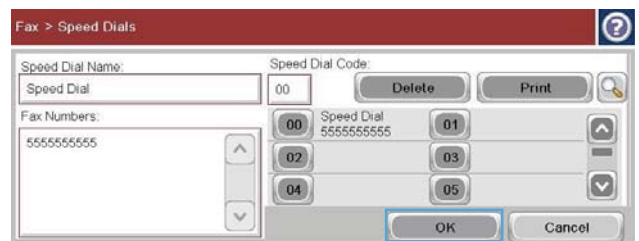
5. ファックス番号のリストをスクロールして、削除するファックス番号の最後の桁の右側の画面をタッチします。Backspace キーを使用して、ファックス番号を削除します。



6. [OK] ボタンをタッチして、[短縮ダイヤル] 画面に戻ります。

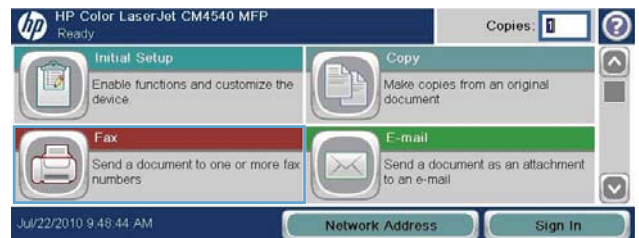


7. [OK] ボタンをタッチして、[ファックス] 画面に戻ります。

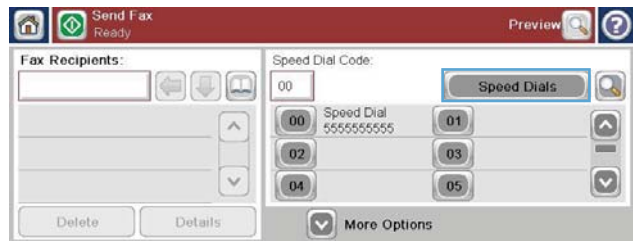


既存の短縮ダイヤルリストへの番号の追加

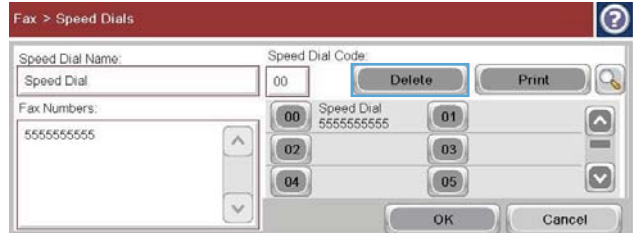
1. [ホーム] 画面をスクロールし、[ファックス] ボタンをタッチします。



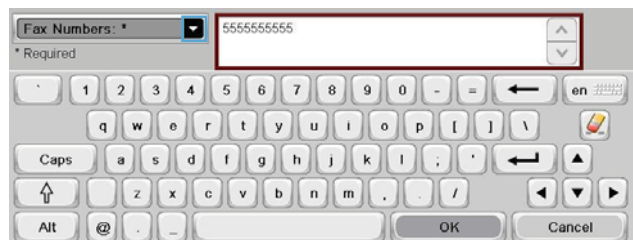
2. [短縮ダイヤル] ボタンをタッチして、[短縮ダイヤル] 画面を表示します。



3. 編集するリストの短縮ダイヤル番号をタッチします。



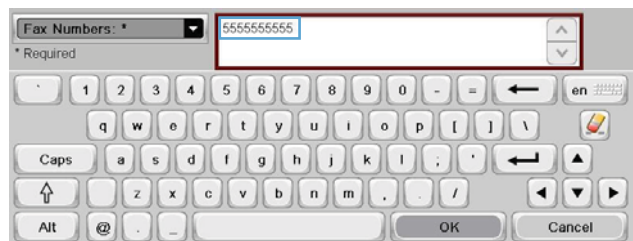
4. [短縮ダイヤル名] ボックスで下向き矢印をタッチして、ドロップダウンメニューを開きます。



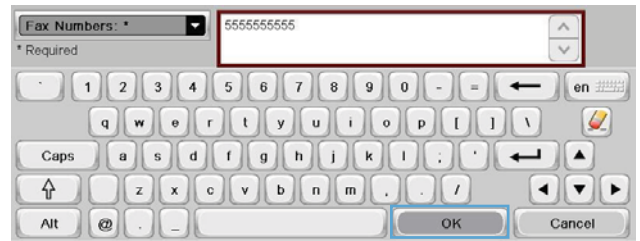
5. [ファックス番号] 項目をタッチします。



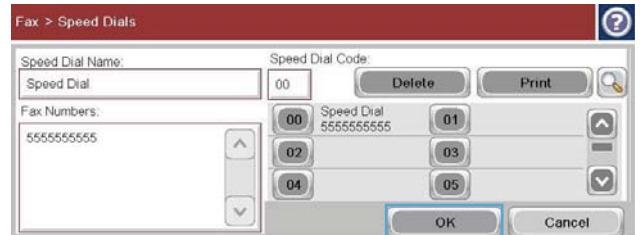
6. 短縮ダイヤル名のファックス番号を追加するには、画面上でリスト末尾にあるファックス番号の最後の数字の右側をタッチします。カーソルが表示されたら、Enter キー ← をタッチして、カーソルを次の行に移動した後、ファックス番号を入力します。



7. [OK] ボタンをタッチして、[短縮ダイヤル] 画面に戻ります。



8. [OK] ボタンをタッチして、[ファックス] 画面に戻ります。




音声電話と再試行

ファックスコール レポート

ファックス コール レポートは、[デフォルト ジョブ オプション] または [その他のオプション] メニューで通知機能が有効になっている場合に印刷されます。

ファックスのすべての試行が終了すると、送信されたファックスに関するファックス コール レポートが印刷されます。このレポートには、ファックス ジョブ ログ ID が記載され、最後の試行結果が印刷されます。

ファックス コール レポートには音声電話と想定された電話についての情報は印刷されません。詳細なファックス コール レポートを確認するには、[トラブルシューティング] メニューでログを選択してください。

 **注記：** ファックス コール レポートには、最後の試行に関するジョブ番号だけが記載されます。これらのレポートをメニューから手動で印刷する場合、直前の呼び出しが最後の試行でなく、音声電話でもない場合、ジョブ番号は 0 になります。

ファックス使用状況ログ

音声電話と想定された電話は、デフォルトではファックス使用状況ログに含まれません。すべてのリダイヤルが使用された後か、ファックスが正常に送信された後に、最後の試行だけがファックス使用状況ログに記録されます。

T.30 レポート

音声電話と想定された電話では、T.30 レポートは印刷されません。再試行については、すべてについて T.30 レポートが印刷されます。

ファックス印刷のスケジュール設定 (メモリ ロック)

いつファックスを印刷するかを指定するには、ファックス スケジュール設定機能を使用します。次のファックス印刷モードを選択できます。

- 全受信ファックスを保存
- 全受信ファックスを印刷
- ファックス印刷スケジュールの使用


[全受信ファックスを保存] 機能を選択すると、すべての受信ファックスがメモリに保存され、印刷されません。メモリに保存されているファックス ジョブには、[デバイス メモリから開く] メニューを使用してアクセスできます。このメニューを使用すると、ジョブをメモリに保存中に印刷したり削除したりできます。この機能の詳細については、プリンタのユーザ ガイドの [ジョブ取得] メニューに関する説明を参照してください。

 **注記：** [ファックス印刷] メニューで [全受信ファックスを印刷] モードに変更することによって、保存されている取得ファックスにアクセスできます。

[全受信ファックスを印刷] モードを選択すると、すべての受信ファックスが印刷されます。メモリに現在保存されているファックスも印刷されます。

[ファックス印刷スケジュールの使用] モードを選択すると、ファックス印刷スケジュールに従ってファックスが印刷されます。ファックス印刷のスケジュールは、1 日中 (24 時間) ロックアウトするようにも、特定の時間だけロックアウトするようにも設定できます。ロックアウト時間は 1 つしか設定できませんが、日数にかかわらず適用できます。ロックアウト時間は、[ファックス印刷スケジュール] メニューで設定します。

スケジュールに 1 つのイベント タイプだけを追加すると、プリンタは、その 1 つのイベント タイプに基づいて [全受信ファックスを保存] または [全受信ファックスを印刷] として動作します。つまり、[Single Store Event] (単一保存イベント) によってデバイスで [全受信ファックスを保存] が機能し、[Single Print Event] (単一印刷イベント) によって [全受信ファックスを印刷] が機能します。

 **注記：** ロックアウト時間が終了すると、ロックアウト時間中に受信および保存されたファックスが自動的に印刷されます。

VoIP ネットワーク経由でのファックスの使用

VoIP テクノロジはアナログ電話信号をデジタル ビットに変換します。このデジタル ビットはインターネット上でやり取りされるパケットにまとめられます。パケットは、宛先またはその手前で再びアナログ信号に変換されて送信されます。

インターネット上での情報の送信はアナログではなくデジタルで行われます。そのため、ファックス送信に関してアナログの公衆交換電話網 (PSTN) の場合とは異なるファックス設定を必要とする、さまざまな制約があります。ファックスはタイミングと信号の品質に大きく依存しているため、ファックスの送信は VoIP 環境の影響を強く受けます。

HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 500 を VoIP サービスに接続する場合は、次のように設定を変更することをお勧めします。

- V.34 モード (高速) に設定し、エラー訂正モード (ECM) をオンにしてファックスを起動します。V.34 プロトコルは VoIP ネットワークへの調整に必要な送信速度の変更に対応します。
- ファックスを V.34 に設定した結果、エラーまたは再試行が頻発する場合は、V.34 をオフにし、速度を [標準] (14,400 bps) に設定します。
- エラーと再試行が続く場合、ファックス速度を低く設定します。一部の VoIP システムはファックスに関連付けられている高い信号レートを処理できない場合があります。そこで、最大ボーレートを 9,600 bps (低速) に設定します。
- まれにエラーが続く場合があります。その場合は、ファックスの ECM をオフにします。こうすると画像の品質が低下する可能性があります。この設定を使用する前に、ECM をオフにした状態の画像品質を確認してください。ECM をオフにするとエラーが発生しなくなる場合は、ファックス速度を 14,400bps に設定して送信速度を高めます。このようにすると、エラーが頻発しなくなる可能性があります。
- 上記の設定変更を行っても VoIP ファックスの信頼性が向上しない場合、VoIP の提供元に連絡してサポートを受けてください。

ファックスに関する問題を解決する

- [ファックスは正しく設定されていますか？](#)
- [ファックス アクセサリのステータスの確認](#)
- [ファックス機能が動作していない](#)
- [全般的なファックスの問題](#)
- [ファックス受信に関する問題](#)
- [ファックス送信に関する問題](#)
- [エラー コード](#)
- [ファックス エラー メッセージ](#)
- [ファックス レポート](#)
- [サービス設定](#)
- [ファームウェアのアップグレード](#)


ファックスは正しく設定されていますか？

次のチェックリストを使用して、ファックスに関する問題の発生原因を突き止めてください。


- **ファックス アクセサリに付属の電話線を使用していますか？** このファックス アクセサリは、付属の電話線を使用して RJ11 仕様および機能仕様への準拠がテストされています。その他の電話線は使用しないでください。アナログ ファックス アクセサリにはアナログの電話線が必要です。また、アナログの電話接続も必要です。
- **ファックス/電話線コネクタがファックス アクセサリのソケットに接続されていますか？** 電話ジャックがソケットにしっかりと接続されていることを確認してください。コネクタは「カチッ」と音がするまでソケットに差し込む必要があります。
- **壁の電話ジャックは正常に機能していますか？** 壁のジャックに電話を接続して、ダイアルトーンが聞こえることを確認してください。ダイアルトーンが聞こえて、電話をかけることができますか？

どのような種類の電話回線を使用していますか？

- **専用回線：** ファックスの送受信用に標準的なファックス/電話番号が割り当てられています。

 **注記：** 電話回線はプリンタ ファックス専用とし、他の種類の電話装置と共有しないでください。たとえば、警備会社への通知に電話回線を使う警報システムなどとの回線の共有は避けます。

- **PBX システム：** ビジネス環境の電話システム。標準的な家庭用電話とファックス アクセサリではアナログ電話信号を使用します。一部の PBX システムはデジタルであるため、ファックス アクセサリと互換性がない場合があります。ファックスを送受信するには、標準的なアナログ電話回線に接続する必要があります。
- **ロールオーバー回線：** 最初に着信する回線が通話中の場合に、新たにかかってきた電話を次の使用可能な回線に「ロールオーバー」する電話システム機能。最初に着信する電話回線にファックス アクセサリを接続してください。ファックス アクセサリは、応答するまでの呼び出し回数設定で設定されている回数だけ呼び出し音が鳴った後に電話に応答します。

 **注記：** ロールオーバー回線では、ファックス アクセサリのファックス受信機能で問題が発生する場合があります。この製品でのロールオーバー回線の使用はお勧めできません。

サージ保護装置を使用していますか？

壁のジャックとファックス アクセサリ間でサージ保護装置を使用すると、電話線を通る電流からファックス アクセサリを保護できます。このような装置が原因となって電話信号の品質が低下し、ファックス通信に問題が発生する場合があります。ファックスの送受信に問題があり、このような装置を使用している場合は、壁の電話ジャックにファックス アクセサリを直接接続して、問題の原因がサージ保護装置であるかどうかを確認してください。

電話会社が提供する音声メッセージ サービスまたは留守番電話を使用していますか？

メッセージ サービスの呼び出し回数設定がファックス アクセサリの呼び出し回数設定よりも少ない場合は、メッセージ サービスが呼び出しに応答するため、ファックス アクセサリでファックスを受信できません。ファックス アクセサリの呼び出し回数設定がメッセージ サービスの設定よりも少ない場合は、ファックス アクセサリがすべての呼び出しに応答するため、呼び出しがメッセージ サービスに転送されません。

電話回線に割り込み通話機能はありますか？

ファックス電話回線で割り込み通話機能がアクティブになっていると、割り込み通知によって進行中のファックス コールが中断され、通信エラーが発生する場合があります。ファックス電話回線の割り込み通話機能がアクティブではないことを確認してください。


ファックス アクセサリのステータスの確認

アナログ ファックス アクセサリが機能していないと思われる場合は、[設定ページ レポート](#)を印刷してステータスを確認します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[\[管理\]](#) ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。

- レポート
- 設定/ステータス ページ
- 設定ページ

3. [印刷] ボタンをタッチしてレポートを印刷するか、[表示] ボタンをタッチしてレポートを画面に表示します。レポートは、数ページで構成されています。

 **注記：** プリンタの IP アドレスまたはホスト名は、Jetdirect ページにあります。

設定ページのファックス アクセサリ ページで、[ハードウェア情報] という見出しの下にある [モデムステータス] を確認します。次の表は、そのステータスと考えられる解決策を示しています。

動作中/使用可能 ¹	アナログ ファックス アクセサリが取り付けられており、使用可能な状態になっています。
動作中/使用不可 ¹	ファックス アクセサリが取り付けられており、動作していますが、HP Digital Sending ユーティリティによってプリンタのファックス機能が無効になっているか、LAN ファックスが有効になっています。LAN ファックスを有効にすると、アナログ ファックス機能は無効になります。LAN ファックスとアナログ ファックスのどちらかのファックス機能のみを有効にすることができます。
停止中/使用可能/使用不可 ¹	ファームウェアに障害が発生しています。ファームウェアを更新する必要があります。
破損/使用可能/使用不可 ¹	ファックス アクセサリに障害が発生しています。ファックス アクセサリ カードを取り外し、ピンが曲がっていないかどうかを確認してください。ステータスが「破損」のままである場合は、アナログ ファックス アクセサリ カードを交換してください。

¹ 「使用可能」は、アナログ ファックス アクセサリが使用可能でオンの状態であることを示します。「使用不可」は、LAN ファックスが使用可能であることを示します (アナログ ファックスはオフ)。

ファックス機能が動作していない

ファックス アクセサリは取り付けられているが、アイコンがプリンタのメイン画面に表示されない。

原因	解決方法
HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティによってアナログ ファックス機能が無効になっています。	HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティを使用して、アナログ ファックス機能を有効にします。

ファックス アクセサリは取り付けられているが、アイコンがプリンタのメイン画面に表示されない。

原因	解決方法
アクセサリが正常に動作していません。	<p>ファックス アクセサリのステータスを確認します。ステータスが</p> <p>「停止中」の場合は、新しいファームウェアのインストールが必要な場合があります。</p> <p>カードを取り付けたばかりであるにもかかわらず、ステータスが「破損」の場合は、カードを取り外し、ピンが曲がっていないかどうかを確認します。</p> <p>カードが正しく取り付けられているにもかかわらず、ステータスが「破損」の場合は、カードの交換が必要な場合があります。</p>
フォーマッタ ボードが故障しています。	HP サービス担当者に修理を依頼してください。

プリンタにファックス メニューが表示されない。

原因	解決方法
LAN ファックスが有効になっています。	これは正常な動作です。HP Digital Sending Software によって LAN ファックスが有効になると、アナログ ファックスは無効になり、アナログ ファックスでのみ使用されるファックス メニューは表示されません。

全般的なファックスの問題

問題	原因	解決法
ファックスを送信できない。	JBIG が有効になっていますが、ファックス受信側に JBIG 機能がありません。	JBIG をオフに設定します。
ステータス メッセージバーに「Out of Memory」(メモリ不足) というステータス メッセージが表示される。	プリンタのストレージディスクが満杯になっています。	ディスクからファイルをいくつか削除します。ディスクの管理方法については、プリンタのユーザ ガイドを参照してください。
写真の印刷品質が低いか、グレーのボックスとして印刷される。	[Page Content] (ページ コンテンツ) のモード設定が間違っています。	[テキスト/画像の最適化] オプションを [写真] に設定します。
プリンタのキーボードの [キャンセル] ボタンを押してファックス送信をキャンセルしても、ファックスが送信されてしまう。	キャンセルが実行されるのは、キャンセル メニュー (赤い [停止] ボタンを押した後に表示される) で操作を選択して、[OK] を押して処理に同意した後になります。	ファックス メニューを使用して、ファックスをキャンセルします。
ファックス アドレス帳ボタンが表示されない。	ファックス アドレス帳機能が有効になっていません。	HP MFP Digital Sending Software 設定ユーティリティを使用して、ファックス アドレス帳機能を有効にします。

問題	原因	解決法
HP WebJetadmin のファックス設定が見つからない。	HP Web Jetadmin のファックス設定はデバイスのステータス ページのドロップダウンメニューにあります。	ドロップダウンメニューから、[デジタル送信とファックス] を選択します。
オーバーレイを有効にしても、ヘッダーがページ上部に付加される。	オーバーレイが設定されていても、ファックスが転送された場合は、オーバーレイ ヘッダーがページ上部に付加されます。	これは正常な動作です。
受信者ボックスに名前と番号が混在している。	名前と番号の取得元に応じて、名前と番号の両方が表示されるのは正常な動作です。ファックスアドレス帳では名前がリストされ、他のすべてのデータベースでは番号がリストされます。	正常です。対策は必要ありません。
1 ページのファックスが 2 ページにわたって印刷される。	ファックス ヘッダーがファックスの上部に付加されると、テキストが 2 ページ目に押し出されます。	1 ページのファックスを 1 ページに印刷するには、オーバーレイ ヘッダーをオーバーレイ モードに設定するか、ページに収める設定を調整します。
ファックスの送信中にドキュメントの給紙が停止する。	ADF で紙詰まりが発生している可能性があります。	紙詰まりが発生している場合は、プリンタのユーザガイドの紙詰まり除去手順を参照してください。
ファックスアクセサリの音量が大きすぎるか小さすぎる。	音量設定を調整する必要があります。	

ファックス受信に関する問題

ファックス アクセサリが着信ファックスの呼び出しに応答しない (ファックスが検出されない)。

原因	解決方法
応答するまでの呼び出し回数が正しく設定されていない可能性があります。	応答するまでの呼び出し回数を確認します。
電話線が正しく接続されていないか、機能していない可能性があります。	接続状態を確認します。ファックス アクセサリに付属の電話コードを使用していることを確認します。
電話回線が機能していない可能性があります。	電話ジャックからファックス アクセサリを取り外し、電話を接続します。電話をかけてみて、電話回線が機能していることを確認します。
音声メッセージ サービスによる妨害のため、ファックス アクセサリが呼び出しに応答できない可能性があります。	以下のいずれかの操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ● メッセージ サービスを停止します。 ● ファックス専用の電話回線を用意します。 ● ファックス アクセサリの呼び出し回数を音声メッセージの呼び出し回数よりも少なくします。

ファックスの送受信が非常に遅い。

原因	解決方法
グラフィックスが多く含まれているものなど、非常に複雑なファックスを送受信している可能性があります。	複雑なファックスは送受信に時間がかかります。
受信側のファックス装置のモデム速度が遅い可能性があります。	ファックス アクセサリでは、受信側のファックス装置で利用できる最速のモデム速度でのみファックスが送信されます。
ファックス送受信の解像度が非常に高く設定されている可能性があります。通常、解像度を高くすると品質は向上しますが、送信時間が長くなります。	ファックスの受信側である場合は、解像度を低くしてファックスを再送信するように送信者に依頼します。ファックスの送信側である場合は、解像度を低くして、 [テキスト/画像の最適化] オプションを変更します。
画質を向上する設定が有効になっている可能性があります。通常、解像度を高くすると品質は向上しますが、送信時間が長くなります。	画質を向上する設定を無効にするか、解像度を低くして、ファックスを再送信します。
電話回線の接続が不適切な場合は、エラーに合わせて調整するためにファックス アクセサリと受信側ファックス装置の伝送速度が低下します。	ファックスの送信をキャンセルし、再送信します。電話会社に電話回線の点検を依頼します。

ファックスがプリンタで印刷されない。

原因	解決方法
給紙トレイに用紙がありません。	メディアをセットします。給紙トレイが空のときに受信したファックスはメモリに保存され、用紙の補充後に印刷されます。
[Schedule Printing of Faxes] (ファックス印刷のスケジュール設定) が設定されています。	ファックス印刷のスケジュール設定が有効になっている場合は、この機能を無効にするまでファックスが印刷されません。
プリンタのトナー残量が低下しているか、トナーが切れています。	このプリンタでは、トナー残量が低下するかトナーが切れると、印刷が停止します。受信したファックスはメモリに保存され、トナーの補充後に印刷されます。プリンタでの印刷に関するその他の問題については、プリンタのユーザガイドを参照してください。
着信呼び出しが音声電話である可能性があります。	着信音声電話は通常、コールレポートに 通信エラー (17) として表示されます。これらは音声電話でありファックス エラーでないため、操作を実行する必要はありません。これらの音声電話用の番号がファックス番号と異なることを確認してください。
受信ファックスが中断されました。	ファックス電話回線の割り込み通話機能がアクティブになっていないことを確認してください。割り込み通知によって進行中のファックス コールが中断され、通信エラーが発生する場合があります。
[ファックス印刷スケジュール] 機能が [Always store faxes (常にファックスを保存)] に設定されています。	[ファックス印刷スケジュール] 設定を [Always print faxes (常にファックスをプリント)] に変更します。

ファックス送信に関する問題

問題	原因	解決法
ファックスが送信中に停止する。	送信先のファックス装置に障害が発生している可能性があります。	別のファックス装置に送信してみます。
	電話回線が機能していない可能性があります。	電話ジャックからファックス アクセサリを取り外し、電話を接続します。電話をかけてみて、電話回線が機能していることを確認します。
	電話回線の雑音が多く、品質が低い可能性があります。	低いボー レートを試してみて、送信の信頼性を改善してください。最大ボー レートの設定を参照してください。
	割り込み通話機能がアクティブになっている可能性があります。	ファックス電話回線の割り込み通話機能がアクティブになっていないことを確認してください。割り込み通知によって進行中のファックス コールが中断され、通信エラーが発生する場合があります。
ファックス アクセサリでファックスを受信できるが、送信できない。	PBX システムでファックス アクセサリを使用している場合、PBX システムのダイアル トーンをファックス アクセサリで検出できない可能性があります。	ダイアル トーンの検出設定を無効にします。
	電話接続に問題がある可能性があります。	しばらくしてからやり直してください。
	送信先のファックス装置に障害が発生している可能性があります。	別のファックス装置に送信してみます。
	電話回線が機能していない可能性があります。	電話ジャックからファックス アクセサリを取り外し、電話を接続します。電話をかけてみて、電話回線が機能していることを確認します。
ファックス送信時にダイアルし続ける。	ファックス アクセサリでは、[通話中の場合のリダイアル] または [応答がない場合のリダイアル] オプションがオンに設定されている場合、ファックス番号が自動的にリダイアルされます。	これは正常な動作です。ファックスがリダイアルしないようにするには、[通話中の場合のリダイアル] を 0 に設定し、[応答がない場合のリダイアル] を 0 に設定します。
送信したファックスが受信側のファックス装置に届かない。	受信側のファックス装置がオフになっているか、用紙切れなどのエラーが発生している可能性があります。	受信者に連絡して、ファックス装置がオンになっており、ファックスを受信する準備が整っていることを確認します。
	通話中の電話番号のリダイアルを待機しているか、その前に送信を待機している他のジョブがあるため、ファックスがメモリに保存されている可能性があります。	このような理由でファックス ジョブがメモリに保存されている場合は、ジョブのエントリがファックスのログに記録されます。ファックス使用状況ログを印刷し、「結果」の列に「保留」と示されたジョブがないかどうかを確認してください。

エラーコード

ファックスの送受信を妨害または中断するような問題が発生すると、エラーコードが生成されます。このコードは、問題の原因を突き止めるために役立ちます。エラーコードは、ファックス使用状況ログ、ファックスコールレポート、およびT.30プロトコルトレースに表示されます。これら3つのレポートのいずれかを印刷し、エラーコードを取得してください。エラーコードの詳しい説明と適切な対策については、www.hp.com でプリンタ名を検索してください。

ファックスエラーメッセージ

HP LaserJet 製品でアナログファックスを送受信する場合、ファックスの処理中に発生したエラーは製品のコントロールパネルに表示され、ファックスレポートに記載されます。ファックスエラーの原因は複数あり、電話接続の割り込みや雑音の場合もあります。ファックスの処理中に発生するエラーは、その原因に関係なく製品ごとに表示されます。

ファックスの処理に割り込みが入った場合、またはファックスの送受信中にエラーが発生した場合は、状況またはエラーの説明が表示されます。これは、2つの部分に分かれています。ファックスの処理が正常に完了した場合も、成功したことを示すメッセージが表示されます。このメッセージ情報は、テキストによる説明と数値コードによって構成されます(一部のメッセージには数値コードは含まれません)。プリンタのコントロールパネルには、メッセージのテキスト部分だけが表示されますが、ファックス状況レポート、ファックスコールレポート、およびファックスT.30トレースにはテキストメッセージと数値コードの両方が記載されます(これらのファックスレポートは、プリンタのコントロールパネルの[管理]>[レポート]>[ファックスレポート]メニューおよび[管理]>[トラブルシューティング]>[ファックス]>[ファックスT.30トレース]メニューで個別に印刷できます)。レポート内で、数値コードはメッセージテキストの後に括弧付きで示されます。たとえば、通信エラーが発生した場合、コントロールパネルには[ファックスの失敗: 通信エラー]と表示されます。同じエラーは、ファックス使用状況レポートの結果フィールドで[通信エラー(17)]として表示されます。この場合、この通信エラーに関連付けられている数値コードは17です。

数値コードはファックスモデムによって生成されます。通常、数値コード(0)はモデムの正常な応答です。メッセージの中には、常に数値コード(0)が付けられるものや、環境に応じた数値コードの範囲が付けられるもの、数値コードのないものがあります。数値コード(0)は通常、ファックスモデムに関連付けられていませんが、ファックスサブシステムの別の箇所や、印刷サブシステムのような別のプリンタサブシステムで発生したエラーを指します。0以外のエラーコードは、モデムが実行している特定の処置またはプロセスに関する詳細情報を伝えるものであり、必ずしもモデムに問題があることを示しているわけではありません。

以下の表には、ファックスメッセージと最も一般的な数値コード、および推奨されている解決処置が示されています。表には、正常な状態または正常なイベントを表すメッセージも掲載されています。たとえば、相手先が通話中であるためにファックスを送信できなかった場合、「通話中による失敗」メッセージが表示されます。このメッセージは、ファックスサブシステムに異常があることを示すのではなく、相手先が通話中であるためにファックスの送信が完了しなかったことを示します。

ここにリストされている以外の数値コードが付いたエラーメッセージが連続して表示される場合、カスタマサポートに連絡してください。カスタマサポートに連絡する前に、最後のファックス呼び出しに関する詳細情報を印刷してください。これは問題を特定するのに役立ちます。この詳細なファックス情報はファックスT.30トレースと呼ばれており、最後のファックスに関して印刷できます。ファックスエラーが発生するたびに印刷されるように設定することもできます。ファックスT.30トレースを印刷または設定するには、[管理]、[トラブルシューティング]、[ファックスT.30トレース]

の順にタッチします。こうすると、直前のファックスに関するレポートを印刷するか、T.30 トレースを印刷するタイミングを設定できます。

送信ファックス メッセージ

表 3-1 送信ファックス メッセージ

メッセージ	エラー番号	説明	操作
キャンセル	0	ファックスは、プリンタのコントロールパネルでユーザによって取り消されました。	なし。
成功	なし	ファックスを正常に送信しました。	なし。
通話中による失敗	0	相手先のファックス機が通話中です。	ファックスの自動再試行が設定されている場合、自動的に再試行が行われます。設定されていない場合、後から再送信を試行します。
応答なし	0	受信側のファックス機が呼び出しに応答しません。	受信側のファックス機が回線に接続されていないか、電源が切れています。受信者に連絡して、ファックス機の状態を確認します。再送信を試行します。
圧縮エラー	任意	ファックス内容が完全でないか、送信されていない可能性があります。	ファックスの再送信を試行します。
発信音なし	0	ファックスの送信時にダイヤルトーンが検出されませんでした。	電話回線が有効かどうかを確認して、送信側のファックスでダイヤルトーンの検出を行わないように設定します。
モデム エラー	任意	内蔵ファックス モデムからプリンタに、予期しない応答または無効な応答がありました。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。 注記： これは、必ずしもモデムハードウェアが悪いことを示しているわけではありません。
通信エラー	17 または 36	送信側と受信側間の電話回線が失われています。音声電話が原因の可能性もあります。	ファックスの再送信を試行します。
通信エラー	17 または 36 を除く任意の番号	一般的な通信問題で、ファックスの送信が割り込まれたか、期待どおりに処理されませんでした。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。

表 3-1 送信ファックス メッセージ (続き)

メッセージ	エラー番号	説明	操作
容量エラー	0	ファックス イメージ ファイルを読み取れなかったか、ディスクに書き込めませんでした。プリンタのディスクが損傷を受けているか、プリンタのディスクで空きスペースが不足している可能性があります。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
ページエラー	0	ページ幅に互換性がないか、ページに無効な行が多すぎます。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
メモリ エラー	0	プリンタの RAM メモリが不足しています。	エラーが続く場合は、プリンタに RAM を追加する必要があります。
ジョブ失敗	任意	ファックス エラー。ファックス ジョブが完了しませんでした。	ファックスの再送信を試行し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
電力障害	0	ファックスの送信中に送信側のファックス プリンタで電力障害が発生しました。	ファックスの再送信を試行します。
ファックスが検出されません	17 または 36	受信側でファックス機が検出されませんでした。音声電話が原因の可能性があります。	ファックス番号を確認し、受信側のファックス機の電源がオンになっていることを確認してから、ファックスの再送信を試行します。

受信ファックス メッセージ

表 3-2 受信ファックス メッセージ

メッセージ	エラー番号	説明	操作
成功	なし	ファックスを正常に受信しました。	なし。
ブロック	なし	受信側のファックス機で、ファックスの受け取りがブロック番号機能によってブロックされました。	なし。
モデム エラー	任意	内蔵モデムからプリンタへ予期しない応答または不正な応答がありました。たとえば、ファックスの受信中に別のファックスの送信が試行されました。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
通信エラー	17、36	送信側と受信側の間の電話接続が切れたか、割り込みが入りました。	ファックスを再送信します (送信側のファックス機が自動的に再試行しない場合)。
通信エラー	17 または 36 を除く任意の番号	一般的な通信問題で、ファックスの送信が割り込まれたか、期待どおりに処理されませんでした。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
容量エラー	0	イメージファイルを読み取れなかったか、ディスクに書き込めませんでした。プリンタのディスクが損傷を受けているか、ディスクの空きスペースが不足している可能性があります。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
ページエラー	0	ページ幅に互換性がないか、ページに無効な行が多すぎます。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
メモリ エラー	0	プリンタの RAM メモリが不足しています。	エラーが続く場合は、プリンタに RAM メモリを追加する必要があります。
圧縮エラー	0	ファックスのデータが壊れています。受信したイメージファイルをデコードできません。	ファックスを再送信します。ECM (エラー修正モード) をまだ有効にしている場合は有効にします。
印刷失敗	0	ファックスのデータが壊れています。受信したイメージファイルをデコードできません。	ファックスを再送信します。ECM (エラー修正モード) をまだ有効にしている場合は有効にします。

表 3-2 受信ファックス メッセージ (続き)

メッセージ	エラー番号	説明	操作
ポーリングが無効です	0	ファックス ポーリング機能によって、別のファックス機からファックスを受信しようとしたのですが、受信できませんでした。	ポーリング対象のファックス機の管理者に連絡して、ファックスが有効であることを確認してから、再試行します。
ジョブ失敗	任意	ファックスエラー。これには、特定されないすべてのエラーが含まれます。	ファックスを再送信し、エラーが続く場合はサービス担当員に連絡します。
電力障害	0	ファックスの受信中に電力障害が発生しました。	送信側でファックスの再送信を実行します。
ファックスが検出されません	17、36	ファックスに対して音声通話が行われました。	なし

ファックス レポート

この後のセクションでは、このプリンタで利用できるファックス レポートを示します。各レポートは、プリンタのコントロールパネルで印刷または表示できます。

このプリンタでは、次のファックス レポートを利用できます。

- ファックス使用状況ログ
- 請求書コード レポート
- ブロックされたファックス リスト
- 短縮ダイアル リスト
- ファックス コール レポート

次の手順を実行して、ファックス レポートを印刷または表示します。

1. [ホーム] 画面をスクロールし、[管理] ボタンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - レポート
 - ファックス レポート
3. 印刷/表示するログまたはレポートをタッチします。
4. [印刷] または [表示] ボタンをタッチします。

ファックス使用状況ログ

このファックス使用状況ログには、次の情報が含まれています。

- プリンタで設定されたファックス ヘッダー情報。
- 各ファックス ジョブのジョブ番号。
- 送受信済みまたは送信失敗のすべてのファックスの日付と時刻。
- ファックス ジョブのタイプ (送信または受信)。
- ID (可能であれば電話番号)
- 通話時間 (オフフック時間)
- ページ数
- 結果 (送信成功、保留中、送信失敗。送信失敗にはエラーのタイプとコードを含む)

データベースには最新の 500 件のファックス エントリが保存されます (それより古いファックスはログから削除されます)。データベースのファックス エントリには、任意のファックス セッションがエントリとして含まれます。たとえば、ファックス セッションは、送信済みファックス、受信ファックス、またはファームウェア アップグレードの可能性があります。使用状況によっては、レポートのエントリが 500 件に満たない場合があります (受信またはその他の操作を行わず、500 件のファックスを送信していない場合)。

ログを記録のために使用する場合は、少なくともファックス 500 件ごとに定期的にログを印刷する必要があります。その後、ログを削除します。

請求書コード レポート

請求書コード レポートは、正常に送信された最新の 500 件のファックスを請求書コードごとにリストしたものです。このレポートには次の情報が記載されています。

- 請求書コード番号
- 正常に送信されたすべてのファックスの日付と時刻
- ID 番号
- 通話時間 (オフフック時間)
- 送信ページ数
- 結果 (成功)

データベースには最新の 500 件のファックスが保存されます (それより古いファックスはデータベースから削除されます)。レポートを記録のために使用する場合は、少なくともファックス 500 件ごとに定期的にレポートを印刷する必要があります。その後、レポートを削除します。

ブロック対象ファックス リスト レポート

ブロック対象ファックス リスト レポートには、ファックスの受信を拒否するように設定されたファックス番号のリストが含まれます。

短縮ダイアルリストレポート

短縮ダイアルリストレポートには、短縮ダイアル名に割り当てられているファックス番号がリストされます。

ファックス コール レポート

ファックス コール レポートは、最後に送受信されたファックスのステータスを示す簡単なレポートです。

ファックス使用状況ログの削除

ファックス使用状況ログを削除するには、次の手順を実行します。

1. コントロールパネルで **[管理]** アイコンをタッチします。
2. 以下のメニューを開きます。
 - **ファックス設定**
 - **ファックス使用状況ログを削除する**
3. **[クリア]** ボタンをタッチして、ファックス使用状況ログを削除します。

サービス設定

コントロールパネルのこれらのメニュー項目は、「エラー コード」セクションに従って対策を実行しても問題を解決できなかった場合のトラブルシューティングに役立ちます。これらは、HP サービス担当者の指示のもとで使用することを前提としています。

【トラブルシューティング】メニューの設定

[管理] メニューを開き、次に **[トラブルシューティング]** メニューを選択します。

[トラブルシューティング] メニューの設定

[T.30 トレース]: T.30 トレースは、直前のファックス送受信に関して送信側および受信側のファックス装置間で行われた通信をすべて記録した印刷レポートです。このレポートには、ほとんどのユーザーの理解を超える技術的な詳細情報が数多く記載されています。ただし、このレポートに含まれている詳しいエラーコードやその他の情報は、ファックスの送受信に関連する特定の問題のトラブルシューティングに役立つ場合があります。問題の原因を突き止めるために、レポートの内容が HP サービス担当者から要求される場合があります。この内容は、適切な対策を判断する際に役立ちます

[V34] (V34): この設定にはモデムのボー レートを制御する 2 つの値 (標準とオフ) があります。[標準] 設定では、サポートされている 33,600bps までの任意のボー レートをモデムに選択 (他のモデムと交渉) できます。[オフ] 設定では、ボー レートは最大の 14,400bps に設定されます。この設定は、変更されるまで、そのまま持続します。

[Speaker Mode] (スピーカ モード): このサービスには 2 つのモード設定、[標準] および [診断] があります。[標準] モードでは、初期接続によるダイヤル時にモデムスピーカーがオンになり、その後でオフになります。[診断] モードでは、スピーカーをオンにすると、設定が [標準] に戻されるまで、すべてのファックス通信でオンになります。

リセット メニューの設定

[管理] メニューを開き、次に [リセット] メニューを選択します。

[リセット] メニューの設定

[出荷時の通信設定に戻す] または [デフォルトの通信設定に戻す]: これを選択すると、いくつかのメニューがリセットされてデフォルトの設定に戻ります。リセットされる設定には、最大ボー レート、呼び出し音保留時間、V.34、スピーカー モード、伝送信号損失などがあります。

ファームウェアのアップグレード

ファックス アクセサリのファームウェアは更新が可能です。ファックスのファームウェア更新は、製品全体のファームウェア更新の一部として行われます。詳細については、製品のユーザーズ ガイドを参照してください。

A サービスとサポート

- [Hewlett-Packard 社製品限定保証](#)
- [カスタマサポート](#)

Hewlett-Packard 社製品限定保証

HP 製品	限定保障期間
HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 500	1 年間

HP は、エンドユーザーに対して、購入日から上記の期間中、HP ハードウェアとアクセサリに材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、自らの判断に基づき不具合があると証明された製品の修理または交換を行います。交換製品は新品か、または新品と同様の機能を有する製品のいずれかになります。

HP は、HP ソフトウェアを正しくインストールして使用した場合に、購入日から上記の期間中、材料および製造上の瑕疵が原因でプログラミング命令の実行が妨げられないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、当該不具合によりプログラミングインストラクションが実行できないソフトウェアメディアの交換を行います。

HP は、HP の製品の動作が中断されないものであったり、エラーが皆無であることは保証しません。なお、HP が HP の製品を相当期間内に修理または交換できなかった場合、お客様は、当該製品を返却することで、当該製品の購入金額を HP に請求できます。

HP 製品には、新品と同等の性能を発揮する再生部品が無作為に使用されることがあります。

本保証は、以下に起因する不具合に対しては適用されません。(a)不適當または不完全な保守、校正に因るとき。(b) HP が供給しないソフトウェア、インタフェース、または消耗品に因るとき。(c) HP が認めない改造または誤用に因るとき。(d) 表示した環境仕様の範囲外での動作に因るとき。(e) 据付場所の不備または保全の不適合に因るとき。

特定目的のための適合性や市場商品力についての暗黙の保証は、上記で明記された保証の保証期間に限定されます。一部の国/地域では、暗黙の保証の保証期間を制限できない場合があるため、上記の制限や責任の排除はお客様に適用されない場合があります。本保証は特定の法律上の権利をお客様に認めるものです。また、お客様は、その国/地域の法律によっては、他の権利も認められる場合があります。

HP の限定保証は、HP が製品のサポートを提供し、かつ製品を販売している国/地域で有効です。お客様の受け取る保証サービスは、国/地域の標準規定によって異なる場合があります。HP は、法律または規制上の理由で製品を機能させる意図のなかった国/地域で動作するように製品の形態、整合性、または機能を変更しません。

現地の法律で許容されている範囲内において、本保証書の責任が、HP の唯一で排他的な責任です。現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害(利益の逸失やデータの消失を含む)その他の損害に対して、HP およびそのサプライヤーは一切責任を負いません。一部の国/地域では、付帯的または結果的な損害の排除や制限を認めない場合があります、上記の制限や排除はお客様に適用されない場合があります。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

カスタマ サポート

国/地域の電話サポートを受ける (保証期間中は無料) 国/地域の電話番号については、プリンタに同梱のお知らせまたは www.hp.com/support/ をご覧ください。
プリンタ名、シリアル番号、購入日、および問題の説明をご用意ください。

24 時間のインターネットサポートを受ける www.hp.com/go/ljanalogfaxaccessory500_manuals

B 仕様

- [ファックス アクセサリの製品の仕様](#)
- [交換部品とアクセサリ](#)

ファックス アクセサリの製品の仕様

環境仕様	
動作環境	<ul style="list-style-type: none">● 温度：10～32.5℃(50～91-F)● 相対湿度：20～80%(結露しないこと)
保管環境	<ul style="list-style-type: none">● 温度：-20～40℃(-4～104-F)● 相対湿度：95%未満(結露しないこと)
ファックス仕様	
ファックス互換性	<ul style="list-style-type: none">● CCIT/ITU-T Group 3、EIA/TIA Class 1、Class 2.1
電話コネクタ	<ul style="list-style-type: none">● RJ11
圧縮方法	<ul style="list-style-type: none">● MH、MR、MMR、および JBIG
サポートされている伝送速度および規格	<ul style="list-style-type: none">● V.17 (14,400、12,000、9,600、7,200 bps)● V.33 (14,400、12,000 bps)● V.29 (9,600、7,200 bps)● V.27 (4,800、2,400 bps)● V.34 (16,800、19,200、21,600、24,000、26,400、28,800、31,200、33,600 bps)
モデム速度	<ul style="list-style-type: none">● 最高 33.6 Kbps
短縮ダイヤル	<ul style="list-style-type: none">● はい
ファックス解像度(送信および受信)	<ul style="list-style-type: none">● 標準 - 200 × 100 dpi● 高画質 - 200 × 200 dpi● 最高画質 - 300 × 300 dpi● 超高画質 - 200 × 400 (受信のみ)● 超高画質 - 400 × 400 (受信のみ)

交換部品とアクセサリ

ファックス アクセサリの交換部品は、販売担当者または Hewlett-Packard 代理店から入手できます。

C 規制に関する情報

- [環境製品管理プログラム](#)
- [適合宣言](#)
- [FCC 規格](#)
- [Additional FCC statement for telecom products \(US\)](#)
- [日本の電気通信機器の認定マーク](#)
- [Telephone Consumer Protection Act \(US\)](#)
- [Canadian DOC regulations \(カナダ DOC 規格\)](#)
- [Industry Canada CS-03 requirements](#)
- [通信運用に関する EU ステートメント](#)
- [New Zealand Telecom Statements](#)
- [EMI 規格 \(台湾\)](#)
- [VCCI 規格 \(日本\)](#)
- [EMC ステートメント \(中国\)](#)
- [EMC ステートメント \(韓国\)](#)
- [成分表 \(中国\)](#)

環境製品管理プログラム

環境の保護

Hewlett-Packard 社は環境保全を考慮した上で、高品質の製品をお届けしています。この製品は、いくつかの点で環境への影響を最小限に抑えるように設計されています。

プラスチック

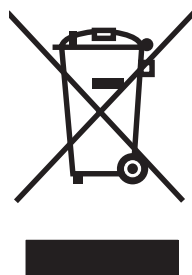
25g を超えるプラスチック部品には、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

材料の制限

この HP 製品では、水銀は使用されていません。

この HP 製品には、バッテリーは含まれていません。

ユーザーによる使用済み機器の廃棄



このシンボルは、製品を家庭廃棄物と一緒に捨てることを表しています。人間の健康と環境を守るために、電気・電子機器廃棄物のリサイクルを行うための指定された回収拠点に使用済み機器を持って行く必要があります。詳細については、家庭廃棄物の収集業者にお問い合わせいただくか、www.hp.com/recycle を参照してください。

詳細について

これらの環境に関するトピック

- この製品やこの製品に関連する多くの HP 製品についての製品環境プロフィール
- HP 社の環境への貢献
- HP 社の環境管理システム
- HP 社の製品回収およびリサイクルプログラム
- 化学物質安全データシート (MSDS)

www.hp.com/go/environment または www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment にアクセスしてください。

適合宣言

適合宣言

適合規格 : **ISO/IEC 17050-1** および **EN 17050-1: DoC# BOISB-0703-00-rel.12.0**

製造者名 : Hewlett-Packard Company
製造者住所 : 11311 Chinden Boulevard
Boise, Idaho 83714-1021, USA

適合宣言の対象製品

製品名 : HP Analog Fax Accessory 500
規制モデル番号 : ²⁾ BOISB-0703-00
製品オプション : すべて
トナー カートリッジ/イメージドラム 該当せず

準拠している製品仕様 :

安全性 : IEC 60950-1:2005/EN60950-1: 2006 +A11:2009 +A12:2011
電磁環境適合性 : CISPR22:2005 +A1/ EN55022:2006 +A1 - クラス A^{1), 3)}
EN 55024:1998 +A1:2001 +A2:2003
EN61000-3-2:2006 +A1:2009 + A2:2009
FCC タイトル 47 CFR、パート 15 クラス A¹⁾/ ICES-003、第 4 版
電気通信 : ES203-201; FCC タイトル 47 CFR、パート 68⁴⁾
RoHOS EN 50581:2012

補足情報 :

本製品は EMC Directive 2004/108/EC および Low Voltage Directive 2006/95/EC の要件、および R&TTE Directive 1999/5/EC に準拠し、それに基づいて CE マーク  を貼付しています。

本デバイスは FCC 規定パート 15 に準拠しています。動作は、次の 2 つの条件を前提とします。(1) 本デバイスによって有害な干渉が発生することはありません。(2) 本デバイスは予期しない動作の原因となる干渉も含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

1) 本製品は、Hewlett-Packard のパーソナル コンピュータ システムの標準的な構成でテスト済みです。

2) 規制の対象として、この製品には規制モデル番号が割り当てられています。この番号を、製品名や製品番号と混同しないでください。

3) 本製品は EN55022 および CNS13438 クラス A の要件に適合します。その場合、以下に示す条件が適用されます。「警告 : これはクラス A 製品です。国内環境において、適切な対策を取る必要のある無線妨害を引き起こす場合があります。」

4) 本製品には、上記の規制に加え、対象国/対象地域に該当する電気通信に関する承認および規格が適用されています。

Boise, Idaho 83714-1021, USA

2013 年 2 月

適合宣言


適合規格 : ISO/IEC 17050-1 および EN 17050-1: DoC# BOISB-0703-00-rel.12.0

規定に関する問い合わせ先 :

ヨーロッパ :	最寄りの Hewlett-Packard 販売サービス代理店または Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Straße 140, 71034 Böblingen, Germany http://www.hp.com/go/certificates
米国 :	Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, PO Box 15, Mail Stop 160, Boise, Idaho 83707-0015 (電話番号 : 208-396-6000)

FCC 規格

本装置は、テストの結果、Class A デジタル装置の限界値に適合しており、FCC 規則 Part 15 に適合していることが確認されています。これらの基準は、本番環境に装置を設置した場合の電波障害に対するしかるべき防止策を提供することを目的としています。この装置は、無線高周波エネルギーを生成、使用、および放射するため、取扱説明書に従って正しく設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅地域で本装置を使用すると、有害な干渉を引き起こす可能性があります。その場合、ユーザー側の費用負担で干渉を防止する必要があります。

 **注記：** HP が明示的に認めていないプリンタへの変更や改造を行うと、本装置を操作するユーザーの権利が無効になる場合があります。

FCC 規則の Part 15 の Class A 基準に準拠するには、シールド付きインターフェース ケーブルを使用してください。

Additional FCC statement for telecom products (US)

This equipment complies with Part 68 of the FCC rules and the requirements adopted by the ACTA. On the back of this equipment is a label that contains, among other information, a product identifier in the format US:AAAEQ##TXXXX. If requested, this number must be provided to the telephone company.

The REN is used to determine the quantity of devices, which may be connected to the telephone line. Excessive RENs on the telephone line may result in the devices not ringing in response to an incoming call. In most, but not all, areas, the sum of the RENs should not exceed five (5.0). To be certain of the number of devices that may be connected to the line, as determined by the total RENs, contact the telephone company to determine the maximum REN for the calling area.

This equipment uses the following USOC jacks: RJ11C.

An FCC-compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack, which is Part 68 compliant. This equipment cannot be used on telephone company-provided coin service. Connection to Party Line Service is subject to state tariffs.

If this equipment causes harm to the telephone network, the telephone company will notify you in advance that temporary discontinuance of service may be required. If advance notice is not practical, the telephone company will notify the customer as soon as possible. Also, you will be advised of your right to file a complaint with the FCC if you believe it is necessary.

The telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the operation of the equipment. If this happens, the telephone company will provide advance notice in order for you to make the necessary modifications in order to maintain uninterrupted service.

If trouble is experienced with this equipment, please see the numbers in this manual for repair and (or) warranty information. If the trouble is causing harm to the telephone network, the telephone company may request you remove the equipment from the network until the problem is resolved.

The customer can do the following repairs: Replace any original equipment that came with the device. This includes the print cartridge, the supports for trays and bins, the power cord, and the telephone cord. It is recommended that the customer install an AC surge arrester in the AC outlet to which this device is connected. This is to avoid damage to the equipment caused by local lightning strikes and other electrical surges.

日本の電気通信機器の認定マーク



A08-0138004

Telephone Consumer Protection Act (US)

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains, in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of the transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, or other entity, or individual. (The telephone number provided cannot be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long distance transmission charges).

Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格)

Complies with Canadian EMC Class A requirements.

« Conforme à la classe A des normes canadiennes de compatibilité électromagnétiques. « CEM ». »

Industry Canada CS-03 requirements

Notice: The Industry Canada label identifies certified equipment. This certification means the equipment meets certain telecommunications network protective, operational, and safety requirements as prescribed in the appropriate Terminal Equipment Technical Requirement document(s). The Department does not guarantee the equipment will operate to the user's satisfaction. Before installing this equipment, users should ensure that it is permissible for the equipment to be connected to the facilities of the local telecommunications company. The equipment must also be installed using an acceptable method of connection. The customer should be aware that compliance with the above conditions may not prevent degradation of service in some situations. Repairs to certified equipment should be coordinated by a representative designated by the supplier. Any repairs or alterations made by the user to this equipment, or equipment malfunctions, may give the telecommunications company cause to request the user to disconnect the equipment. Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines, and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution can be particularly important in rural areas.

⚠ 注意 : Users should not attempt to make such connections themselves, but should contact the appropriate electric inspection authority, or electrician, as appropriate. The Ringer Equivalence Number (REN) of this device is 0.0.

Notice: The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Number of all the devices does not exceed five (5.0). The standard connecting arrangement code (telephone jack type) for equipment with direct connections to the telephone network is CA11A.

通信運用に関する EU ステートメント

この製品は EEA (European Economic Area) の国/地域のアナログ PSTN (Public Switched Telecommunication Networks) に接続するためのものです。

この製品は EU R&TTE 指令 1999/5/EC (付録 II) の要件に準拠し、それに基づいて CE 認定マークを保有しています。

詳細については、本マニュアルの別のセクションに記載されている製造元発行の「適合宣言書」を参照してください。

国/地域によって PSTN に違いがあるので、この製品がすべての PSTN 端末で機能するかどうかを無条件に保証することはできません。ネットワークの互換性は PSTN 接続の準備で正しい設定が選択されたかどうかによって依存します。マニュアルに説明されている手順に従ってください。

ネットワークの互換性に問題が発生した場合は、使用装置の購入元、またはお住まいの国/地域の HP ヘルプデスクにお問い合わせください。

PSTN 端末への接続は、現地の PSTN 業者によって設定されている要件にも左右されます。

New Zealand Telecom Statements

The grant of a Telepermit for any item of terminal equipment indicates only that Telecom has accepted that the item complies with minimum conditions for connection to its network. It indicates no endorsement of the product by Telecom, nor does it provide any sort of warranty. Above all, it provides no assurance that any item will work correctly in all respects with another item of Telepermitted equipment of a different make or model, nor does it imply that any product is compatible with all of Telecom's network services.

This equipment may not provide for the effective hand-over of a call to another device connected to the same line.

This equipment shall not be set up to make automatic calls to the Telecom "111" Emergency Service.

This product has not been tested to ensure compatibility with the FaxAbility distinctive ring service for New Zealand.

EMI 規格 (台湾)

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

VCCI 規格 (日本)

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

EMC ステートメント (中国)

此为 A 级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

EMC ステートメント (韓国)

A급 기기 (업무용 방송통신기기)	이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이점을 주의하시기 바라며, 가정 외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.
-----------------------	--

成分表 (中国)

有毒有害物质表

根据中国电子信息产品污染控制管理办法的要求而出台

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
打印引擎	X	0	0	0	0	0
控制面板	0	0	0	0	0	0
塑料外壳	0	0	0	0	0	0
格式化板组件	X	0	0	0	0	0
碳粉盒	X	0	0	0	0	0

0609

0：表示在此部件所用的所有同类材料中，所含的此有毒或有害物质均低于 SJ/T11363-2006 的限制要求。

X：表示在此部件所用的所有同类材料中，至少一种所含的此有毒或有害物质高于 SJ/T11363-2006 的限制要求。

注：引用的“环保使用期限”是根据在正常温度和湿度条件下操作使用产品而确定的。

索引

D

DSS. デジタル送信ユーティリティ
を参照

E

EWS

ポーリングを有効にする 113

F

FCC 規格 157

H

HP Color LaserJet CM 3530 5

HP Color LaserJet CM 4540 63

HP Color LaserJet Enterprise
M4555 63

HP LaserJet Enterprise 500 Color
63

HP LaserJet Enterprise 500 63

HP LaserJet Enterprise M725 MFP
シリーズ 63

HP への問い合わせ 147

J

JBIG 圧縮

設定 20

L

LAN ファックス 12

P

PBX システムのトラブルシューテ
ィング 48, 134

PIN

変更 44

リセット 44

作成 44

T

T.30 トレース レポート 59, 142

V

VoIP 45, 126

W

Web Jetadmin、リモート設定 14,
85

あ

アクセサリ 151

い

イメージ処理

イメージの向き 105

エッジの消去 103

カラー検出 104

鮮明度 103

設定 103

トーン調整 106

ページトリミング 105

イメージ調整 26, 97

取り付け

HP Color LaserJet CM3530 6

HP Color LaserJet CM4540 64

HP Color LaserJet M4555 67

HP LaserJet Enterprise 500 71

HP LaserJet Enterprise 500
MFP 74

う

ウィザード、ファックス設定 12,
82

水銀を使用しない製品 154

え

エラー

コード 51, 135

エラー時のリダイアル 89

エラー訂正モード

設定 22, 93

お

オーバーレイ ヘッダー

設定 18

か

カスタマ サポート 147

Canadian DOC regulations (カナダ
DOC 規格) 160

韓国語 EMC ステートメント 164

く

グラフィック、低画質 37, 115

グループダイアル. 短縮ダイアル
を参照

け

警告 2

こ

交換部品 151

コールレポート 56, 142

さ

サービス設定 59, 142

材料の制限 154

削除

空白ページ 27

サポート 147

し

寿命後の廃棄 154

ジョブ作成 27, 98

す

スケジュール

ファックス印刷 106

ステータス メッセージバー 115

ステータス、ファックス アクセサ
リ ページ 46, 129

せ

セキュリティで保護されている設
定 44

設定

JBIG 圧縮 20

エラー訂正モード 22

- オーバーレイ ヘッダー 18
 - 鮮明度 20
 - 全般的な送信設定 91
 - 全般的なファックス 19
 - ダイアルトーン検出 18
 - ダイアルモード 16
 - ダイアル局番 19
 - 濃淡設定 21
 - 日付と時刻の形式 83
 - ファックス受信 28, 100
 - ファックス送信 16, 87
 - ファックス 16, 87
 - ファックス転送 34
 - ファックス番号の確認 20
 - ファックス番号短縮ダイアル検索 21
 - メニュー 12
 - メモリ ロック 126
 - モデムの音量 16
 - リダイアル間隔 17
 - 応答がない場合のリダイアル 18
 - 解像度 23
 - 請求書コード 22, 99
 - 通話中の場合のリダイアル 17
 - 背景 21
 - 必要 11, 81
- た**
- ダイアルトーン検出 90
 - ダイアルトーン検出、設定 18
 - ダイアルのファックス設定 16, 87
 - ダイアルモード
設定 16, 88
 - ダイアル局番 91
設定 19
 - 台湾 EMI 規格 163
- ち**
- 注意 2
 - 注記 2
- て**
- データベース 58
 - テキスト/画像 98
最適化 26
- デジタル送信ユーティリティ、リモート設定 15, 86
 - デフォルト ジョブ オプション 22, 31, 108
 - 電話回線
接続 81
- と**
- トーンダイアル
設定 16, 88
 - トラブルシューティング
PBX システム 48, 134
ファックス設定メニューが表示
されない 12
 - 低速ファックス受信 49, 132
 - 低速ファックス送信 48, 134
- な**
- 内蔵されているバッテリー 154
- に**
- 日本 VCCI 規格 163
- は**
- 廃棄物処理 154
 - パルスダイアル
設定 16, 88
- ひ**
- ヒント 2
- ふ**
- ファームウェアのアップグレード 61, 143
 - ファックス アクセサリの取り付け 6, 64, 67, 71, 74
 - ファックス アクセサリ
電話回線の接続 11
 - ファックス アドレス帳 118
 - ファックス受信設定 28, 100
印刷面の設定 111
設定 28, 100
通知 31, 108
 - デフォルト ジョブ オプション 31
 - ファックスのブロック 107
 - ファックス印刷スケジュール 28
 - ページに収める 32, 109
- 用紙トレイ 111
 - 用紙の選択 110
 - 呼び出し音の周波数 102
 - 呼び出し間隔 102
 - 応答するまでの呼び出し回数 101
 - 呼び出し音の音量 28, 100
 - 受信ファックスのスタンプ 32, 109
 - 速度 101
 - 着信ファックスのブロック 29
 - 排紙ビン 110
 - 用紙トレイの選択 33
 - ファックス設定 16, 87
 - イメージ処理 103
 - 受信 28, 100
 - 送信 16, 87
 - ダイアル 16, 87
 - ファックス印刷スケジュール 28
 - 呼び出し音の音量 28
 - 全般 19
 - 着信ファックスのブロック 29
 - 日付と時刻 83
 - ファックス送信設定 16, 87
 - イメージ調整 97
 - エラー時のリダイアル 89
 - エラー訂正モード 93
 - ジョブ作成 98
 - ダイアル 16, 87
 - ダイアルトーン検出 90
 - ダイアルモード 88
 - ダイアル音量 87
 - ダイアル局番 91
 - テキスト/画像 98
 - デフォルト ジョブ オプション 22
 - ファックス番号の確認 91
 - リダイアル間隔 88
 - 応答がない場合のリダイアル 90
 - 画像プレビュー 94
 - 解像度 94
 - 空白のページの削除 99
 - 元のサイズ 97
 - 全般 91

速度 88
通話中の場合のリダイヤル
89
内容の向き 96
ファックス ダイアル モード 88
ファックス アーカイブ 33, 111
有効にする 112
有効化 34
ファックスのアーカイブ 33
ファックスのキャンセル 42,
119
ファックスのダイヤル音量 87
ファックスの受信 119
ファックスの設定のセットア
ップ 100
ファックスの送信
ファックス アドレス帳の番号
の使用 118
電話帳の番号の使用 40
複数の受信者の削除 42, 121
複数の受信者 42, 120
ファックスの送信速度 88
ファックスの通知 24, 31, 95
ファックスの転送 33, 34
ファックスの動作 11, 81
ファックス
キャンセル 42, 119
設定ウィザード 12, 82
印刷 126
解像度 150
給紙の問題 47, 131
受信 119
送信 37, 115
電話回線の接続 11
必須設定 11, 81
ファックス ヘッダー 13
ファックス ポーリング 30, 113
ファックス印刷スケジュール 28,
106
ファックス印刷のロック 126
ファックス受信速度 101
ファックス転送 33, 34, 111
有効にする 112
ファックス番号の確認 20, 91
ファックス番号短縮ダイヤル検
索 21

ブラウザ、Web
リモート設定 14, 85
プレフィックス
自動ダイヤル 19, 91
ブロック対象ファックス リスト
作成 107
すべての電話番号の削除 30
電話番号の削除 30, 107
作成 29
ブロック対象ファックス リスト レ
ポート
印刷 59, 141

へ
ページに収めるためのファックス
設定 109
ページに収める 32, 109

ほ
ポーズ、ダイヤル時 37, 115
ポーリング 30, 112, 113
有効にする 113
保証
製品 146

ま
マーク、マニュアル 2
マニュアルのマーク 2
め
メニュー、ファックス設定 12
メモリ ロック
PIN 44
無効化 126
有効化 126
メモリ、ファックスの保存と削除
37, 115

も
モデムの音量 16
モデムの接続 81
モデム速度 49, 132, 150

り
リダイヤル間隔、設定 17, 88
リモートでのファックス設定 85
リモート設定 14
Web Jetadmin 14, 85

Web ブラウザ 14, 85
デジタル送信ユーティリティ
15, 86

ろ
ログ/レポートのデータの削除
58, 142
ログ/レポート
ファックス コール レポート
56, 142
ブロック対象ファックス リス
ト レポート 59, 141
使用状況ログ、削除 58, 142
使用状況ログ 57, 140
請求レポート、削除 58
請求書コード レポート 58,
141
短縮ダイヤル リスト レポー
ト 59, 142
ロック ファックスの印刷 126
ん
向き 25
印刷面のファックス設定 111
応答がない場合のリダイヤル 90
設定 18
応答するまでの呼び出し回数のフ
ァックス設定 101
応答するまでの呼び出し回数
101
音声電話と再試行 43, 125
画像プレビュー 94
会社名 13
解像度、ファックスの送受信 150
解像度
設定 23, 94
各部 4
環境仕様 150
機能、説明 3
規制に関する条項
適合宣言 155
給紙の問題 47, 131
空白のページの削除 27, 99
元のサイズ 25, 97
元の文書の面 24
呼び出し音の音量のファックス設
定 100
呼び出し音の音量 28

呼び出し間隔のファックス設定 102
呼出し音の周波数のファックス設定 102
国/地域 13
仕様 150
使用状況ログ 57, 140
写真、低画質 37, 115
受信ファックスのスタンプ 32
受信ファックスのスタンプ設定 109
請求書コード レポート
印刷 58, 141
請求書コード 22, 99
設定メニューが表示されない 12
設定
リモート 14, 85
鮮明度設定
送信ファックス 20
全般的なファックス設定 19
全般的なファックス送信設定 91
送信ファックスの濃淡設定 21
短縮ダイアル
リスト レポート 59, 142
作成 42, 120
削除 42, 121
着信ファックスのブロック 29, 107
通知のファックス設定 108
通知設定 24, 31, 95
通話中の場合のリダイアル 89
設定 17
低速ファックス受信 49, 132
低速ファックス送信 48, 134
適合宣言 155
電話回線のトラブルシューティング 48, 134
電話回線、ファックス アクセサリの接続 11
電話帳 40
電話番号 13
内蔵 Web サーバ 14, 85
内容の向き 25, 96
日付と時刻の設定 12, 83
廃棄、寿命後 154
排紙ビンのファックス設定 110
背景設定
カラー用紙のコピー 21
送信ファックスからの削除 21
必須設定
国/地域 11, 81
保管、環境 150
保証
製品 145
未設定 11, 81
用紙トレイのファックス設定 111
用紙トレイの選択 33
用紙の選択のファックス設定 110



CC487-91210

